

第1回「介護保険・障がい福祉専門部会」

平成29年5月17日

件名	高齢者等実態調査の報告（速報）について					
所管部課名	福祉部 高齢福祉課、地域包括ケアシステム推進担当課、介護保険課					
内 容	足立区高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画策定のために実施した高齢者等実態調査（調査期間：平成28年11月11日～平成28年12月16日）の速報値がまとまったので報告する。					
	1 調査の種類					
	調査名	発送数	回収数	有効票	無効票	回収率
	(1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 (65歳以上の区民（要介護認定者は含まず）)	6,000	3,407	3,389	18	56.8%
	(2) 高齢者単身世帯実態調査 (75歳以上の単身高齢者)	2,000	929	923	6	46.4%
	(3) 要介護認定者実態調査 (要介護認定者)	4,000	2,069	2,055	14	51.7%
	(4) 一般若年者実態調査 (40～64歳の区民) ※新規	4,000	1,453	1,448	5	36.3%
	(5) 在宅介護実態調査 (要介護認定更新者) ※新規	800	625	625	0	78.1%
	(6) 居宅介護支援事業所 実態調査	231	169	165	4	73.2%
	(7) 在宅サービス事業所 実態調査	713	471	465	6	66.1%
	(8) 介護保険施設実態調査 (特養・老健・介護療養型)	42	30	30	0	71.4%
	(9) 有料老人ホーム施設実態 調査	42	23	23	0	54.8%
(10) サービス付き高齢者向け 住宅実態調査	34	24	24	0	70.6%	
2 調査結果概要（※詳細は別冊「足立区高齢者実態調査クロス集計速報抜粋」参照）						
(1) 一般高齢者と一般若年者の比較						
今回、新たに「一般若年者実態調査」（対象 40～64歳）を実施した。一般高齢者（要介護1～5の方を除く65歳以上、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の対象者）と調査結果を比較する。						
	一般高齢者	一般若年者				
① 運動器(P15)	10.4%の方に機能の低下	5.3%の方に機能の低下				
② 閉じこもり (P17)	一般高齢者、一般若年者いずれも10%強に閉じこもり傾向あり。若いうちから一定の閉じこもり傾向が見られる。					
③ 口腔(P18)	20.8%の方に機能の低下	10.8%の方に機能の低下				

④ 希望する介護(P31)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般高齢者の6割、一般若年者の4割…在宅生活での介護を希望</li> <li>・一般高齢者、一般若年者の2割…特養等への入所を希望</li> </ul>	
⑤ 区への要望(P42)	「ひとり暮らし高齢者の支援」「在宅生活継続の支援」「家族等介護者に対する援助」が上位	「介護する家族に対する支援」「常時介護が必要な方の施設整備」「自宅介護を支援するサービスの充実」が上位

(2) その他

①家族の介護をすることになった場合の就労継続(回答 一般若年者)(P21)

- ・「わからない」(34.6%)、「続けられる」(28.5%)と「続けられない」(29.7%)。

→わからないが一番多いが、「続けられる」と「続けられない」がほぼ同数。

②在宅生活に必要なこと(回答 要介護認定者)(P26)

- ・「24時間対応や緊急時の訪問介護」「緊急時など必要な時に泊まれる施設」が上位。
- ・後期高齢者では「医師や看護師の訪問」の必要性を感じる方が多い。

③家族介護の経験の有無(回答 一般高齢者)(P33)

- ・「経験あり」…40%弱、「経験なし」…50%強
  - ・男女別で見ると、女性の約5割、男性は約3割が「介護経験あり」。
- 介護経験は女性のほうが高い。

④介護保険サービスの水準と保険料のバランス(区民対象調査(1~4))(P39)

- ・「平均的なサービスで平均的な保険料がいい」が6割を超えている。

⑤地域での支えあい(回答 単身高齢者)(P41)

- ・「絆のあんしんネットワーク」による見守りや声掛けの必要性について、半数近くが「必要だと思う(利用したいも含む)」と感じている。

⑥介護保険事業所実態調査の結果(概要)

調査項目	回答結果概要
経営上の課題(P47)	在宅サービス事業所、特養等施設ともに「人材の確保」が最上位
看取り(P49)	介護保険施設の7割以上で実施。 居宅介護支援事業所も7割以上が相談を受けている。
地域包括ケアシステムの推進に必要なこと(回答 居宅介護支援事業所)(P51)	「認知症に対する正しい理解の普及や地域における見守り体制の充実」 「緊急時に入院・入所できる体制づくり」 「医療・介護の連携強化」が上位
供給量が不足していると思う介護サービス(P52)	「夜間対応型訪問介護看護」(16.4%)、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」(15.8%)、「訪問リハビリテーション」(15.2%)が上位。 「供給不足とは思わない」との回答も27.9%あった。

## 足立区高齢者実態調査 クロス集計速報 抜粋

2017.4.17

## 目次

0. 基本属性	4
集計対象について	4
【01 一般高齢者】集計対象者について	4
【02 単身高齢者】集計対象者について	4
【03 要介護認定者】集計対象者について	4
【01 一般高齢者】性別×年代別分布	5
【02 単身高齢者】性別×年代別分布	5
【03 要介護認定者】性別×年代別分布	5
【04 一般若年者】性別×年代別分布	5
【02 単身高齢者】本人の要介護度（問3）	6
【03 要介護認定者】本人の要介護度（問4）	6
1. 主観的健康観	7
【01 一般高齢者】健康状態（問10（1））	7
【02 単身高齢者】健康状態（問12）	7
【03 要介護認定者】健康状態（問7）	8
【04 一般若年者】健康状態（問13）	8
2. 希望健康寿命	9
【01 一般高齢者】健康に過ごしたいと思う年齢（問13）	9
【02 単身高齢者】健康に過ごしたいと思う年齢（問14）	9
【03 要介護認定者】健康でいたいと思う年齢（問33）	9
3. 介護予防分布	10
【01 一般高齢者】*介護予防分布	11
【01 一般高齢者】介護予防必要者区分×圏域	11
【02 単身高齢者】*介護予防分布	12
【04 一般若年者】*介護予防分布	13
4. 運動器の機能	15
【01 一般高齢者】*運動器の機能	15
【02 単身高齢者】*運動器の機能	15
【04 一般若年者】*運動器の機能	15
5. 転倒リスク	16
【01 一般高齢者】*転倒リスク	16
【02 単身高齢者】*転倒リスク	16
【04 一般若年者】*転倒リスク	16
6. 閉じこもり傾向	17
【01 一般高齢者】*閉じこもり傾向	17
【02 単身高齢者】*閉じこもり傾向	17
【04 一般若年者】*閉じこもり傾向	17
7. 口腔	18
【01 一般高齢者】*口腔	18
【02 単身高齢者】*口腔	18
【04 一般若年者】*口腔	18

8. 低栄養.....	19
【01 一般高齢者】 *低栄養状態.....	19
【02 単身高齢者】 *低栄養状態.....	19
【04 一般若年者】 *低栄養状態.....	19
9. もの忘れ.....	20
【01 一般高齢者】 *もの忘れ.....	20
【02 単身高齢者】 *もの忘れ.....	20
【04 一般若年者】 *もの忘れ.....	20
10. 就労.....	21
【04 一般若年者】 定年後も仕事を続ける場合、望ましいと思う働き方（問5-4）.....	21
【04 一般若年者】 家族等の介護をする際、現在の勤務先で働き続けられるか（問30）.....	21
【04 一般若年者】 家族等介護の際、現在の勤務先で仕事を続けるうえで不安に思うこと（問31）.....	22
【04 一般若年者】 家族等の介護をする際、現在の勤務先で働き続けられるか（問30）.....	23
11. 将来の生活.....	24
【04 一般若年者】 孤独死について、身近な問題だと感じるか（問12）.....	24
【04 一般若年者】 孤独死を身近に感じる理由（複数回答）（問12-1）.....	24
12. 地域活動.....	25
【01 一般高齢者】 地域活動（問8）.....	25
【04 一般若年者】 今後、参加又は続けたい地域活動（問10）.....	25
13. 在宅介護.....	26
【03 要介護認定者】 今後も安心して在宅生活を続けていくのに必要なこと（問26）.....	26
【03 要介護認定者】 今後も在宅生活を続けるために必要だと思うこと（問34（1））.....	27
【03 要介護認定者】 今後も在宅生活を続けるために必要だと思うこと（問34（2））.....	28
14. 希望する介護施設.....	29
【01 一般高齢者】 希望する施設【ベース：施設等入所希望者】（問27-2）.....	29
【02 単身高齢者】 希望する施設【ベース：施設等入所希望者】（問40-2）.....	29
【03 要介護認定者】 希望する施設【ベース：施設等入所希望者】（問28）.....	30
15. 希望する介護.....	31
【01 一般高齢者】 希望する介護（問27）.....	31
【02 単身高齢者】 希望する介護（問40）.....	31
【04 一般若年者】 希望する介護（問21）.....	32
16. 家族介護の経験.....	33
【01 一般高齢者】 家族介護の経験（問30）.....	33
【04 一般若年者】 家族等の介護経験（問22）.....	33
【03 要介護認定者】 *主な介護者（問5）.....	34
【03 要介護認定者】 1年前と比べての要介護度の変化（問6）.....	34
【04 一般若年者】 家族の介護が必要になった時の希望（問26）.....	35
【04 一般若年者】 勤務先で介護について相談する時の相手（問29）.....	35
17. 在宅医療.....	36
【03 要介護認定者】 通院や往診などの診療状況（問9）.....	36
【03 要介護認定者】 通院や往診の頻度【ベース：通院・往診あり】（問9-1）.....	36
18. 住まい.....	37
【01 一般高齢者】 住居形態（問4（4））.....	37
【02 単身高齢者】 住居形態（問6）.....	37
【04 一般若年者】 住居形態（問4）.....	38
【04 一般若年者】 現在の住まいでの継続居住意向（問11）.....	38

19.介護保険制度について .....	39
【01 一般高齢者】 介護保険のサービス水準と保険料についての考え（問3 1） .....	39
【02 単身高齢者】 介護保険のサービス水準と保険料についての考え（問4 1） .....	39
【03 要介護認定者】 介護保険のサービス水準と保険料についての考え（問2 9） .....	40
【04 一般若年者】 介護保険のサービス水準と保険料についての考え（問3 4） .....	40
20. 区の施策の認知.....	41
【02 単身高齢者】 「孤立ゼロプロジェクト」認知状況（問4 2） .....	41
【02 単身高齢者】 「孤立ゼロプロジェクト」による見守りや声掛けの必要性（問4 3） .....	41
21. 区への要望.....	42
【01 一般高齢者】 足立区に望む高齢者施策（問3 9） .....	42
【04 一般若年者】 足立区が優先すべき施策（問3 6） .....	43
22. 事業所調査の基本属性.....	44
【06 居宅介護支援事業所】 経営主体（問1（3）） .....	44
【07 在宅サービス事業所】 事業種別（問1（2））・経営主体 .....	44
【08 介護保険施設】 事業種別（問1（2））・経営主体 .....	45
【09 有料老人ホーム】 事業種別（問1（3））・経営主体.....	45
【10 サービス付高齢者住宅】 経営主体（問1（3）） .....	45
23. 事業経営上の課題.....	46
【06 居宅介護支援事業所】 足立区で居宅介護支援事業を行ううえでの問題点（問2 4） .....	46
【07 在宅サービス事業所】 居宅介護支援以外の居宅サービス事業を運営する上での課題（問1 8） ..	47
【08 介護保険施設】 事業所を運営するうえでの問題点や課題（問5） .....	48
【09 有料老人ホーム】 事業所を運営するうえでの問題や課題（問1 4） .....	48
24. 看取り .....	49
【06 居宅介護支援事業所】 利用者や家族から看取りの相談の有無（問1 9） .....	49
【08 介護保険施設】 看取りの実施有無（問3）・この1年間の看取り件数（*問3-1） .....	49
【09 有料老人ホーム】 看取りの実施有無（問4）・この1年間の看取り件数（*問4-1） .....	50
【10 サービス付高齢者住宅】 看取りの実施有無（問7）この1年間の看取り件数（問7-1） ..	50
25. 地域包括ケアシステムの推進.....	51
【06 居宅介護支援事業所】 今後さらに強化が必要な取り組み（問1 7） .....	51
26. 不足している介護サービス .....	52
【06 居宅介護支援事業所】 区内で供給量が不足している介護サービス（問1 1） .....	52

## 0. 基本属性

### 集計対象について

回収した件数（有効回収数）に対し、母数が絞り込まれているものについては以下の通りである。

#### 【01 一般高齢者】集計対象者について

回収した 3,389 件のうち、要介護 1～5 の認定者（24 件）を除く 3,365 件を集計対象としている。

なお、「認定を受けていない」（2,933 件）、「無回答」（280 件）とを合わせ、非認定者（3,213 件）として分析した。

認定者 (要支援 1・2)					認定者 (要介護 1～5)		受けてい ない		無回答	
n=	3389	152	24	2,933	280	上段:度数 下段:%		上段:度数 下段:%		
	100	4.5	0.7	86.5	8.3					

非認定者		認定者 (要支援 1・要支 援2)	
n=	3365	3,213	152
	100	95.5	4.5

#### 【02 単身高齢者】集計対象者について

回収した 923 件のうち、「あて名の住所に、ひとりで住んでいる」、「無回答」の計 488 件を集計対象としている。

あて名の 住所に、 ひとりで 住んでい る		あて名の 住所に、 だれかと 一緒に住 んでいる		親族や知 人の家		病院・医 院へ入院 中		足立区外 に転出し た		有料老人 ホーム・ ケアハウ ス等に入 居中		無回答	
n=	923	472	170	15	36	1	213	16	上段:度数 下段:%		上段:度数 下段:%		
	100	51.1	18.4	1.6	3.9	0.1	23.1	1.7					

あて名の 住所に、 ひとりで 住んでい る		無回答	
n=	488	472	16
	100	96.7	3.3

#### 【03 要介護認定者】集計対象者について

回収した 2,055 件のうち、「病院に入院中」、「老人保健施設・介護療養型医療施設」「特別養護老人ホーム」に入所中の方（計 477 件）を除く 1578 件を集計対象としている。

自宅		有料老人 ホーム等 に入居中		病院に入 院中		老人保健 施設・介 護療養型 医療施設		特別養護 老人ホー ム		その他		無回答	
n=	2055	1,335	125	133	125	219	25	93	上段:度数 下段:%				
	100	65.0	6.1	6.5	6.1	10.7	1.2	4.5					

自宅		有料老人 ホーム等 に入居中		その他		無回答	
n=	1578	1,335	125	25	93	上段:度数 下段:%	
	100	84.6	7.9	1.6	5.9		

【01 一般高齢者】性別×年代別分布

	n=	65~69	70~74	75~79	80~84	85歳	無回答	上段:度数 下段:%
		歳	歳	歳	歳	以上		
TOTAL	3365	929	848	807	497	197	87	
	100	27.6	25.2	24.0	14.8	5.9	2.6	
男性	1514	451	394	371	220	76	2	
	100	29.8	26.0	24.5	14.5	5.0	0.1	
女性	1765	478	454	436	275	118	4	
	100	27.1	25.7	24.7	15.6	6.7	0.2	

【02 単身高齢者】性別×年代別分布

	n=	75~79	80~84	85歳	無回答	上段:度数 下段:%
		歳	歳	以上		
TOTAL	488	101	155	190	42	
	100	20.7	31.8	38.9	8.6	
男性	93	31	36	26	0	
	100	33.3	38.7	28.0	0.0	
女性	360	70	119	163	8	
	100	19.4	33.1	45.3	2.2	

【03 要介護認定者】性別×年代別分布

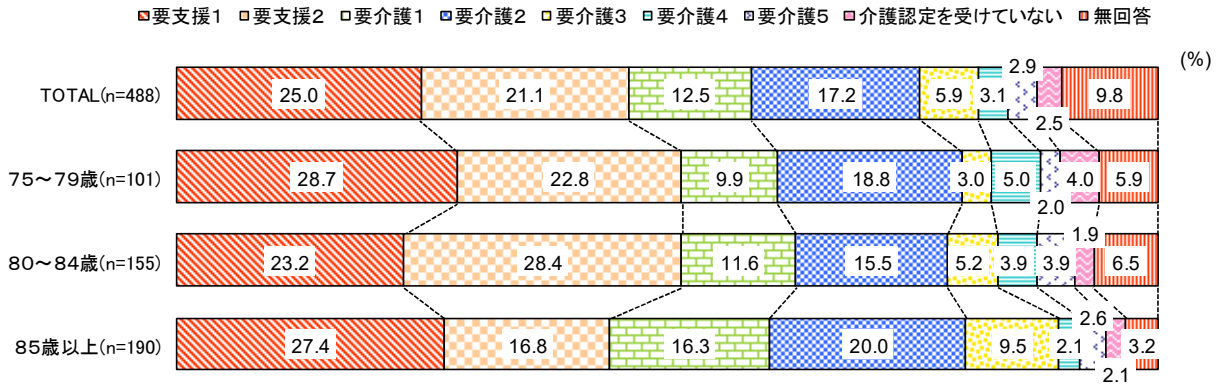
	n=	40~64	65~69	70~74	75~79	80~84	85歳	無回答	上段:度数 下段:%
		歳	歳	歳	歳	歳	以上		
TOTAL	1578	49	99	149	264	368	612	37	
	100	3.1	6.3	9.4	16.7	23.3	38.8	2.3	
男性	589	24	55	77	118	141	172	2	
	100	4.1	9.3	13.1	20.0	23.9	29.2	0.3	
女性	957	25	44	71	146	227	439	5	
	100	2.6	4.6	7.4	15.3	23.7	45.9	0.5	

【04 一般若年者】性別×年代別分布

	n=	男性	女性	無回答	上段:度数 下段:%
		TOTAL	1448		
	100	43.4	55.7	0.8	
40歳代	588	252	336	0	
	100	42.9	57.1	0.0	
50歳代	540	236	304	0	
	100	43.7	56.3	0.0	
60~64歳	305	141	164	0	
	100	46.2	53.8	0.0	

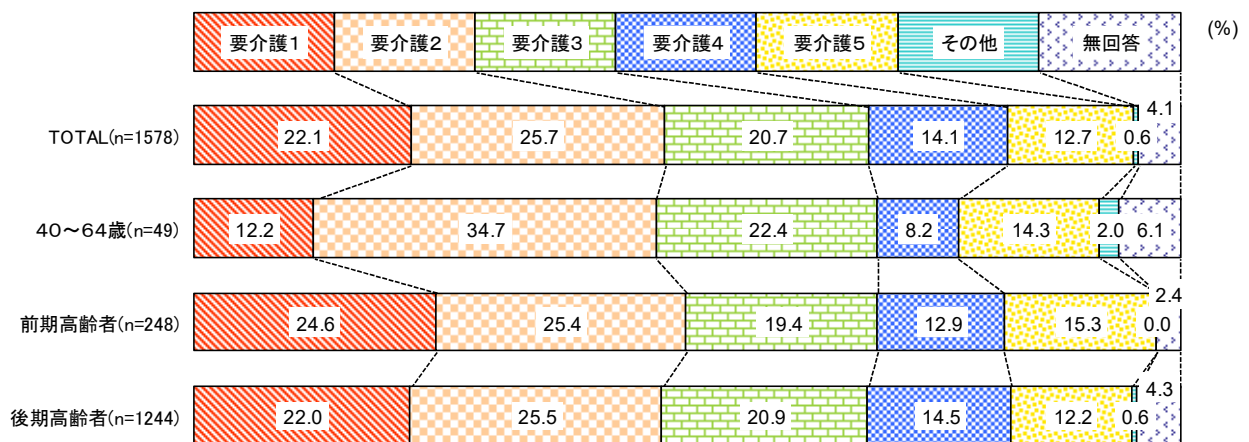
### 【02 単身高齢者】 本人の要介護度（問3）

本人の要介護度については、「要支援1」が25.0%と最も高く、「要支援2」（21.1%）と合わせ、要支援が半数近くを占める。また、「要介護1」（12.5%）、「要介護2」（17.2%）である。



### 【03 要介護認定者】 本人の要介護度（問4）

本人の要介護度については、「要介護2」が25.7%と最も高く、次いで「要介護1」（22.1%）、「要介護3」（20.7%）となっている。

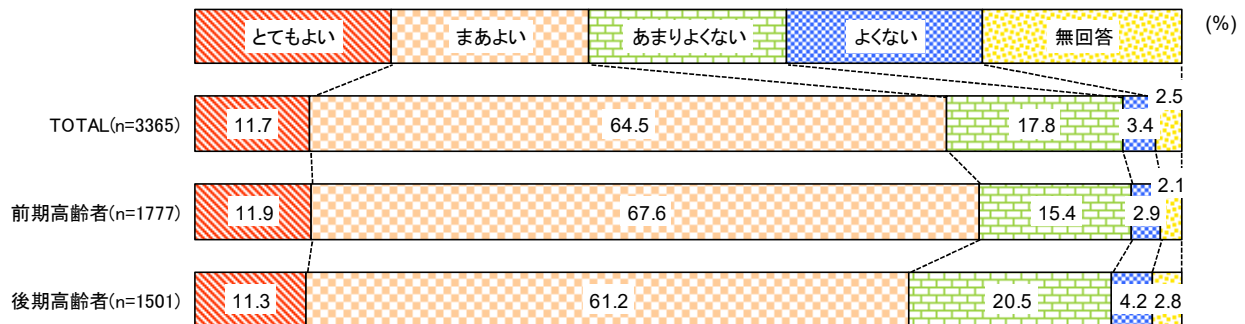




## 1. 主観的健康観

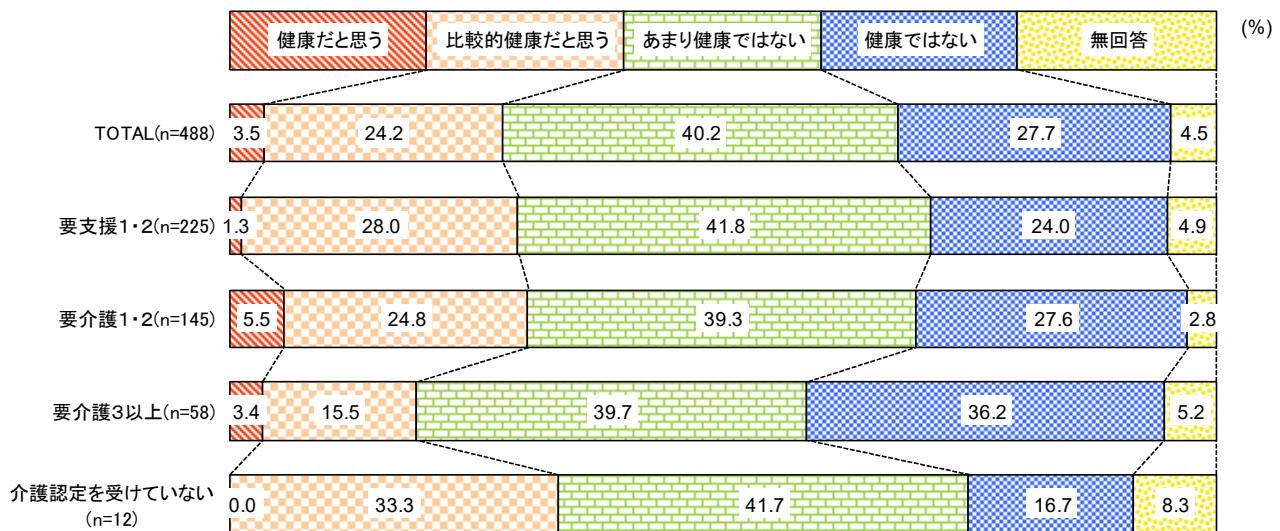
### 【01 一般高齢者】 健康状態（問10（1））

現在の健康状態については、「とてもよい」が11.7%、「まあよい」が64.5%で、合わせて76.2%がよいと感じている。前後期別でみると、健康状態がよい（「とてもよい」＋「まあよい」）と感じている人は、前期高齢者（79.5%）が後期高齢者（72.5%）より7.0ポイント高い。



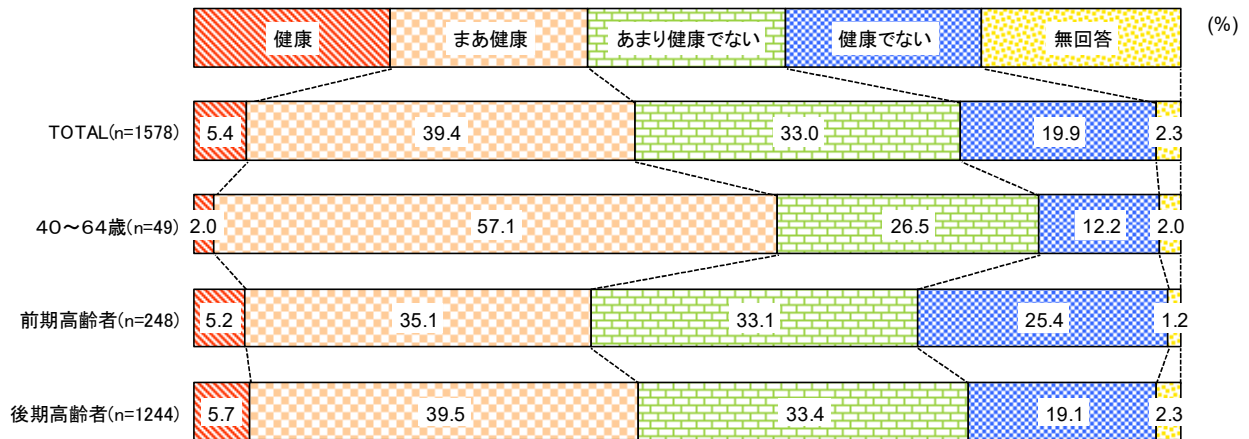
### 【02 単身高齢者】 健康状態（問12）

自分の健康状態については、「あまり健康ではない」が40.2%と最も高く、次いで「健康ではない」（27.7%）、「比較的健康的だと思う」（24.2%）となっている。要介護度別でみると、介護度が上がるにつれて「健康ではない」割合が高くなっている。



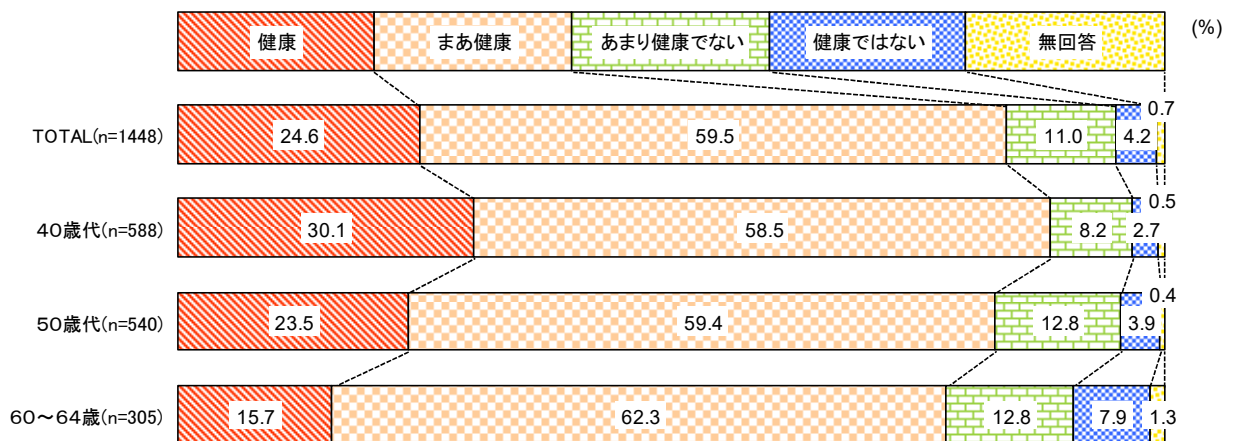
【03 要介護認定者】 健康状態（問7）

本人の健康状態については、「まあ健康」が39.4%で最も高いが、「あまり健康でない」(33.0%)、「健康でない」(19.9%)と合わせると、約半数が健康でないと感じている。年齢別でみると、前期高齢者は健康である（「健康」＋「まあ健康」）が40.3%と、後期高齢者の割合（「健康」＋「まあ健康」で45.2%）よりもやや低い。



【04 一般若年者】 健康状態（問13）

現在の自分の健康状態については、「まあ健康」が59.5%で最も高く、続く「健康」(24.6%)と合わせて8割超が健康と答えている。年齢別でみると、年齢が上がるにつれて健康である（「健康」＋「まあ健康」）と感じる割合が低くなっている。



## 2. 希望健康寿命

### 【01 一般高齢者】 健康に過ごしたいと思う年齢（問13）

健康に過ごしたいと思う年齢については、「85歳以上」が47.6%と最も高く、次いで「80～84歳」(32.6%)となっている。前後期別でみると、後期高齢者は「85歳以上」(65.6%)が最も高く、TOTALよりも18ポイント高くなっている。

		0	1	2	3	4	5	6	7
		TOTAL	64歳以下	64～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	無回答
1段目	度数								
2段目	横%								
0	TOTAL	3365	7	7	54	241	1098	1602	356
		100.0	0.2	0.2	1.6	7.2	32.6	47.6	10.6
1	前期高齢者	1777	5	2	45	215	791	575	144
		100.0	0.3	0.1	2.5	12.1	44.5	32.4	8.1
2	後期高齢者	1501	2	5	6	17	284	984	203
		100.0	0.1	0.3	0.4	1.1	18.9	65.6	13.5

### 【02 単身高齢者】 健康に過ごしたいと思う年齢（問14）

健康に過ごしたいと思う年齢については、「85歳以上」が45.9%と最も高く、次いで「無回答」(32.0%)、「80～84歳」(13.3%)となっている。要介護度別でみると、要支援1・2は「85歳以上」が56.0%と最も高く、TOTALよりも10.1ポイント高くなっている。

		0	1	2	3	4	5
		TOTAL	74歳以下	75～79歳	80～84歳	85歳以上	無回答
1段目	度数						
2段目	横%						
0	TOTAL	488	26	17	65	224	156
		100.0	5.3	3.5	13.3	45.9	32.0
1	要支援1・2	225	6	10	22	126	61
		100.0	2.7	4.4	9.8	56.0	27.1
2	要介護1・2	145	9	5	22	53	56
		100.0	6.2	3.4	15.2	36.6	38.6
3	要介護3以上	58	4	2	11	19	22
		100.0	6.9	3.4	19.0	32.8	37.9
4	介護認定を受けていない	12	1	0	3	5	3
		100.0	8.3	0.0	25.0	41.7	25.0

### 【03 要介護認定者】 健康でいたいと思う年齢（問33）

健康でいたいと思う年齢については、「85歳以上」が37.2%と最も高く、次いで「無回答」(34.6%)、「80～84歳」(18.3%)となっている。年齢別でみると、後期高齢者は「85歳以上」(42.4%)が最も高くなっている。

		0	1	2	3	4	5	6	7
		TOTAL	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	無回答
1段目	度数								
2段目	横%								
0	TOTAL	1578	6	11	68	71	289	587	546
		100.0	0.4	0.7	4.3	4.5	18.3	37.2	34.6
1	40～64歳	49	1	0	3	2	16	6	21
		100.0	2.0	0.0	6.1	4.1	32.7	12.2	42.9
2	前期高齢者	248	2	3	30	23	81	40	69
		100.0	0.8	1.2	12.1	9.3	32.7	16.1	27.8
3	後期高齢者	1244	3	8	33	44	186	527	443
		100.0	0.2	0.6	2.7	3.5	15.0	42.4	35.6

### 3. 介護予防分布

介護予防必要者の抽出について、厚労省基本チェックリストの点数化に基づいて該当者割合を算出した。

分類	番号	上段:基本チェックリスト 下段:本調査での設問文(違う場合) (【01】一般、【02】高齢単身、【04】一般若年者)	該当選択肢 上段:一般高齢者調査 下段:高齢単身調査、一般若年者調査 (1段のものは共通)
暮らし ぶり 2の 1	1	バスや電車で1人で外出していますか 【01】バスや電車をを使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)	3 できない 2 いいえ
	2	日用品の買い物をしていますか 【01】自分で食品・日用品の買物をしていますか。	3 できない 2 いいえ
	3	預貯金の出し入れをしていますか 【01】自分で預貯金の出し入れをしていますか。	3 できない 2 いいえ
	4	友人の家を訪ねていますか	2 いいえ
	5	家族や友人の相談にのっていますか	2 いいえ
運動器 関係	6	階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか	3 できない 2 いいえ
	7	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	3 できない 2 いいえ
	8	15分位続けて歩いていますか	3 できない 2 いいえ
	9	この1年間に転んだことがありますか 【01】過去1年間に転んだ経験がありますか。	1 何度もある 2 一度ある 1 はい
	10	転倒に対する不安は大きいですか	1 とても不安である 2 やや不安である 1 はい
栄養・ 口腔 機能等 の関係	11	6ヶ月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか	1 はい
	12	※ BMI = 体重 (kg) ÷ 身長 (m) ÷ 身長 (m) (記入値より算出)	BMI < 18.5 (やせ)
	13	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1 はい
	14	お茶や汁物等でむせることがありますか	1 はい
	15	口の渇きが気になりますか	1 はい
暮らし ぶり 2の 2	16	週に1日以上は外出していますか	1 ほとんど外出しない 2 週1回 2 いいえ
	17	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	1 とても減っている 2 減っている 1 はい
	18	周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあると云われますか 【01】もの忘れが多いと感じますか。	1 はい
	19	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	2 いいえ
	20	今日が何月何日かわからない時がありますか	1 はい
(うつこ ろ) 予防	21	(ここ2週間) 毎日の生活に充実感がない 【01】は設問なし	1 はい
	22	(ここ2週間) これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった 【01】は設問なし	1 はい
	23	(ここ2週間) 以前は案にできていたことが今ではおっくうに感じられる 【01】は設問なし	1 はい
	24	(ここ2週間) 自分が役に立つ人間だと思えない 【01】は設問なし	1 はい
	25	(ここ2週間) わけもなく疲れたような感じがする 【01】は設問なし	1 はい

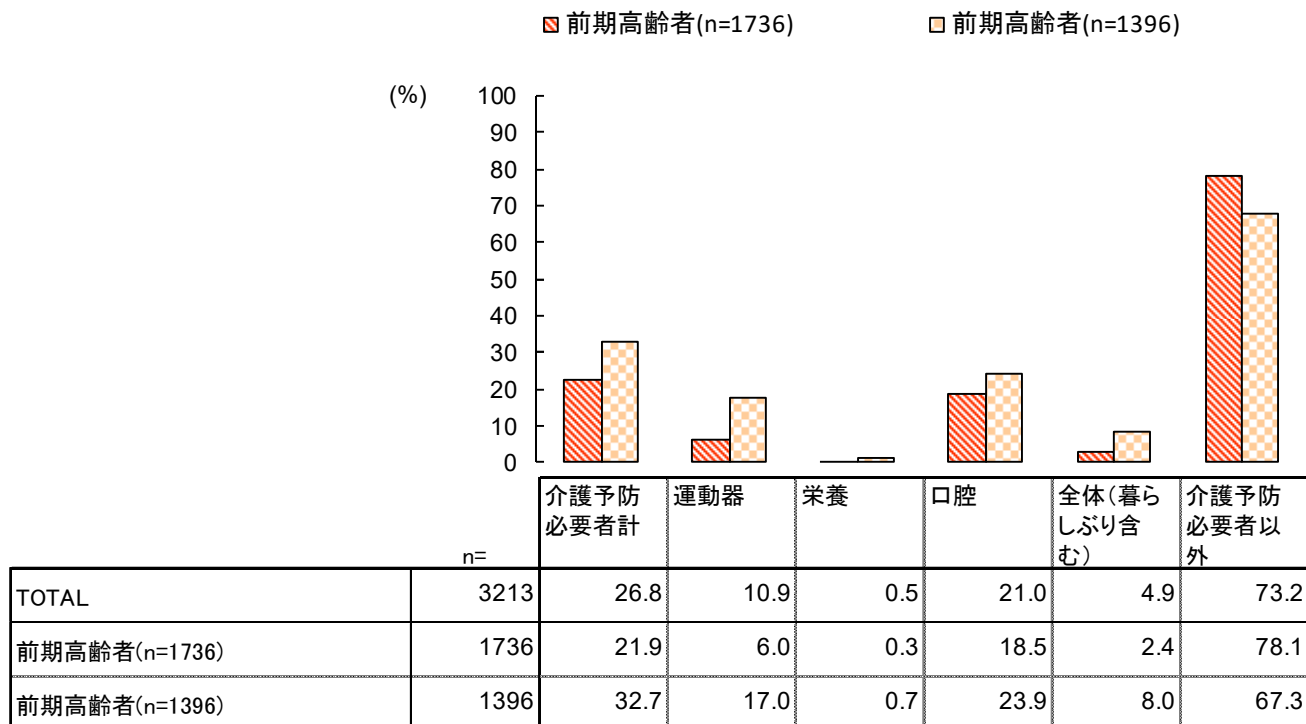
基本チェックリストの点数化に基づく該当者割合の算出根拠は下記の通り。

<b>予防必要者</b>	上記1~20までの項目のうち、「運動器」「栄養」「口腔」「全体・くらしぶり」に1項目以上該当する者
<b>運動器</b>	上記6~10までの項目のうち、3項目以上に該当する者
<b>栄養</b>	上記11、12の両項目に該当する者
<b>口腔</b>	上記13~15のうち、2項目以上に該当する者
<b>全体(暮らしぶり含む)</b>	上記1~20までの項目のうち、10項目以上該当する者

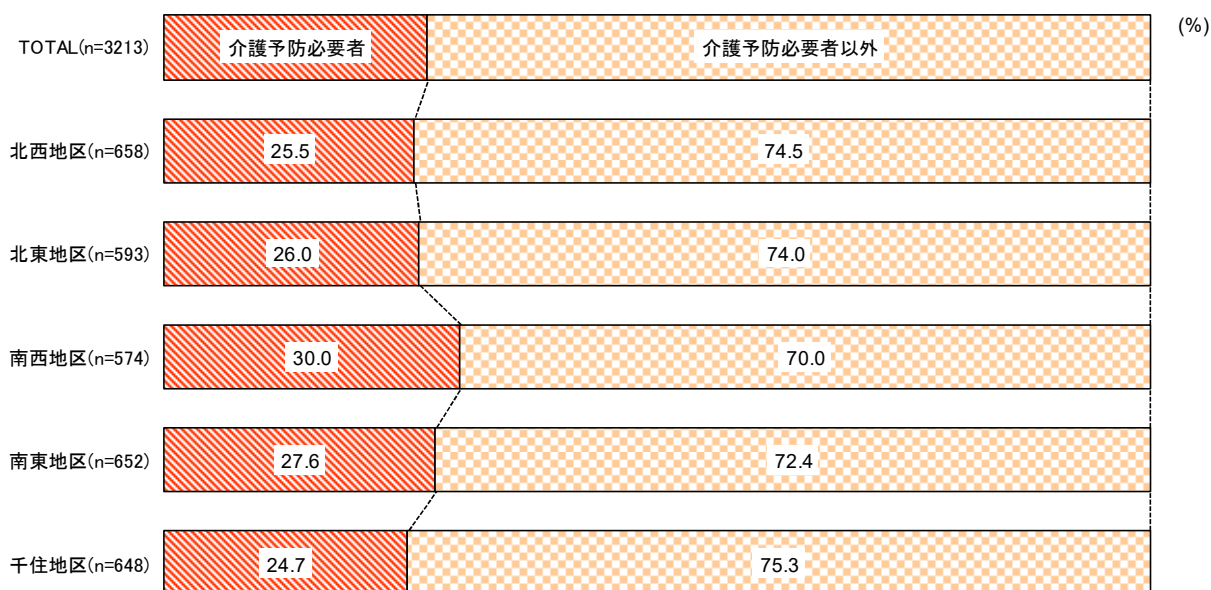
【01 一般高齢者】 \* 介護予防分布

要支援の認定者を除き、一般高齢者における「介護予防必要者」は 26.8%である。介護予防必要者のうち、「口腔」は 21.0%、「運動器」は 10.9%、「全体（暮らしぶり含む）」は 4.9%となっている。

いずれも前期高齢者より後期高齢者で該当者割合が高く、介護予防必要者も 10 ポイント程度高くなっている。



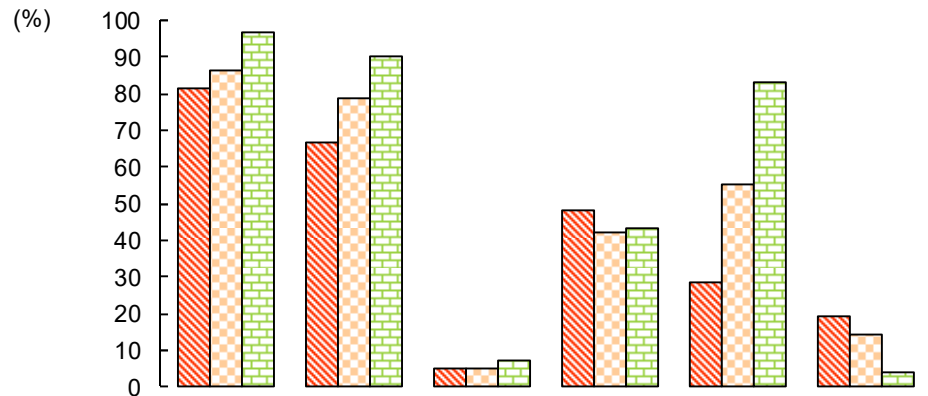
【01 一般高齢者】 介護予防必要者区分×圏域



【02 単身高齢者】 \* 介護予防分布

単身高齢者では「運動器」が71.3%と最も高く、次いで「口腔」(45.1%)となっている。要介護度別でみると、「全体(暮らしぶりを含む)」は介護度が上がるにつれて高くなって、要介護3以上では82.8%と最も高く、TOTALより39.4ポイントも高くなっている。

■ 要支援1・2(n=225)    □ 要介護1・2(n=145)    ▨ 要介護3以上(n=58)



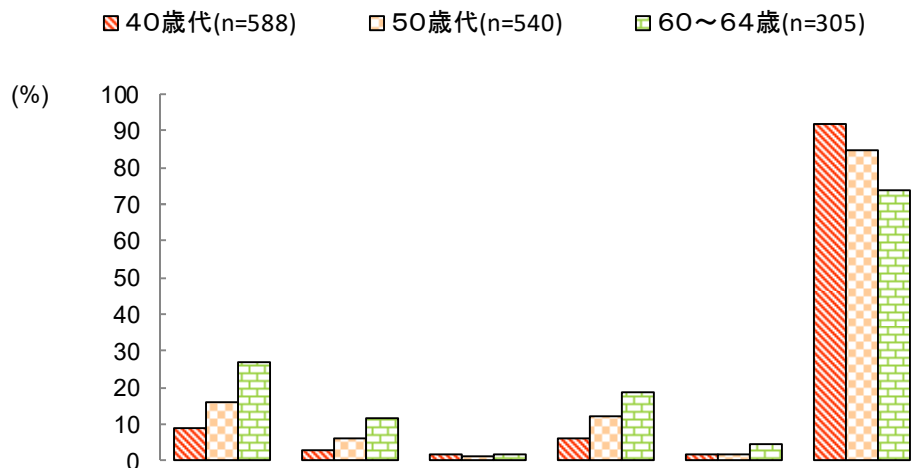
	n=	介護予防 必要者計	運動器	栄養	口腔	全体(暮らし ぶり含む)	介護予防 必要者以 外
TOTAL	488	83.8	71.3	5.1	45.1	43.4	16.2
要支援1・2(n=225)	225	81.3	66.2	4.9	47.6	28.0	18.7
要介護1・2(n=145)	145	86.2	78.6	4.8	42.1	55.2	13.8
要介護3以上(n=58)	58	96.6	89.7	6.9	43.1	82.8	3.4
介護認定を受けていない(n=12)	12	58.3	50.0	8.3	33.3	25.0	41.7

【04 一般若年者】 \* 介護予防分布

一般若年者では、「介護予防必要者」が 14.9%である。

「介護予防必要者」のうち、「口腔」が 10.8%、「運動器」が 5.5%の順となっている。

年代別で見ると、「口腔」と「運動器」は年齢が上がるにつれて高くなっている。



	n=	介護予防必要者計	運動器	栄養	口腔	全体(暮らしぶり含む)	介護予防必要者以外
TOTAL	1448	14.9	5.5	1.1	10.8	2.1	85.1
40歳代(n=588)	588	8.5	2.4	1.4	6.0	1.5	91.5
50歳代(n=540)	540	15.6	5.6	0.6	11.9	1.5	84.4
60~64歳(n=305)	305	26.6	11.5	1.6	18.4	4.3	73.4

【各種リスク対象者抽出の関連設問】

「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 実施の手引き」に基づき、リスク判定を行った。

基本チェックリストは点数積み上げ方式であるが、この方式では関連設問に「無回答」がある場合、「判別不能」となるため、基本チェックリストの結果とは完全には一致しない。

「運動器の機能」	該当選択肢
階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	3 できない
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	3 できない
15分位続けて歩いていますか。	3 できない
過去1年間に転んだ経験がありますか。	1 何度もある 2 一度ある
転倒に対する不安は大きいですか。	1 とても不安である 2 やや不安である
上記項目のうち、3項目以上該当	運動機能の低下あり
上記項目のうち、3項目未満	運動機能の低下なし
上記以外（一部または全部無回答）	判別不能

「転倒リスク」	該当選択肢
過去1年間に転んだ経験がありますか。	1 何度もある 2 一度ある
上記項目に該当	転倒リスク あり
上記項目に非該当	転倒リスク なし
上記以外（無回答）	判別不能

「口腔機能」	該当選択肢
半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	1 はい
お茶や汁物などでむせることはありますか。	1 はい
口の渇きが気になりますか。	1 はい
上記項目中、2項目以上に該当	口腔機能の低下あり
上記項目中、2項目未満に該当	口腔機能の低下なし
上記以外（一部または全部無回答）	判別不能

「低栄養」	該当選択肢
※ BMI = 体重 (kg) ÷ 身長 (m) ÷ 身長 (m)	BMI < 18.5
6ヶ月間で2～3kg以上の体重の増減がありましたか。	1 はい
上記の両方に該当	低栄養状態
上記のいずれかに非該当	低栄養状態ではない
上記以外（無回答）	判別不能

「閉じこもり傾向」	該当選択肢
週に1回以上は外出していますか。	1 ほとんど外出しない 2 週1回
上記項目に該当	閉じこもり傾向 あり
上記項目に非該当	閉じこもり傾向 なし
上記以外（無回答）	判別不能

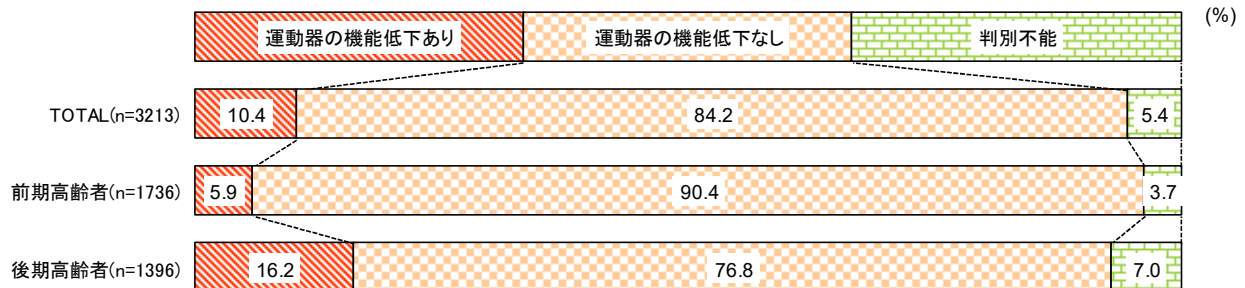
「もの忘れ」	該当選択肢
周りの人から「いつも同じ事を聞く」などのもの忘れがあるとされますか。	1 はい
自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	2 いいえ
今日が何月何日かわからない時がありますか	1 はい
上記項目中、2項目以上に該当	もの忘れ あり
上記項目中、2項目未満に該当	もの忘れ なし
上記以外（一部または全部無回答）	判別不能



## 4. 運動器の機能

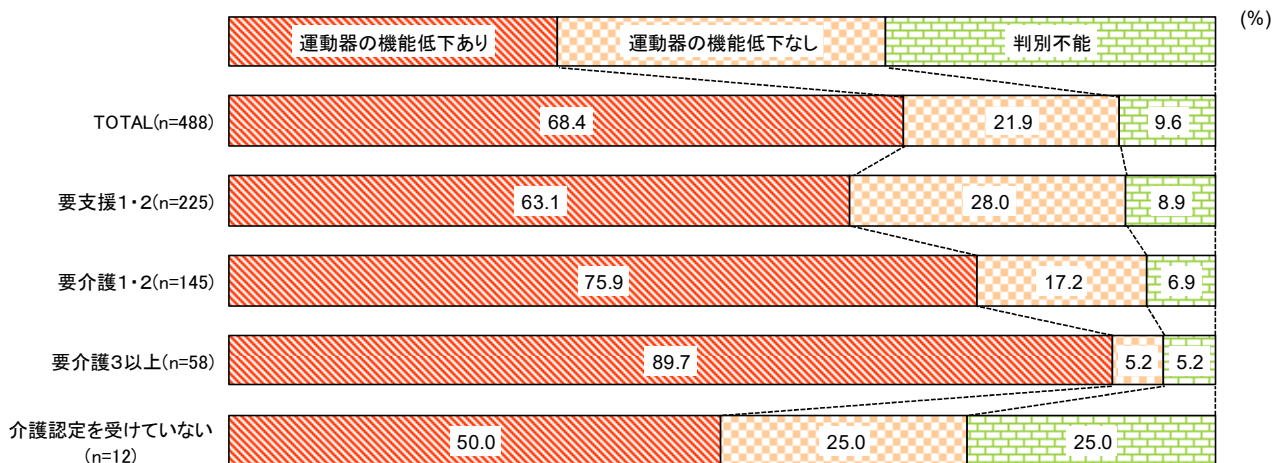
### 【01 一般高齢者】 \* 運動器の機能

要支援認定者を除き、運動器の機能については、「運動器の機能低下あり」が10.4%である。前期高齢者では5.9%に対し、後期高齢者では16.2%となっている。



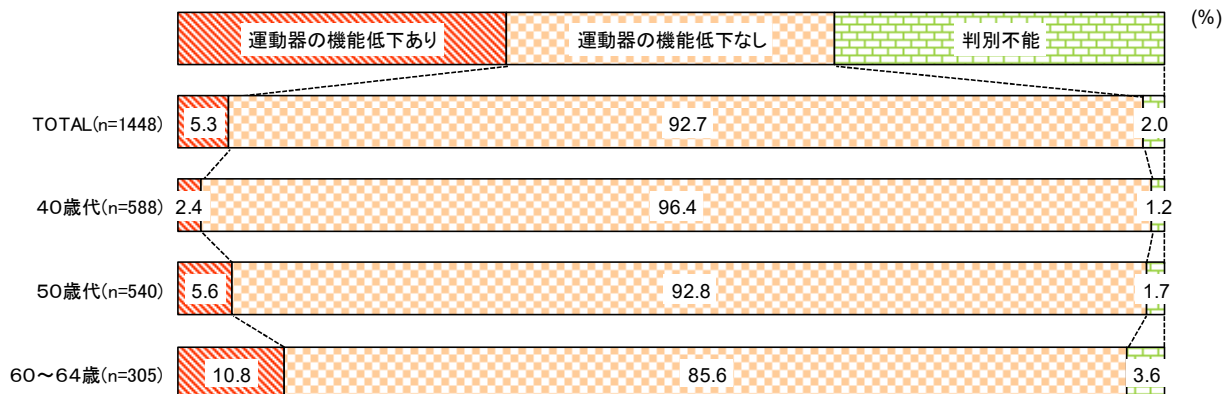
### 【02 単身高齢者】 \* 運動器の機能

運動器の機能については、「運動器の機能低下あり」が68.4%と7割近い。要介護3以上では「運動器の機能低下あり」が89.7%で約9割となっている。



### 【04 一般若年者】 \* 運動器の機能

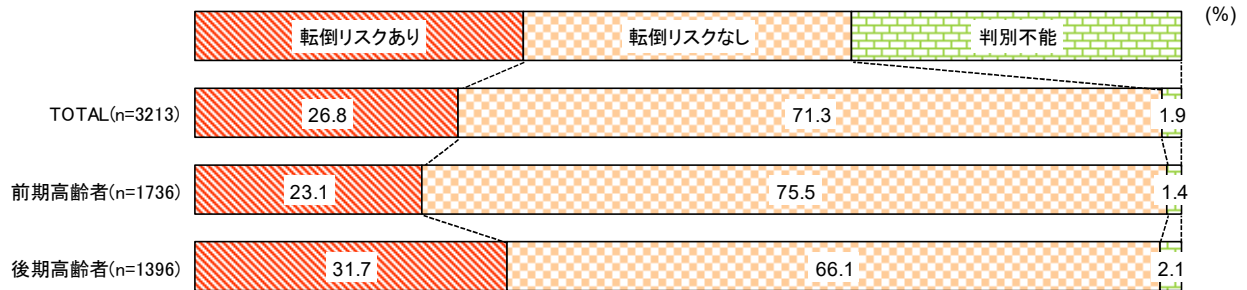
運動器の機能については、「運動器の機能低下なし」が92.7%と高くなっている。一方、60～64歳では「運動器の機能低下あり」が10.8%と1割みられる。



## 5. 転倒リスク

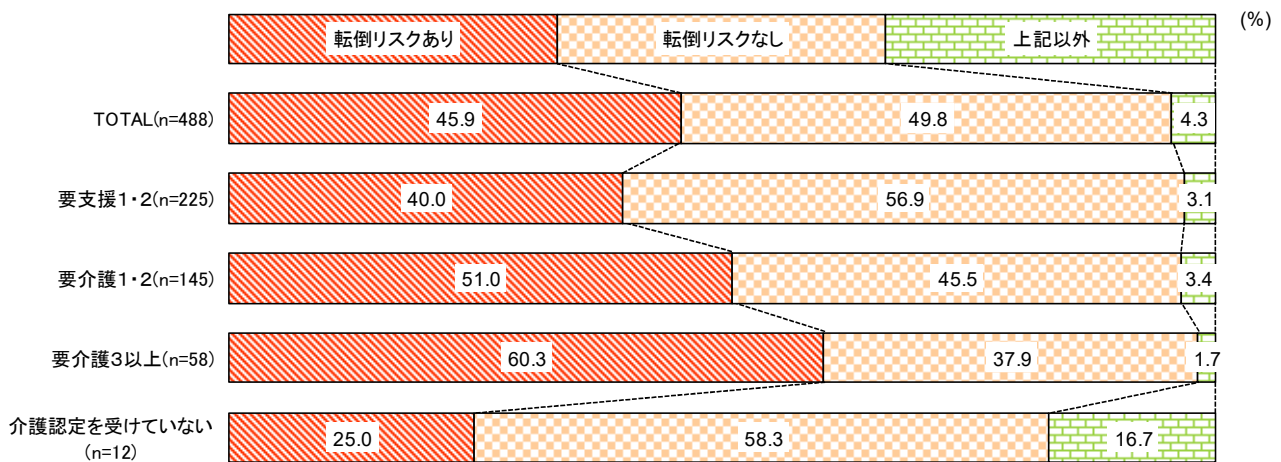
### 【01 一般高齢者】 \* 転倒リスク

要支援認定者を除いた一般高齢者では、「転倒リスクあり」が 26.8%である。



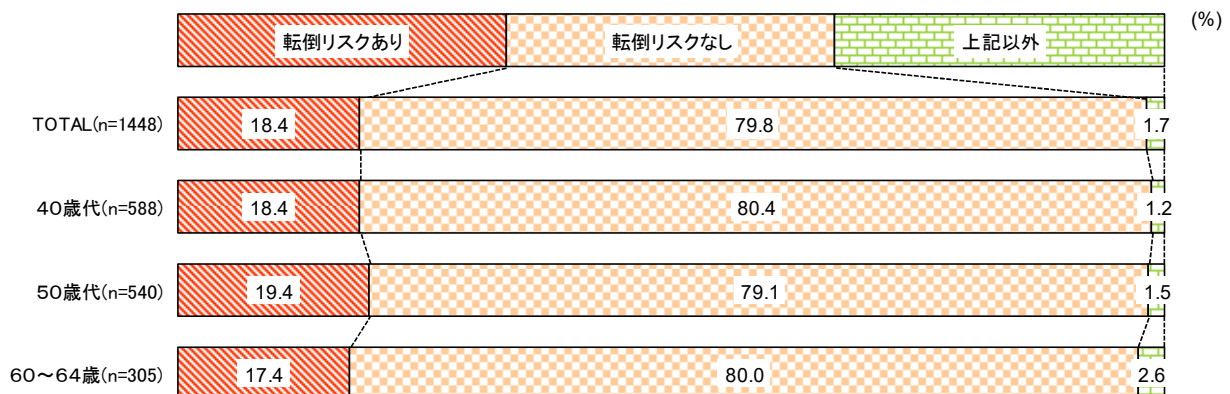
### 【02 単身高齢者】 \* 転倒リスク

単身高齢者では、「転倒リスクなし」が 49.8%、「転倒リスクあり」が 45.9%とほぼ半々になっている。要介護度が上がるにつれて「転倒リスクあり」が高くなっている。



### 【04 一般若年者】 \* 転倒リスク

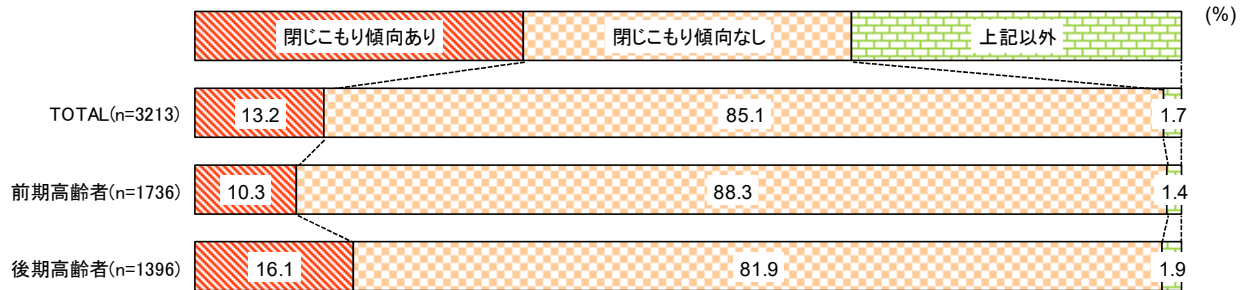
一般若年者では、「転倒リスクあり」が 18.4%となっている。年代による差は小さい。



## 6. 閉じこもり傾向

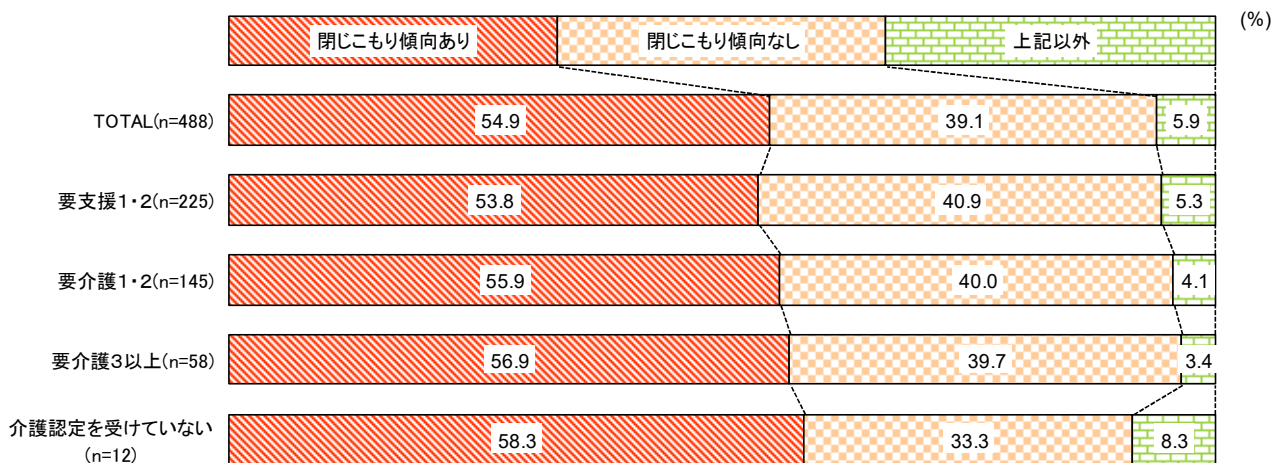
### 【01 一般高齢者】 \* 閉じこもり傾向

要支援認定者を除いた一般高齢者では、「閉じこもり傾向あり」が13.2%となっている。



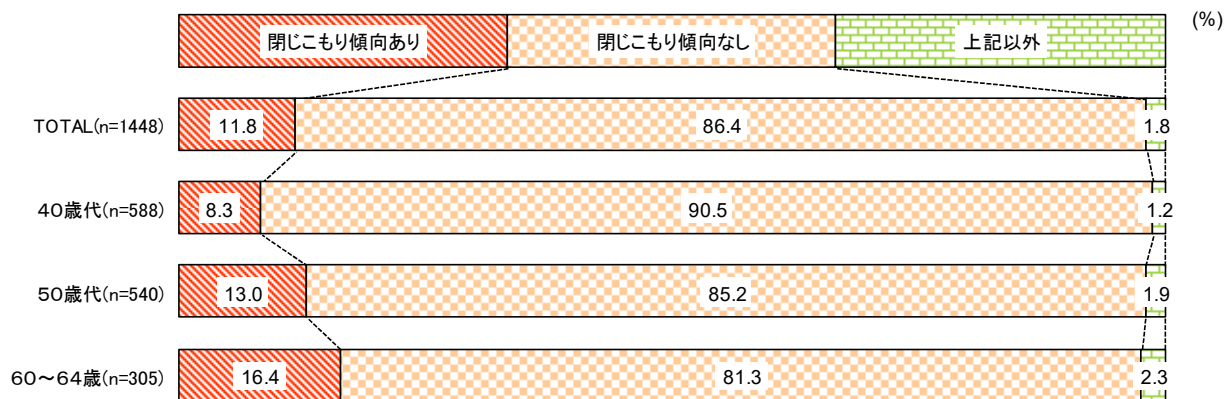
### 【02 単身高齢者】 \* 閉じこもり傾向

単身高齢者では、「閉じこもり傾向あり」が54.9%と半数を超えている。



### 【04 一般若年者】 \* 閉じこもり傾向

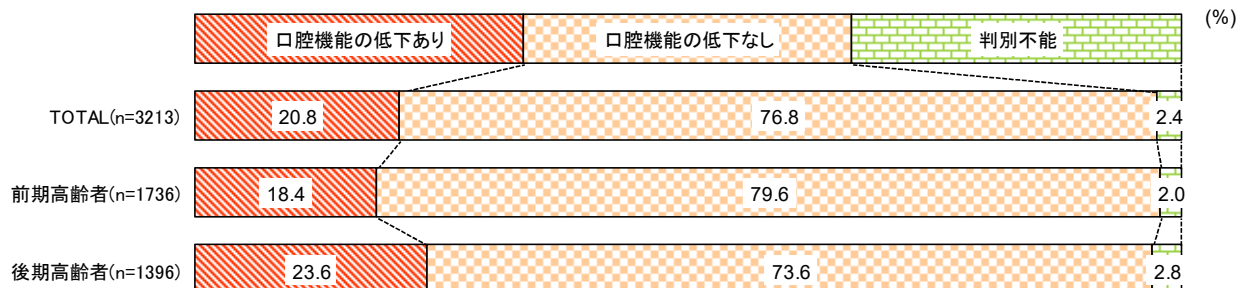
一般若年者では、「閉じこもり傾向あり」が11.8%となっている。



## 7. 口腔

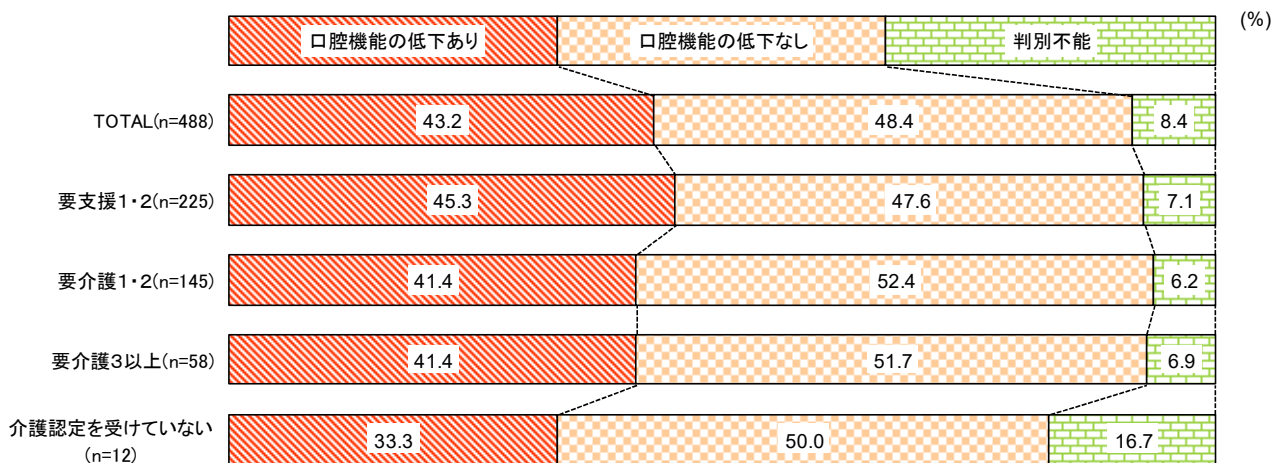
### 【01 一般高齢者】 \* 口腔

要支援認定者を除き、一般高齢者では、「口腔機能の低下あり」が20.8%となっている。前期高齢者と後期高齢者では5ポイント以上差がある。



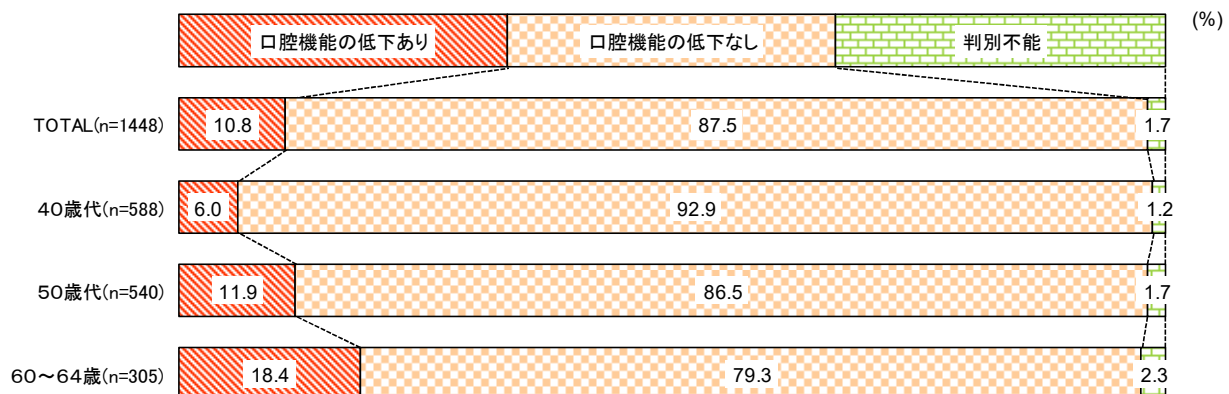
### 【02 単身高齢者】 \* 口腔

単身高齢者者では、「口腔機能の低下あり」が43.2%と4割以上になっている。



### 【04 一般若年者】 \* 口腔

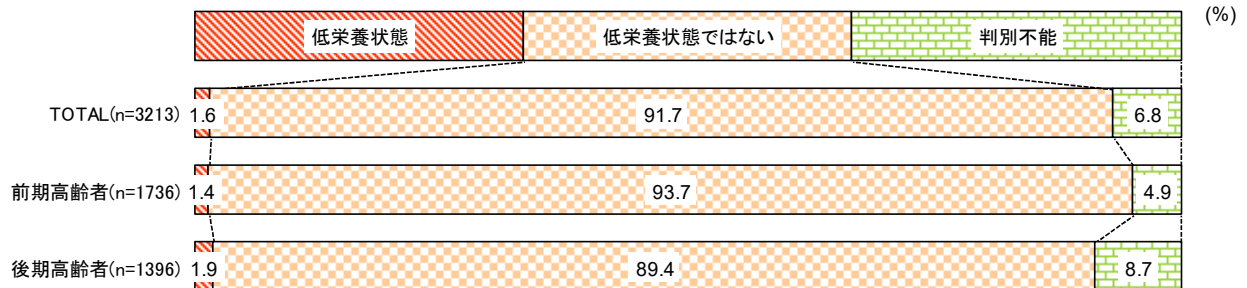
一般若年者では、「口腔機能の低下あり」が10.8%である。40歳代では6.0%に対し、60~64歳では18.4%と年代が上がるにつれ該当割合が増加している。



## 8. 低栄養

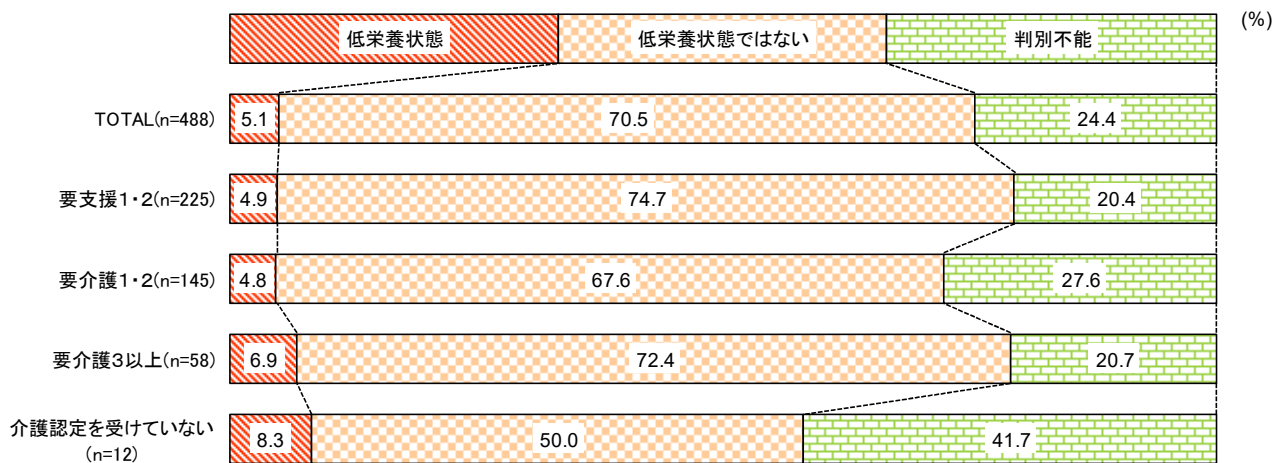
### 【01 一般高齢者】 \* 低栄養状態

要支援認定者を除き、一般高齢者では、「低栄養状態」が1.6%である。



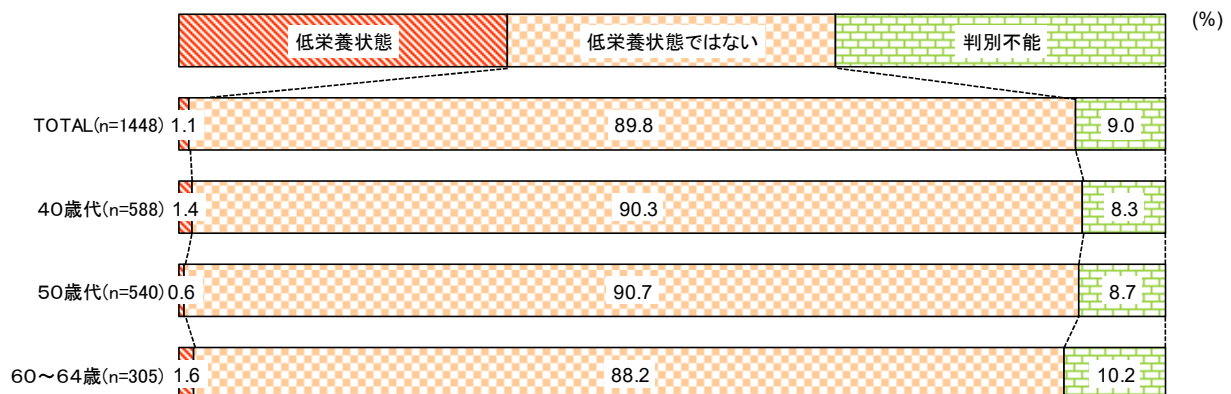
### 【02 単身高齢者】 \* 低栄養状態

単身高齢者では、「低栄養状態」が5.1%である。



### 【04 一般若年者】 \* 低栄養状態

一般若年者では、「低栄養状態」が1.1%である。

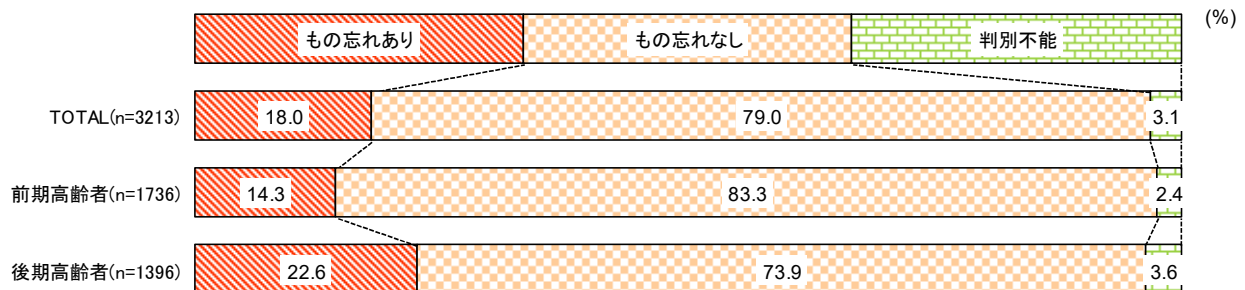




## 9. もの忘れ

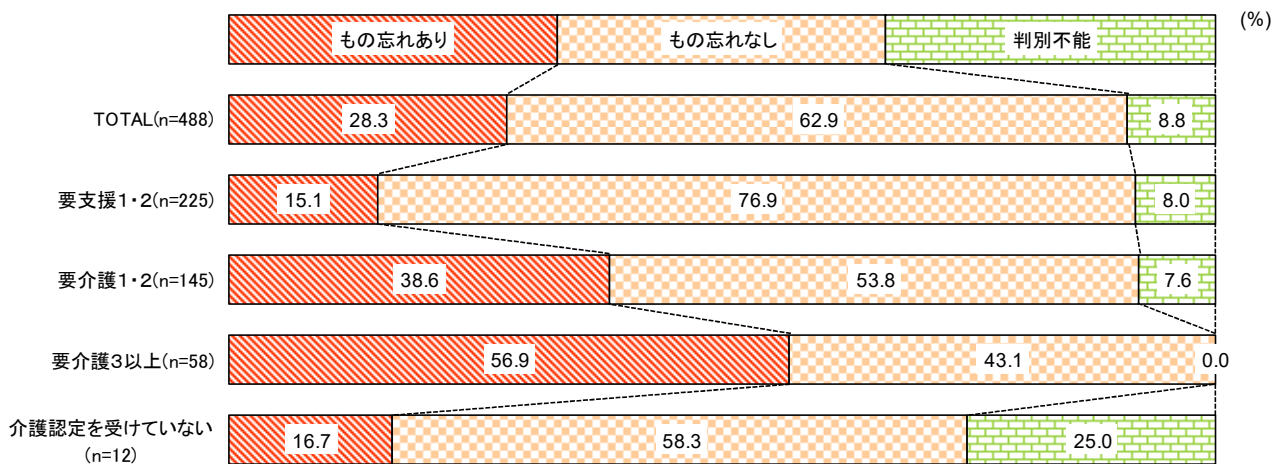
### 【01 一般高齢者】 \* もの忘れ

要支援認定者を除き、一般高齢者では、「もの忘れあり」が18.0%である。  
後期高齢者では、22.6%と2割を超えている。



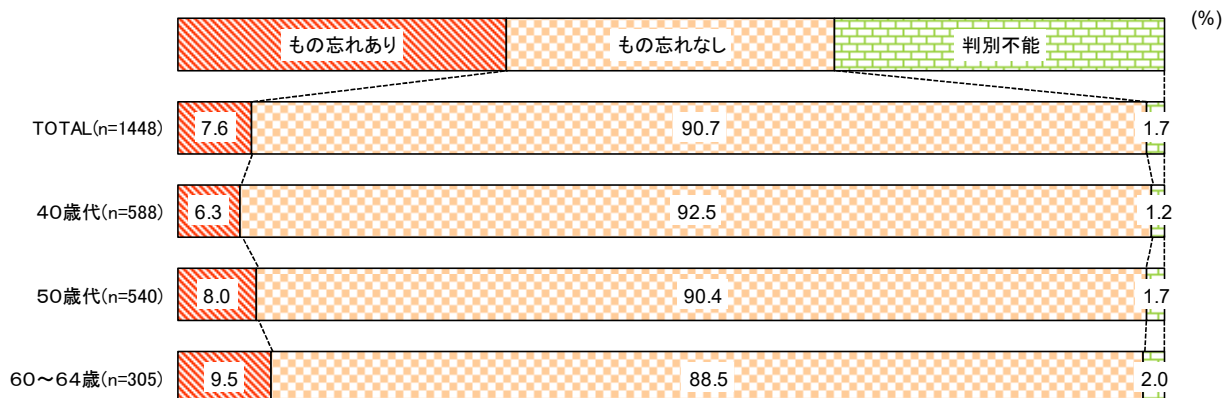
### 【02 単身高齢者】 \* もの忘れ

単身高齢者者では、「もの忘れあり」が28.3%である。要介護度3以上では「もの忘れあり」が56.9%で「もの忘れなし」を上回っている。



### 【04 一般若年者】 \* もの忘れ

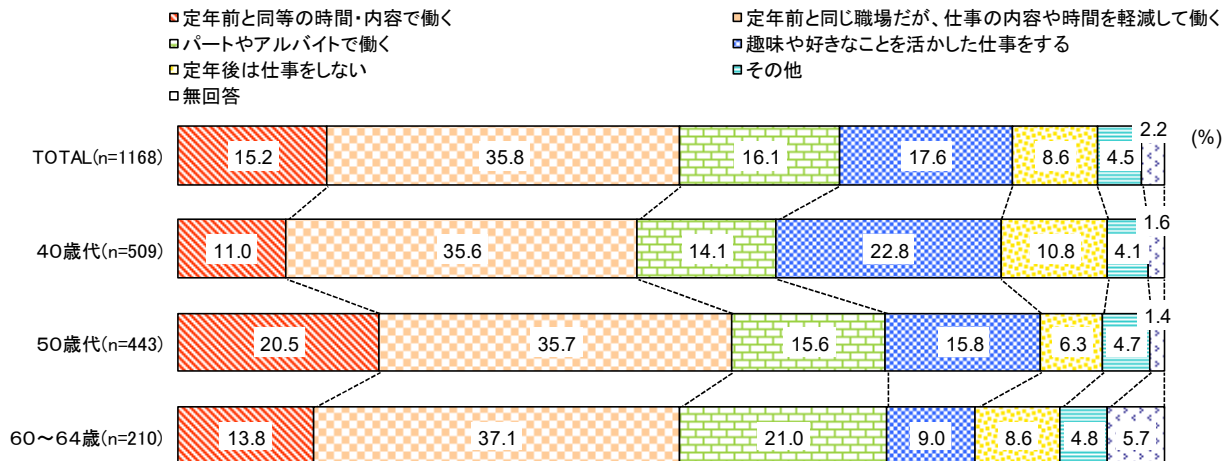
一般若年者では、「もの忘れあり」が7.6%となっている。



## 10. 就労

### 【04 一般若年者】 定年後も仕事を続ける場合、望ましいと思う働き方（問5-4）

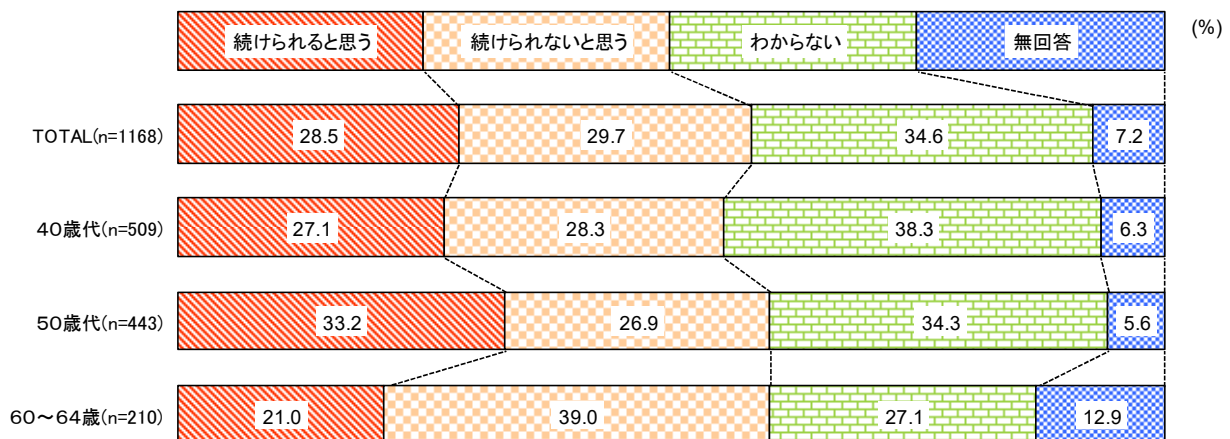
定年後も仕事を続ける場合、望ましいと思う働き方については、「定年前と同じ職場だが、仕事の内容や時間を軽減して働く」が35.8%と最も高く、次いで「趣味や好きなことを活かした仕事をする」(17.6%)、「パートやアルバイトで働く」(16.1%)となっている。



### 【04 一般若年者】 家族等の介護をする際、現在の勤務先で働き続けられるか（問30）

【ベース：勤労者】

家族等の介護をすることになった場合、現在の勤務先で働き続けられるかについては、「続けられないと思う」(29.7%)、「続けられると思う」(28.5%)、「わからない」(34.6%)と、いずれの回答も3割前後となっている。



【04 一般若年者】家族等の介護の際、現在の勤務先で仕事を続けるうえで不安に思うこと（複数回答）  
 【ベース：就業者（家事専業・無職以外）】（問31）

不安に思うことは、「勤務先に介護にかかわる支援制度がない、もしくはわからない」（39.7%）、「代替要員がおらず、介護のために仕事を休めない」（34.3%）、「職場に介護休業などを取得している人がいない」（26.5%）が上位である。

家族等の介護をすることになった場合、現在の勤務先で働き続けられるかどうかの回答別でみると、続けられないと思う人では、いずれの回答割合も続けられると思う人と比べ、高い割合となっており、「不安を感じない」は3.5%と低くなっている。

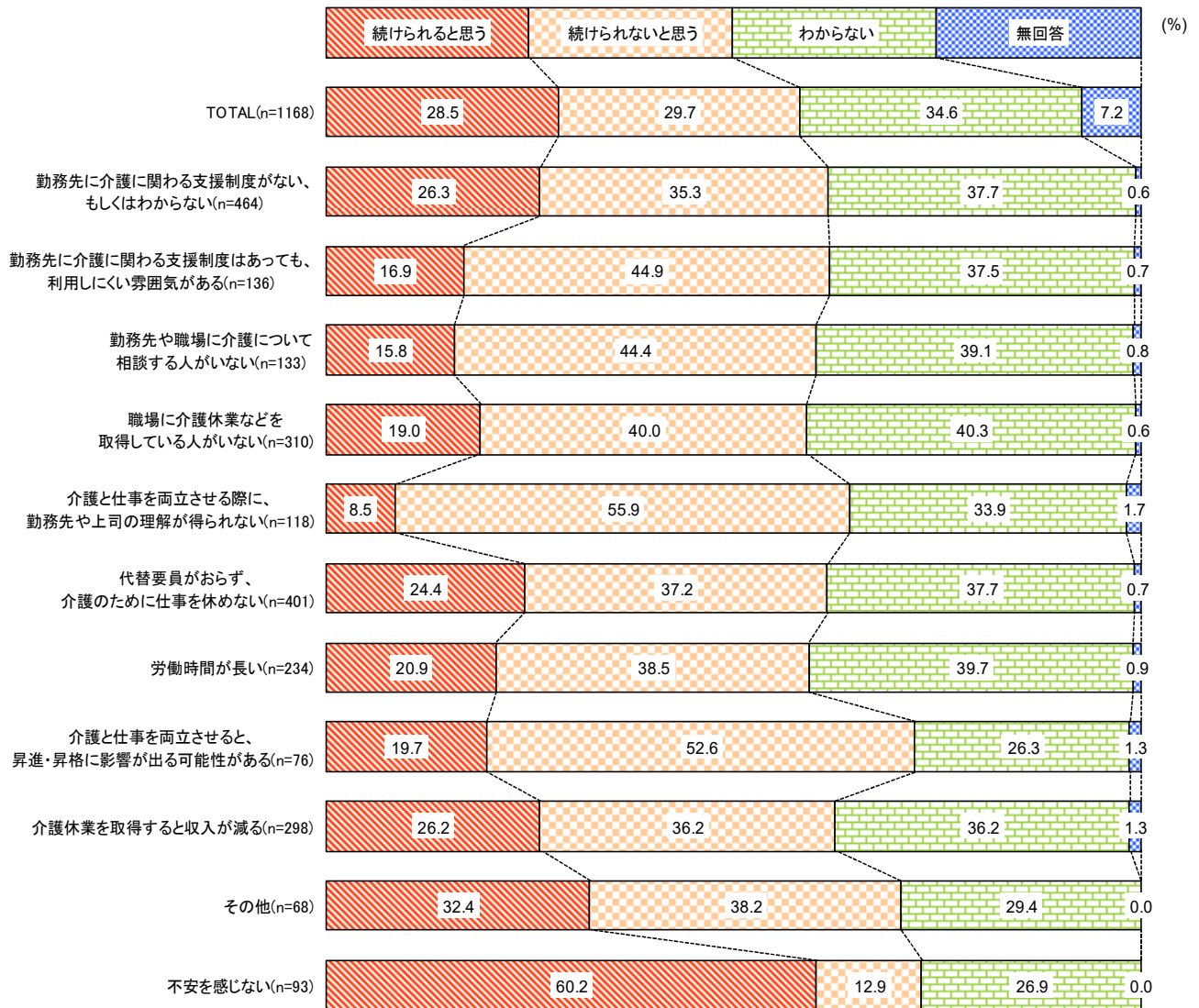
	問30 家族等の介護をすることになった場合、現在の勤務先で働き続けられると思うか【ベース：就業者（家事専業・無職以外）】			
	TOTAL	続けられると思う	続けられないと思う	わからない
n=	1168	333	347	404
勤務先に介護に関わる支援制度がない、もしくはわからない	39.7	36.6	47.3	43.3
代替要員がおらず、介護のために仕事を休めない	34.3	29.4	42.9	37.4
職場に介護休業などを取得している人がいない	26.5	17.7	35.7	30.9
介護休業を取得すると収入が減る	25.5	23.4	31.1	26.7
労働時間が長い	20.0	14.7	25.9	23.0
勤務先に介護に関わる支援制度はあっても、利用しにくい雰囲気がある	11.6	6.9	17.6	12.6
勤務先や職場に介護について相談する人がいない	11.4	6.3	17.0	12.9
介護と仕事を両立させる際に、勤務先や上司の理解が得られない	10.1	3.0	19.0	9.9
介護と仕事を両立させると、昇進・昇格に影響が出る可能性がある	6.5	4.5	11.5	5.0
その他	5.8	6.6	7.5	5.0
不安を感じない	8.0	16.8	3.5	6.2
無回答	9.5	2.7	2.9	3.5



【04 一般若年者】 家族等の介護をする際、現在の勤務先で働き続けられるか（問30）

【ベース：勤労者】

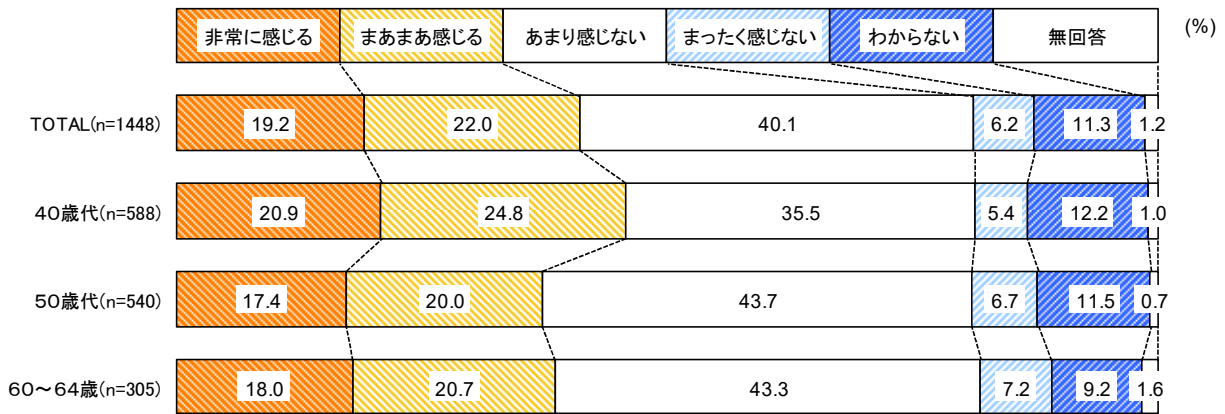
家族等の介護をすることになった場合、現在の勤務先で働き続けられるかについて、働き続けるうえで不安に思うこと（複数回答）別にみると、“介護と仕事を両立させる際に、勤務先や上司の理解が得られない”と不安に感じている人では、「続けられないと思う」が55.9%と最も高くなっている。



## 11. 将来の生活

### 【04 一般若年者】 孤独死について、身近な問題だと感じるか（問12）

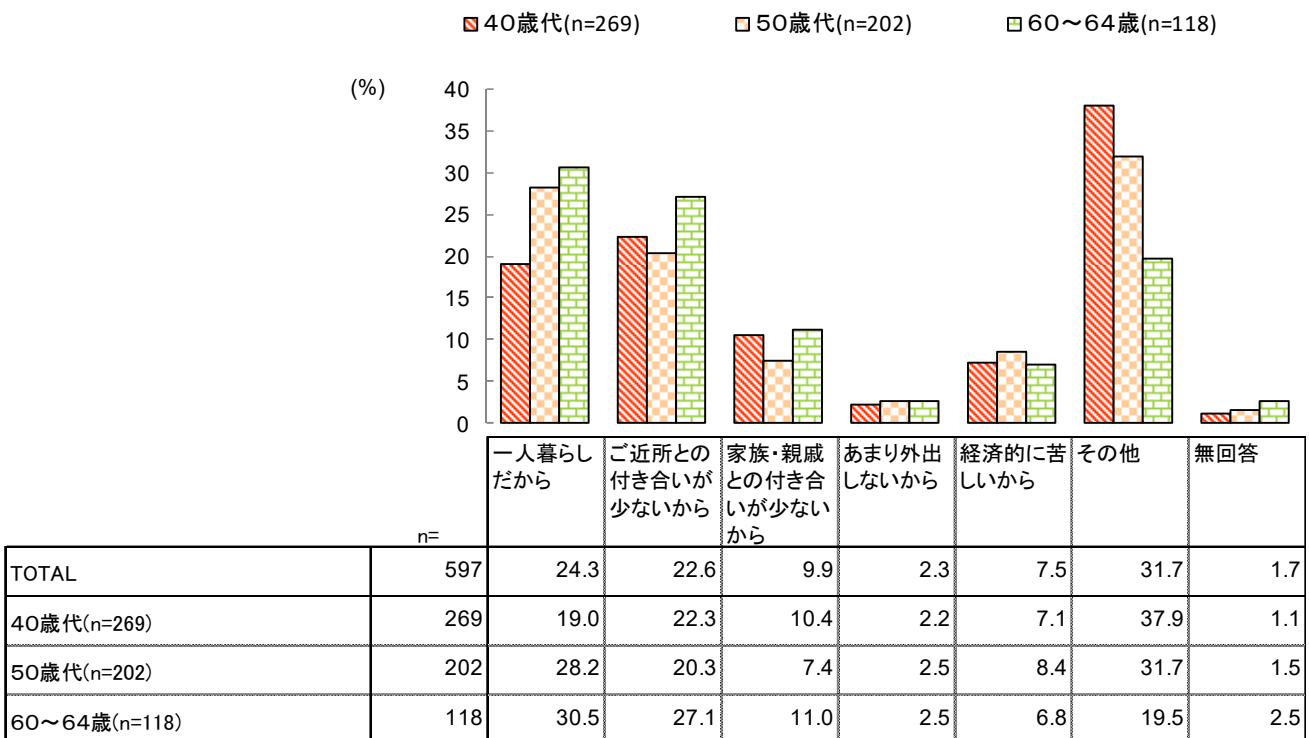
孤独死について、身近な問題だと感じるかについては、「非常に感じる」（19.2%）、「まあまあ感じる」（22.0%）を合わせて「身近な問題だと感じる」割合は41.2%となっている。一方、「あまり感じない」は40.1%となっている。



### 【04 一般若年者】 孤独死を身近に感じる理由（複数回答）（問12-1）

【ベース：孤独死を身近に感じる】

孤独死を身近に感じる理由については、「一人暮らしだから」（24.3%）、「ご近所との付き合いが少ないから」（22.6%）がともに2割となっている。



## 12. 地域活動

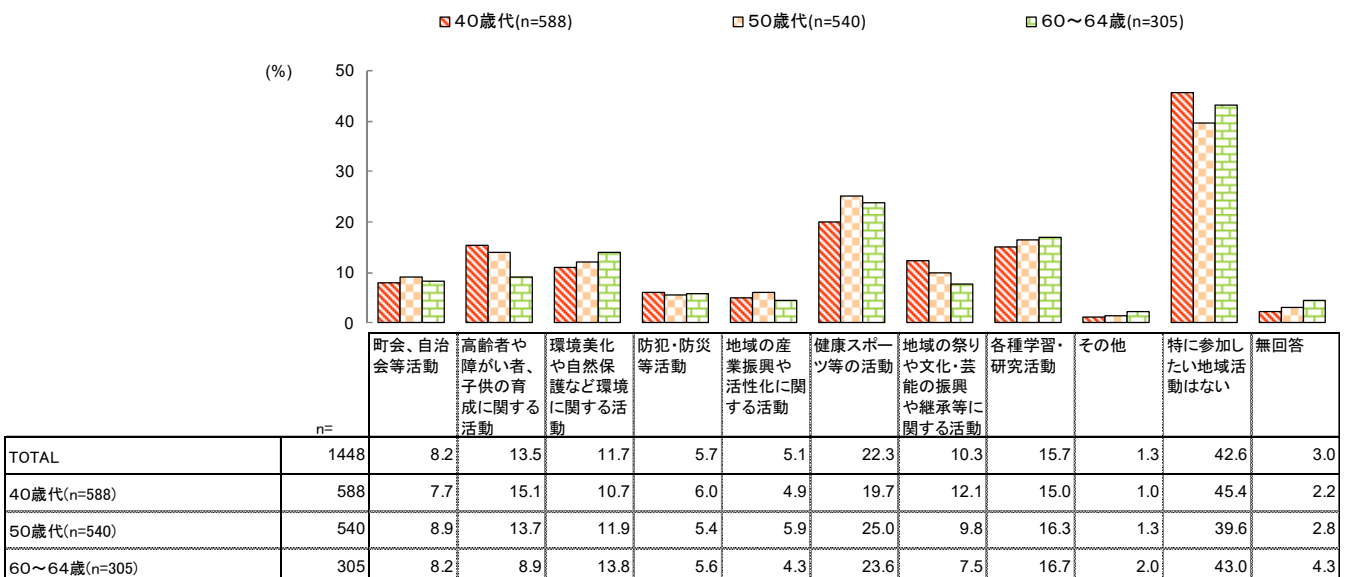
### 【01 一般高齢者】 地域活動（問8）

高齢者の地域活動の頻度をみると、「収入のある仕事」で「週4回以上」が13.3%、「趣味関係のグループ」で「月1～3回」が9.8%となっている。また、「町内会・自治会」については「年に数回」が10.2%となっている。

	n=	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
ボランティアのグループ	3365	1.0	1.1	1.3	3.1	2.7	52.0	38.8
スポーツ関係のグループやクラブ	3365	3.4	5.6	3.9	3.9	1.8	46.4	34.9
趣味関係のグループ	3365	2.2	4.9	4.5	9.8	3.9	42.6	32.0
学習・教養サークル	3365	0.4	0.9	1.7	2.9	1.8	51.4	41.0
老人クラブ	3365	0.7	0.8	0.5	2.1	2.0	53.8	40.1
町内会・自治会	3365	1.0	1.2	1.4	5.9	10.2	44.5	35.9
収入のある仕事	3365	13.3	4.6	0.9	1.2	1.2	42.8	35.9

### 【04 一般若年者】 今後、参加又は続けたい地域活動（複数回答）（問10）

一般若年者の今後、参加又は続けたい地域活動については、いずれかの地域活動に参加、または参加したいとする割合が54.4%と半数を超えている（「特に参加している活動はない」42.6%、「無回答」3.0%の合計を差し引いた割合）。参加又は続けたい地域活動としては、「健康スポーツ等の活動」（22.3%）、「各種学習・研究活動」（15.7%）となっている。

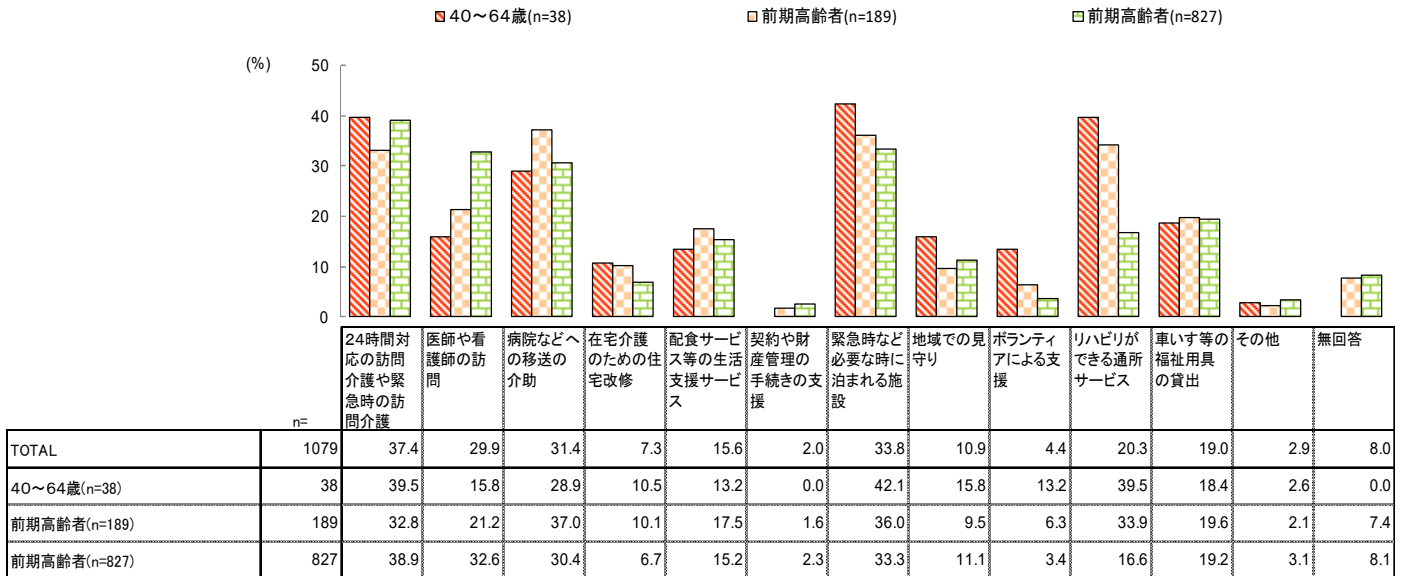


### 13. 在宅介護

【03 要介護認定者】 今後も安心して在宅生活を続けていくのに必要なこと（複数回答）（問26）

【ベース：サービスを利用しながら自宅生活の希望者】

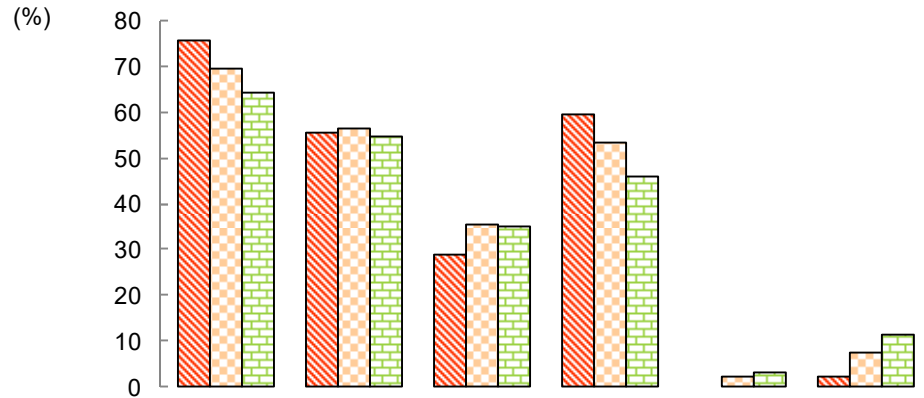
今後も安心して在宅生活を続けていくのに必要なことについては、「24時間対応の訪問介護や緊急時の訪問介護」が37.4%で最も高く、次いで「緊急時など必要な時に泊まれる施設」（33.8%）、「病院などへの移送の介助」（31.4%）となっている。



【03 要介護認定者】 今後も在宅生活を続けるために必要だと思うこと（複数回答）（問34（1））  
自身について

自身については、「健康状態や身体の機能を維持・向上させること」が65.1%と最も高く、次いで「適切な介護サービスを受けられること」（54.3%）、「生活上の心配や不安が少なくなること」（47.1%）となっている。

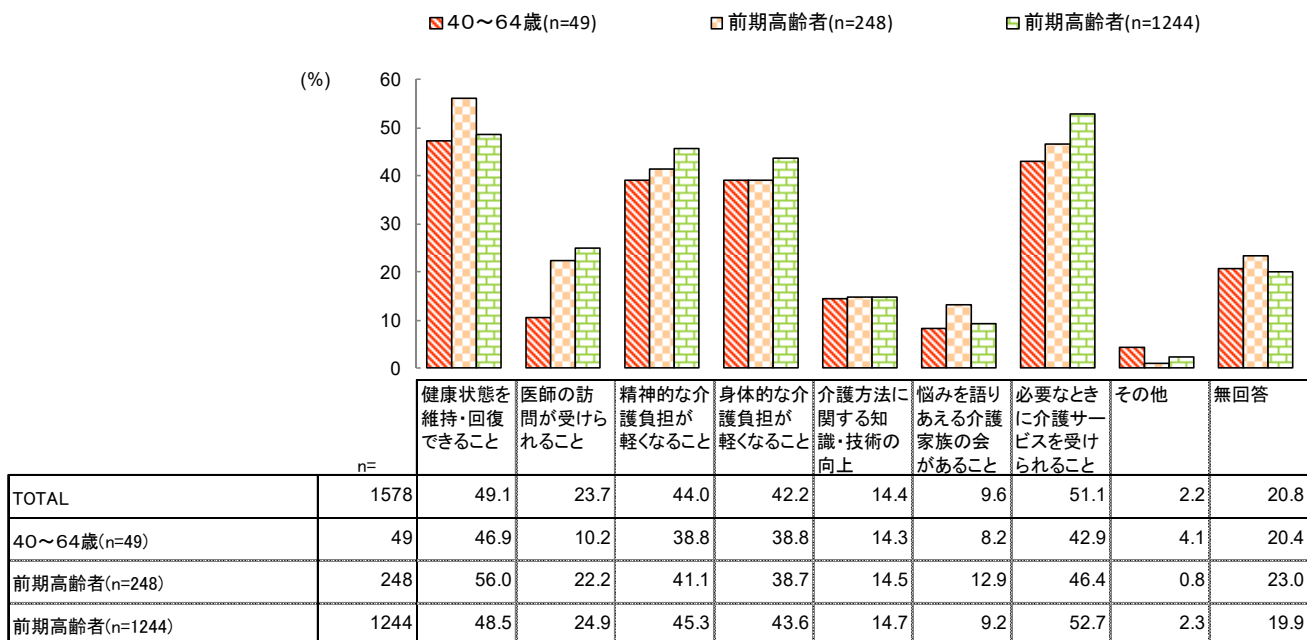
■ 40～64歳(n=49)    □ 前期高齢者(n=248)    ▨ 前期高齢者(n=1244)



	n=	健康状態や身体の機能を維持・向上させること	適切な介護サービスを受けられること	介護事業所と医療機関が連携すること	生活上の心配や不安が少なくなること	その他	無回答
TOTAL	1578	65.1	54.3	34.3	47.1	2.8	10.5
40～64歳(n=49)	49	75.5	55.1	28.6	59.2	0.0	2.0
前期高齢者(n=248)	248	69.4	56.0	35.1	53.2	2.0	7.3
前期高齢者(n=1244)	1244	64.1	54.3	34.7	45.9	3.0	11.3

【03 要介護認定者】 今後も在宅生活を続けるために必要だと思うこと（複数回答）（問34（2））  
介護している家族について

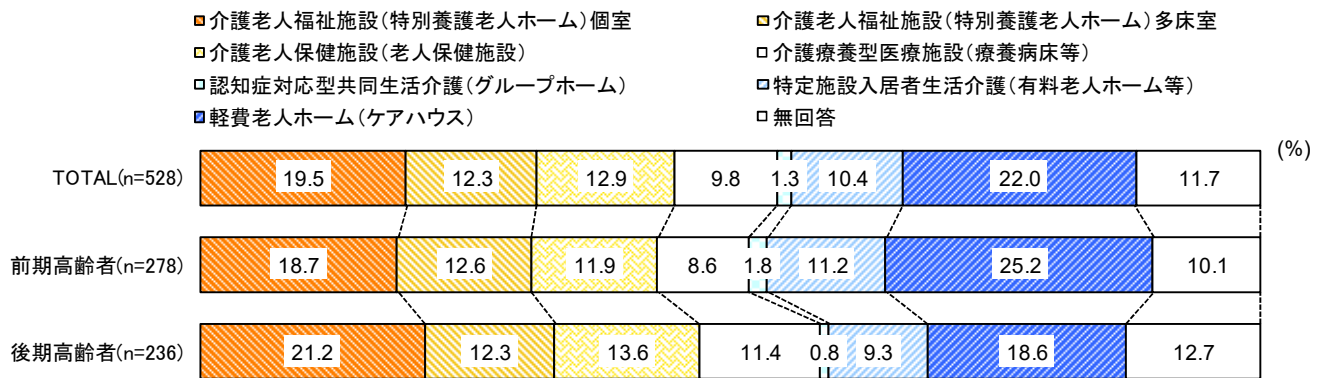
介護している家族については、「必要なときに介護サービスを受けられること」が 51.1%と最も高く、次いで「健康状態を維持・回復できること」（49.1%）、「精神的な介護負担が軽くなること」（44.0%）となっている。



## 14. 希望する介護施設

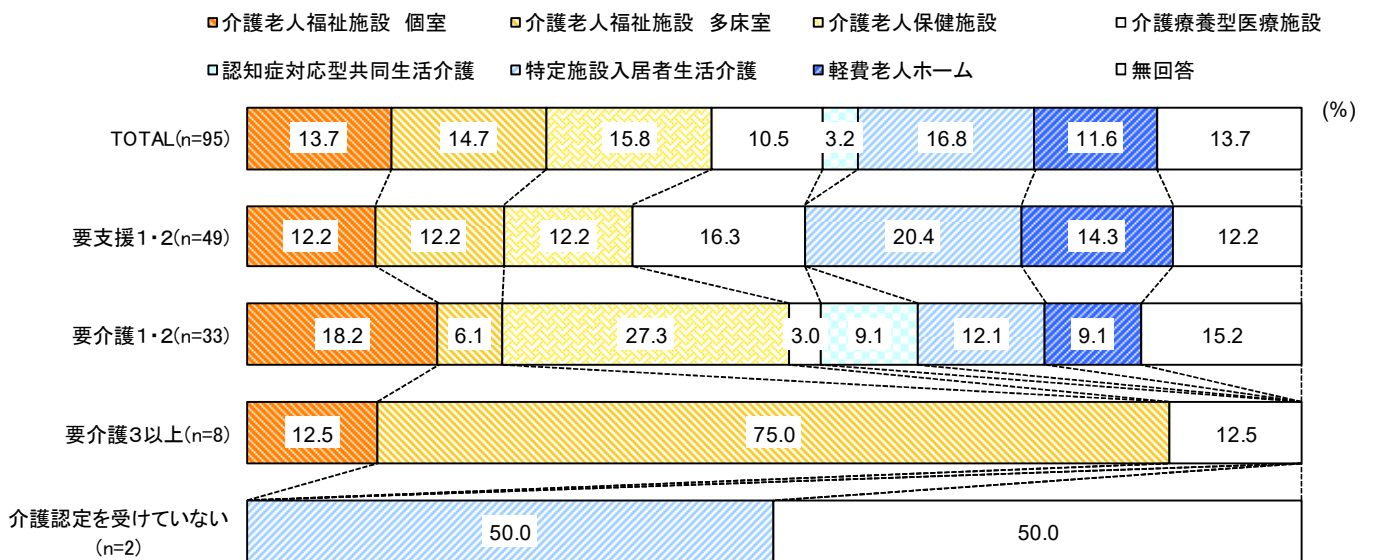
### 【01 一般高齢者】 希望する施設【ベース：施設等入所希望者】（問27-2）

一般高齢者では、「軽費老人ホーム（ケアハウス）」が 22.0%と最も高い。次いで「介護老人福祉施設 個室」（19.5%）、「介護老人保健施設」（12.9%）「介護老人福祉施設 多床室」（12.3%）となっている。前期高齢者では、「軽費老人ホーム（ケアハウス）」が 25.2%と後期高齢者（18.6%）より高い。



### 【02 単身高齢者】 希望する施設【ベース：施設等入所希望者】（問40-2）

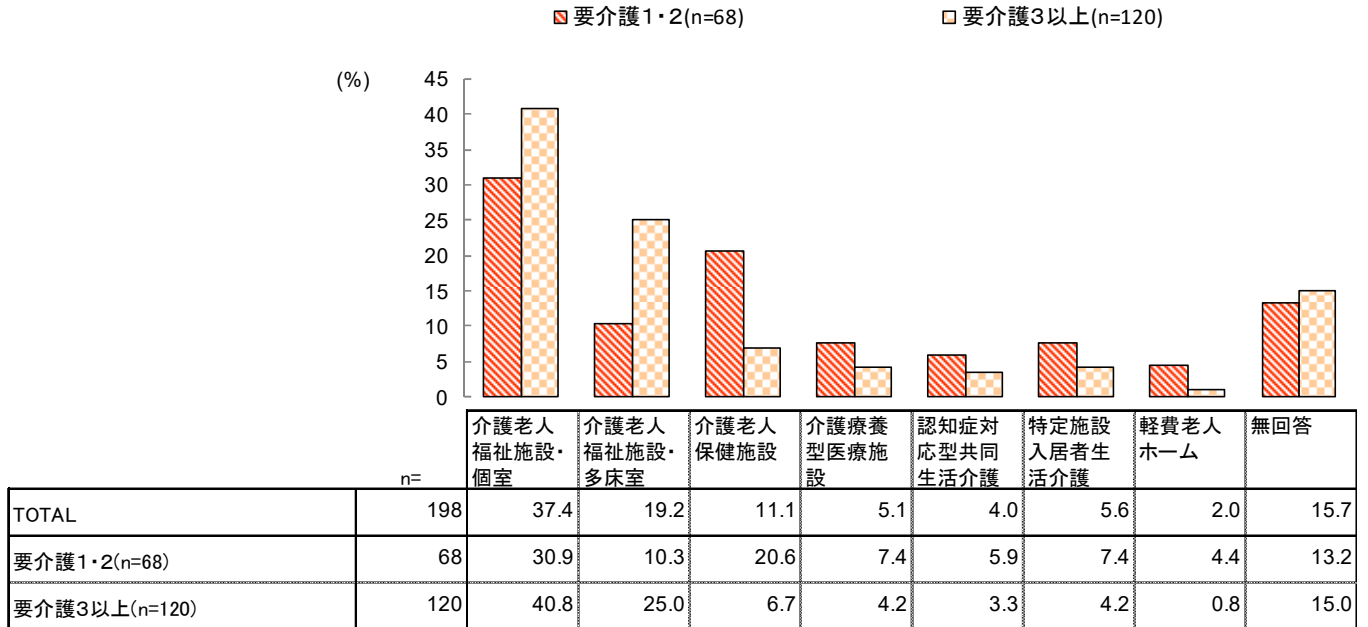
単身高齢者者では、「特定施設入居者生活介護」が 16.8%と最も高い。次いで「介護老人保健施設」（15.8%）、「介護老人福祉施設 多床室」（14.7%）、「介護老人福祉施設 個室」（13.7%）となっている。





【03 要介護認定者】 希望する施設（複数回答）【ベース：施設等入所希望者】（問28）

要介護認定者では、「介護老人福祉施設・個室」が37.4%で最も高く、次いで「介護老人福祉施設・多床室」（19.2%）、「介護老人保健施設」（11.1%）となっている。



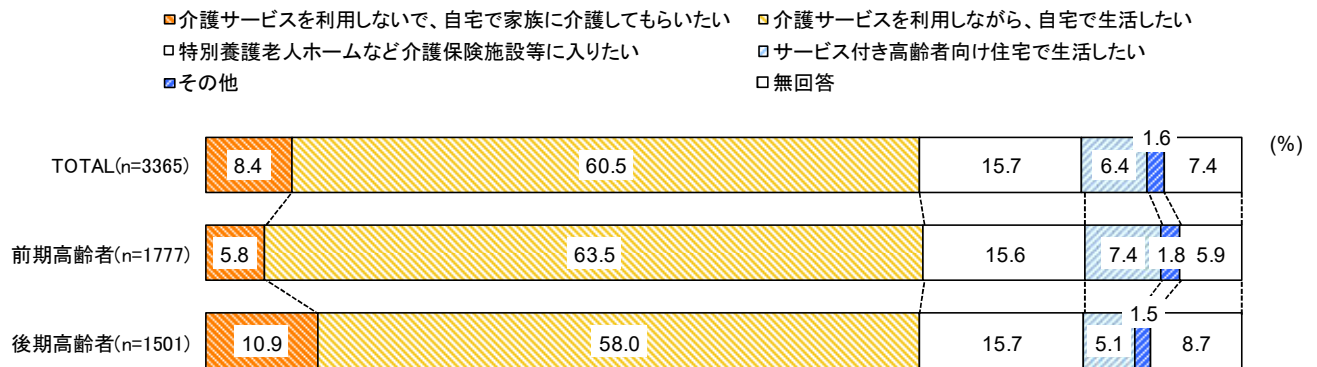


## 15. 希望する介護

### 【01 一般高齢者】 希望する介護（問27）

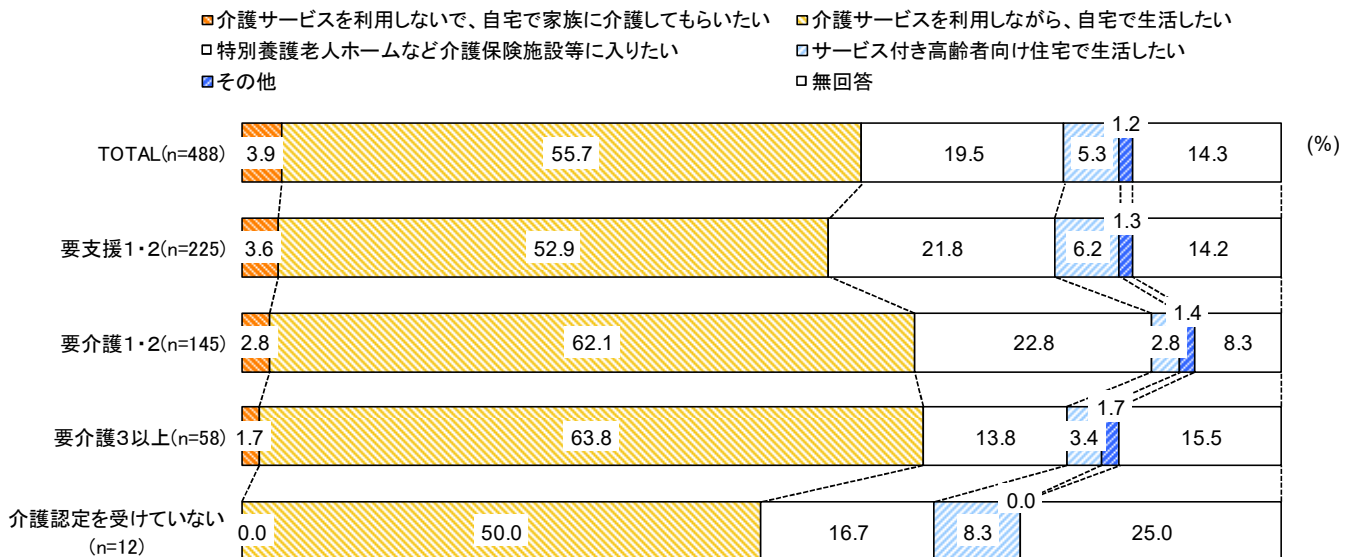
一般高齢者では、「介護サービスを利用しながら、自宅で生活したい」が60.5%と最も高く、「特別養護老人ホームなど介護保険施設等に入りたい」が15.7%となっている。

「介護サービスを利用しないで、自宅で家族に介護してもらいたい」は、後期高齢者では10.9%と前期高齢者より高くなっている。



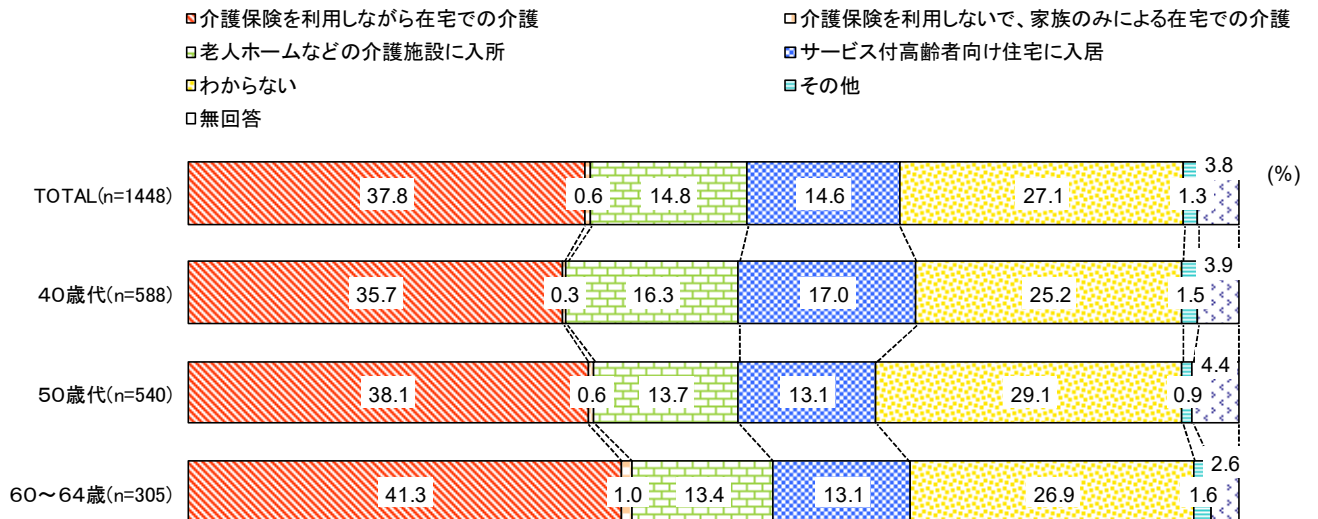
### 【02 単身高齢者】 希望する介護（問40）

単身高齢者者では、「介護サービスを利用しながら、自宅で生活したい」が55.7%と最も高く、次いで「特別養護老人ホームなど介護保険施設等に入りたい」(19.5%)となっている。



【04 一般若年者】 希望する介護（問21）

介護が必要になった時の希望については、「介護保険を利用しながら在宅での介護」が37.8%と最も高いが、「わからない」も27.1%と3割近い。「老人ホームなどの介護施設に入所」（14.8%）、「サービス付高齢者向け住宅に入居」（14.6%）は同程度である。

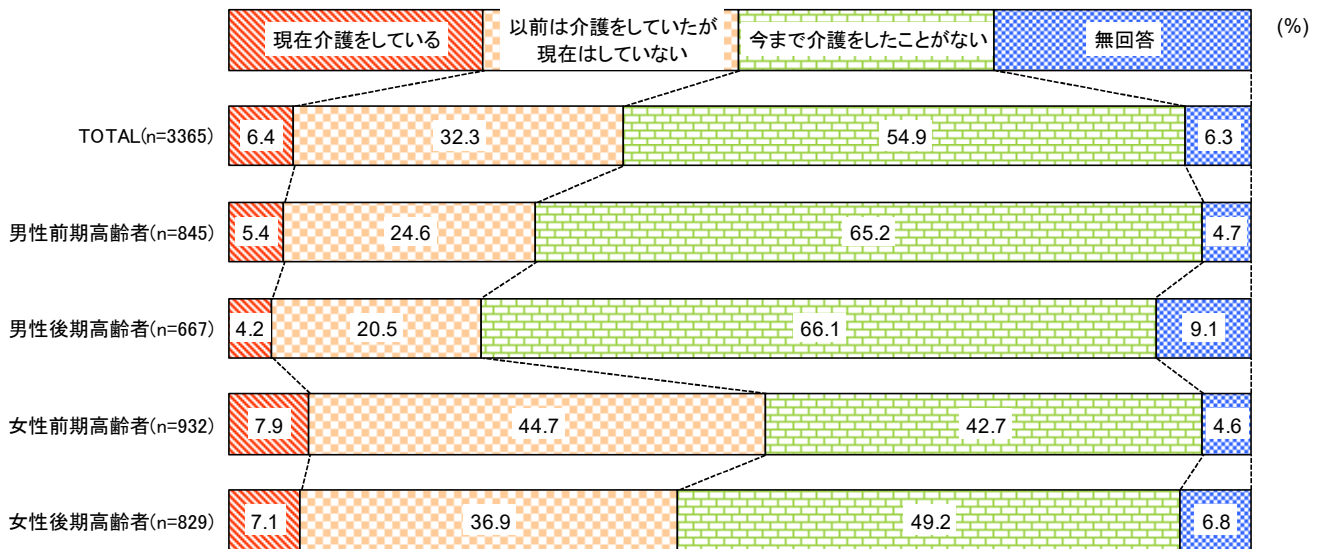


## 16. 家族介護の経験

### 【01 一般高齢者】 家族介護の経験（問30）

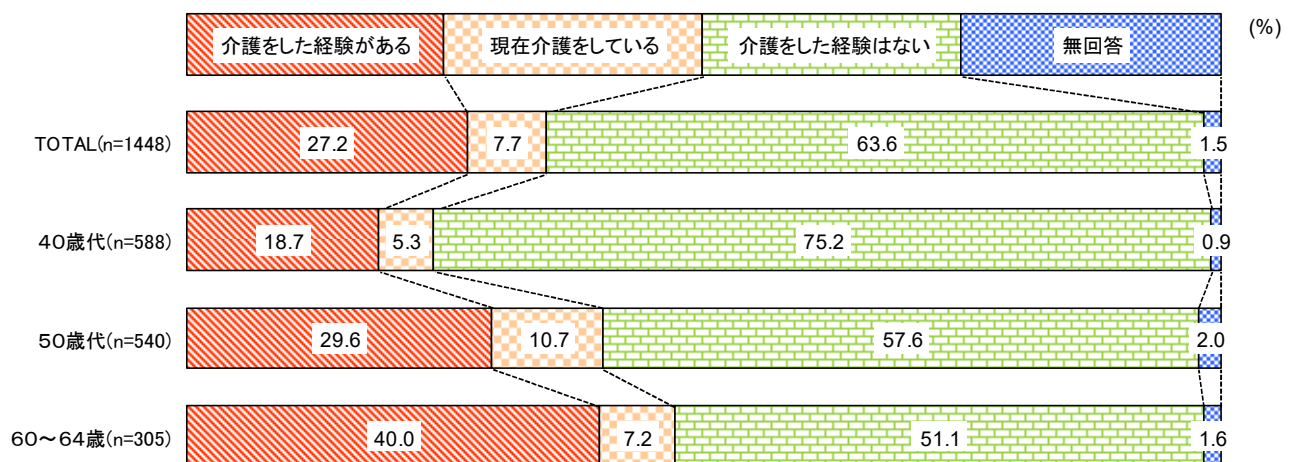
一般高齢者では、「現在介護している」が6.4%、「介護をした経験がある」が32.3%、「介護をした経験はない」が54.9%となっている。

性年代別でみると、男女とも現在、過去含め介護経験者は前期高齢者の方が高く、また、男性より女性の方が介護経験割合は高い。



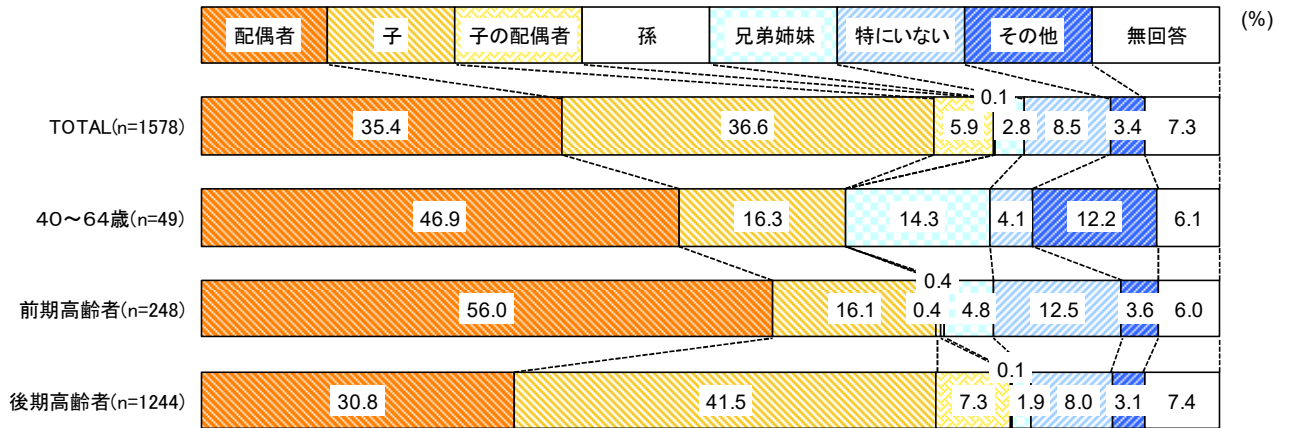
### 【04 一般若年者】 家族等の介護経験（問22）

一般若年者では、「現在介護している」が7.7%、「介護をした経験がある」が27.2%、「介護をした経験はない」が63.6%となっている。年齢が上がるにつれ、「介護をした経験がある」は高くなっているが、「現在介護している」については、50歳代が10.7%と最も高い。



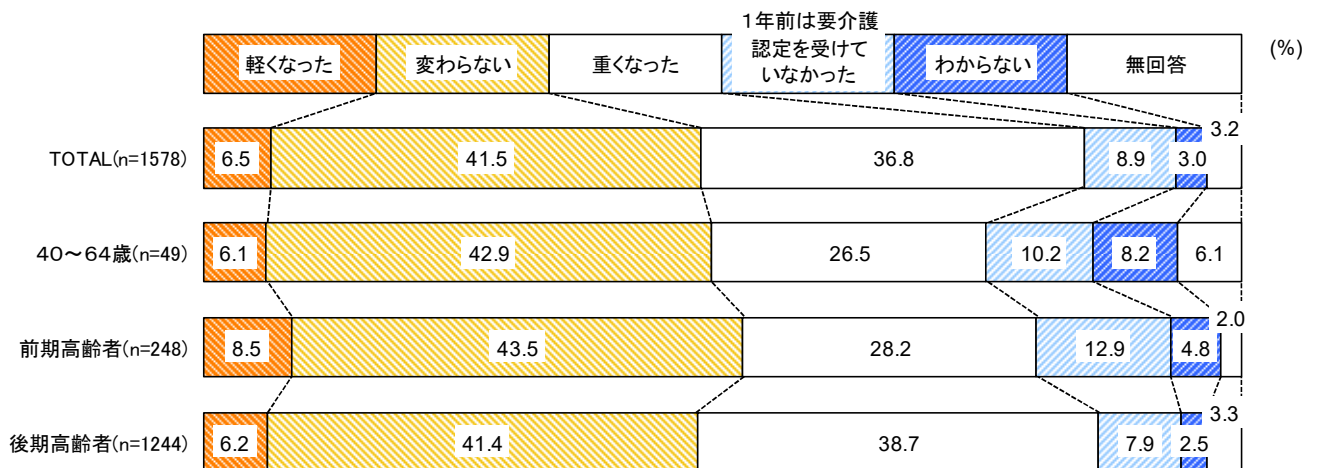
【03 要介護認定者】 \* 主な介護者（問5）

主な介護者については、「子」が 36.6%と最も高く、次いで「配偶者」は 35.4%、「孫」は 5.9%の順となっている。



【03 要介護認定者】 1年前と比べての要介護度の変化（問6）

1年前と比べての要介護度の変化については、「変わらない」が 41.5%と最も高く、次いで「重くなった」(36.8%)、「1年前は要介護認定を受けていなかった」(8.9%)となっている。



【04 一般若年者】 家族の介護が必要になった時の希望（複数回答）（問26）

家族の介護が必要になった時の希望については、「介護保険を利用しながら在宅での介護」を希望する割合が55.8%と半数を超え、次いで「老人ホームなどの介護施設に入所」が35.8%となっている。

	n=	介護保険を利用しながら在宅での介護	老人ホームなどの介護施設に入所	サービス付高齢者向け住宅に入居	わからない	介護の対象となる家族がいない	介護保険を利用しないで、家族のみによる在宅での介護	その他	無回答
TOTAL	1448	55.8	35.8	17.8	17.3	2.9	1.7	1.5	2.0
40歳代	588	56.0	41.3	19.2	17.0	1.0	1.7	1.5	0.9
50歳代	540	55.9	35.2	18.5	17.6	2.4	1.9	1.3	2.6
60～64歳	305	55.1	26.2	14.1	17.0	7.5	1.3	2.0	3.3

【04 一般若年者】 勤務先で介護について相談する時の相手（複数回答）（問29）

【ベース：就業者（家事専業・無職以外）】

一般若年者の就業者で、勤務先で介護について相談する時の相手は、「同じ職場の上司」が41.5%と最も高く、次いで「同じ職場の同僚」（31.7%）、「勤務先の人事担当者」（15.0%）となっている。一方、「勤務先で相談する人はいない」も22.5%となっている。

「同じ職場の上司」は年齢が上がるにつれ低くなっている。

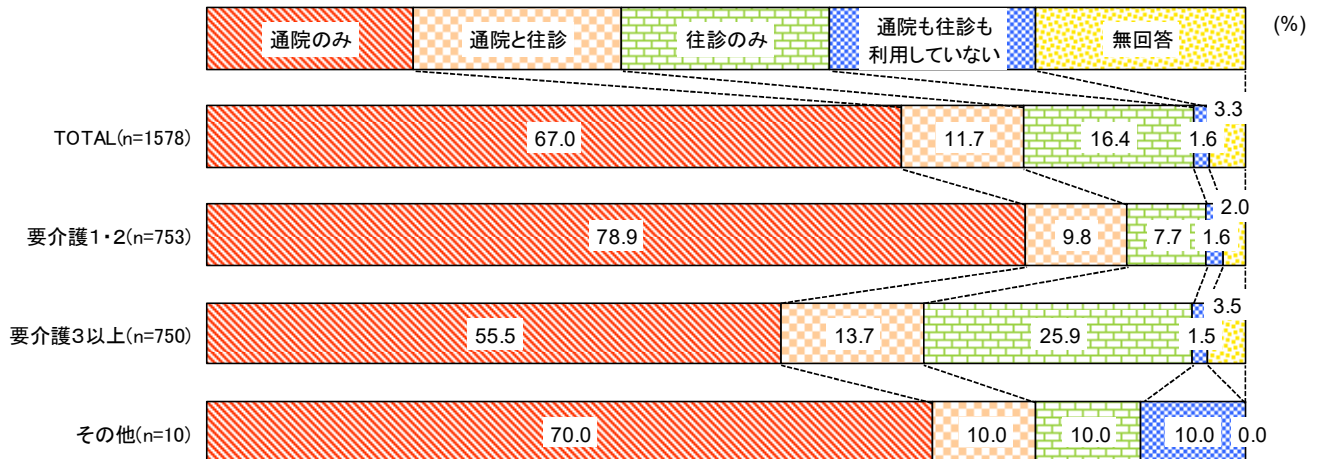
	n=	同じ職場の上司	同じ職場の同僚	勤務先の人事担当者	勤務先が提供する外部の相談窓口	勤務先の労働組合	同じ勤務先だが別の職場の友人	同じ職場の部下	その他	勤務先で相談する人はいない	無回答
TOTAL	1168	41.5	31.7	15.0	6.6	4.5	4.4	2.2	1.0	22.5	9.2
40歳代	509	51.1	31.2	15.7	5.7	5.7	3.9	3.3	0.4	20.8	6.7
50歳代	443	39.7	33.6	16.5	7.4	3.8	5.9	1.6	1.1	20.5	8.8
60～64歳	210	22.4	29.0	10.5	7.1	2.9	2.4	1.0	2.4	30.0	16.2



## 17. 在宅医療

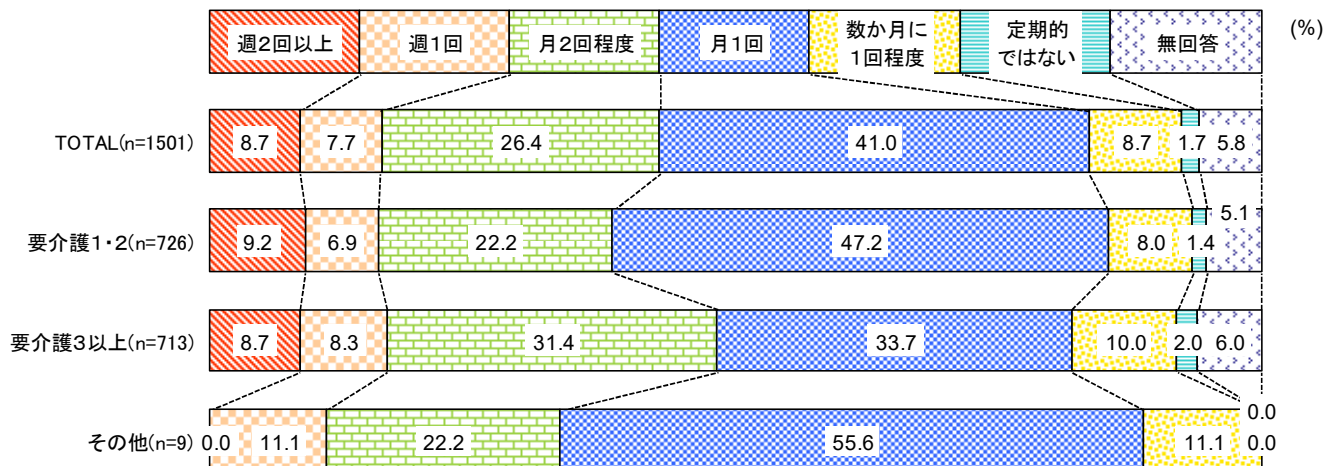
### 【03 要介護認定者】 通院や往診などの診療状況（問9）

通院や往診などの診療状況については、「通院のみ」が67.0%と最も高く、次いで「往診のみ」(16.4%)、「通院と往診」(11.7%)となっている。



### 【03 要介護認定者】 通院や往診の頻度【ベース：通院・往診あり】（問9-1）

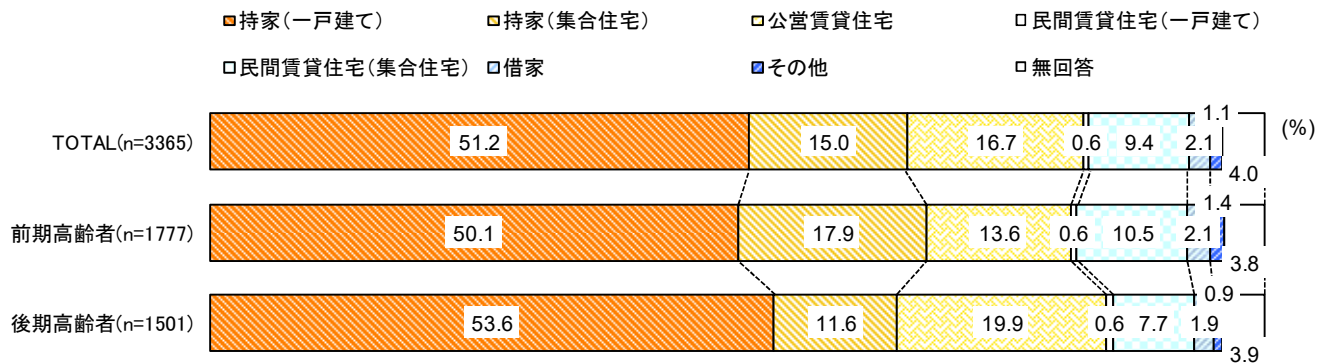
通院や往診の頻度については、「月1回」が41.0%と最も高く、次いで「月2回程度」(26.4%)、「週2回以上」と「数か月に1回程度」が8.7%と同率になっている。



## 18. 住まい

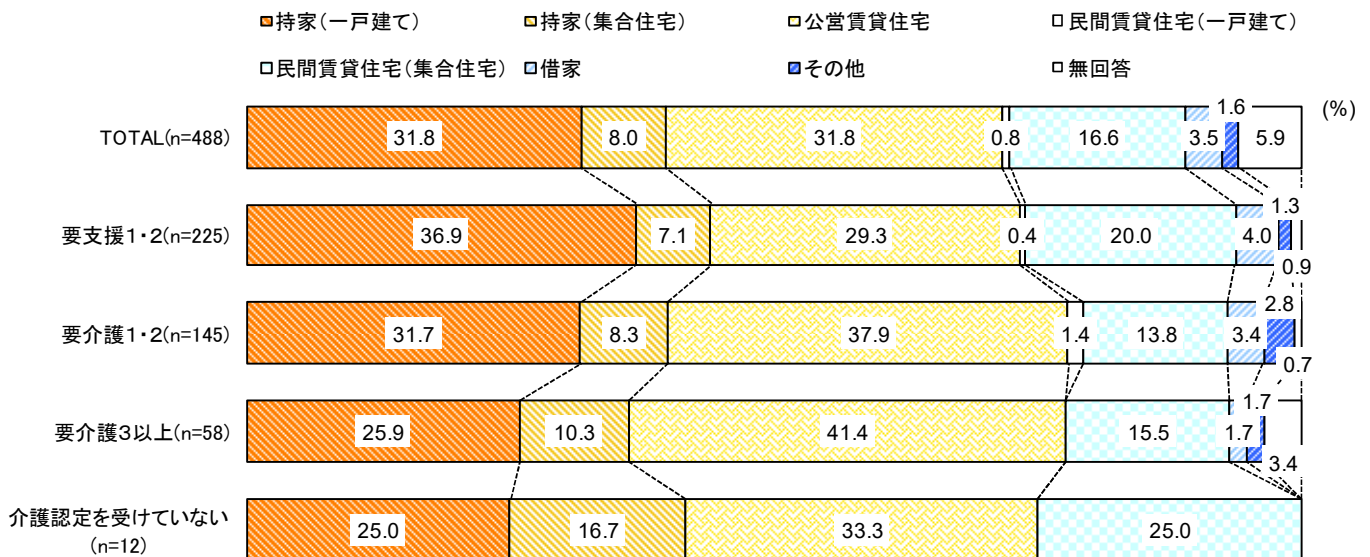
### 【01 一般高齢者】 住居形態（問4（4））

住居形態については、「持家（一戸建て）」が 51.2%と最も高く、次いで「民間賃貸住宅（集合住宅）」（16.7%）、「持家（集合住宅）」（15.0%）となっている。



### 【02 単身高齢者】 住居形態（問6）

住居形態については、「持家（一戸建て）」と「公営賃貸住宅」が 31.8%と同率で高く、次いで「民間賃貸住宅（集合住宅）」（16.6%）となっている。



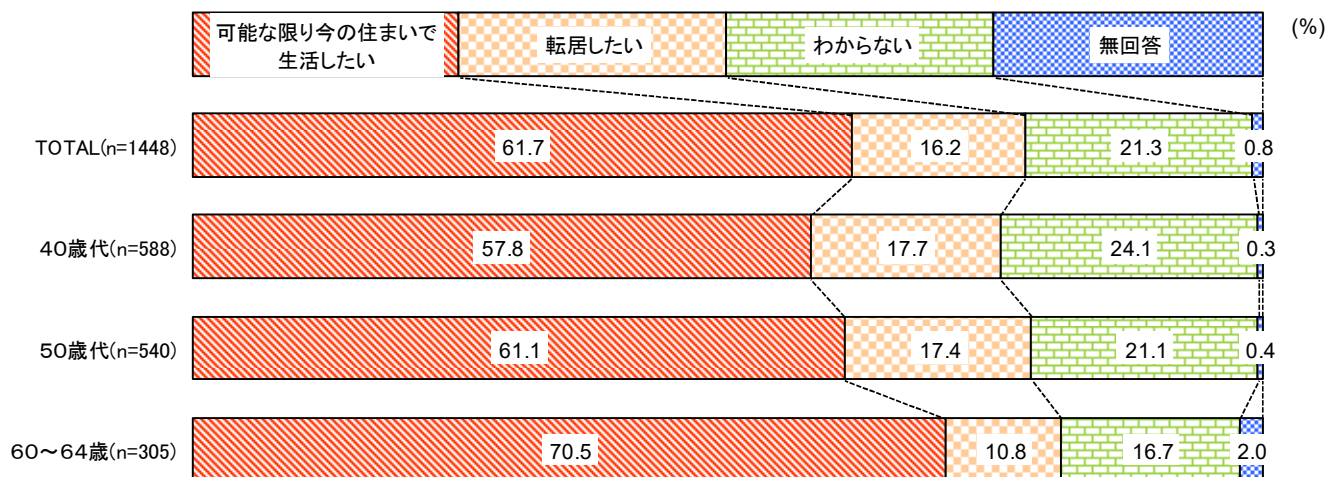
【04 一般若年者】 住居形態（問4）

住居形態については、「持家（一戸建て）」が44.5%と最も高く、次いで「持家（集合住宅）」（27.7%）、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が（16.0%）となっている。

1段目 度数 2段目 横%	0 TOTAL	1	2	3	4	5	6	7	8
		持家(一戸建て)	持家(集合住宅)	公営賃貸住宅	民間賃貸住宅(一戸建て)	民間賃貸住宅(集合住宅)	借家	その他	無回答
0 TOTAL	1448 100.0	645 44.5	401 27.7	92 6.4	12 0.8	232 16.0	24 1.7	18 1.2	24 1.7
1 40歳代	588 100.0	260 44.2	164 27.9	31 5.3	6 1.0	106 18.0	11 1.9	6 1.0	4 0.7
2 50歳代	540 100.0	235 43.5	146 27.0	38 7.0	5 0.9	89 16.5	10 1.9	8 1.5	9 1.7
3 60～64歳	305 100.0	147 48.2	90 29.5	22 7.2	1 0.3	36 11.8	3 1.0	3 1.0	3 1.0

【04 一般若年者】 現在の住まいでの継続居住意向（問11）

現在の住まいでの継続居住意向については、「可能な限り今の住まいで生活したい」が61.7%と最も高く、次いで「わからない」(21.3%)となっている。

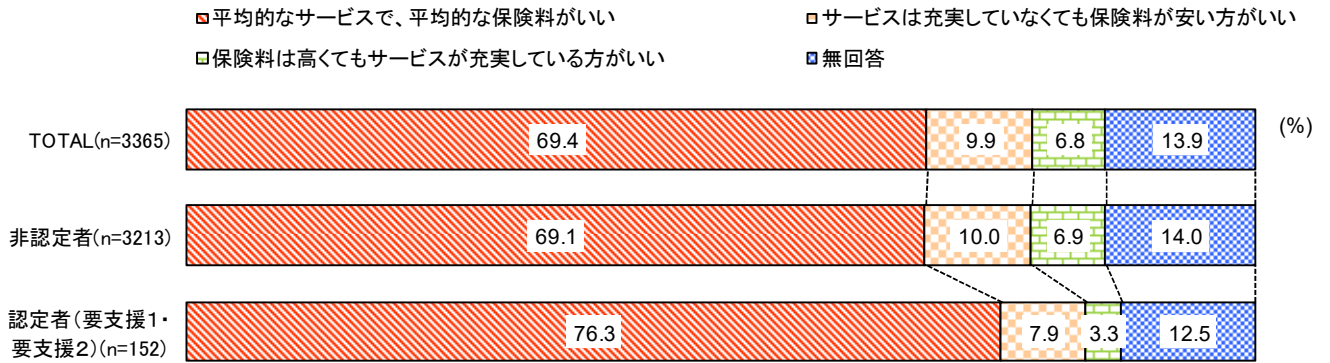




## 19.介護保険制度について

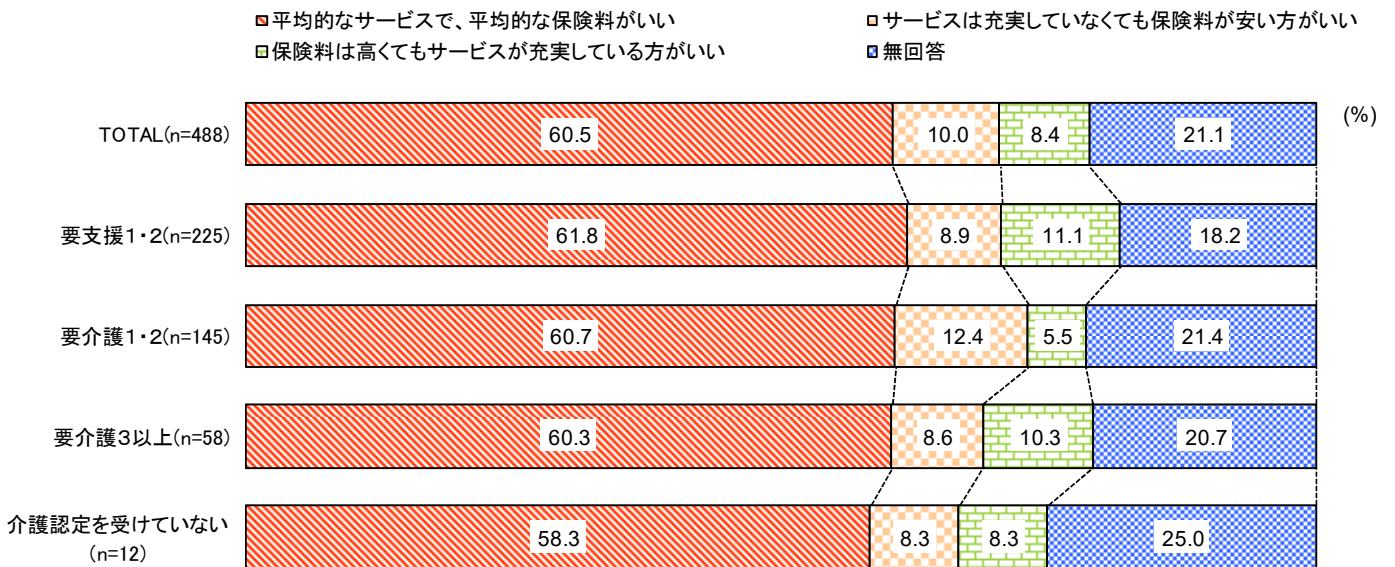
### 【01 一般高齢者】 介護保険のサービス水準と保険料についての考え（問3 1）

「平均的なサービスで、平均的な保険料がいい」は69.4%である。  
この割合は、要支援認定者（76.3%）のほうが、要支援認定者を除いた非認定者（69.1%）より高い。



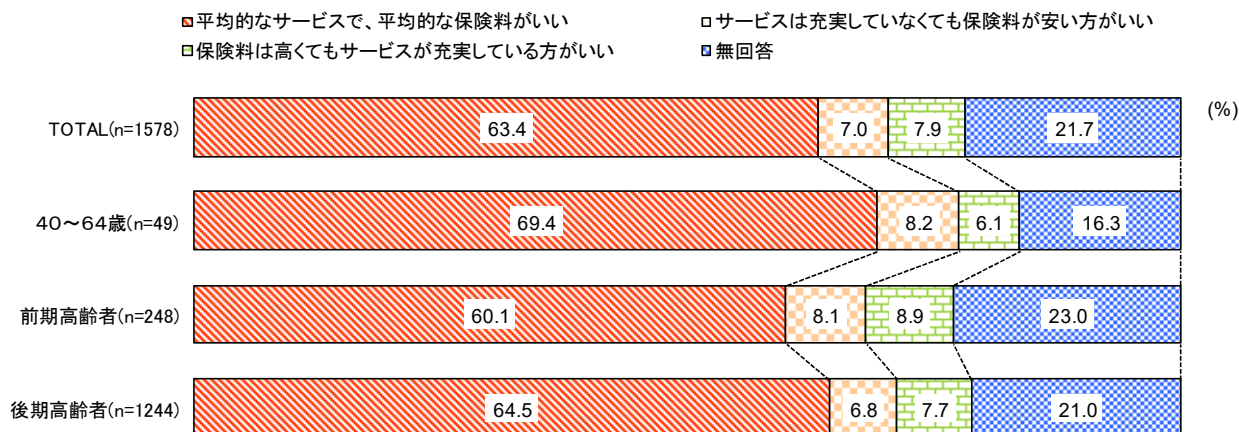
### 【02 単身高齢者】 介護保険のサービス水準と保険料についての考え（問4 1）

「平均的なサービスで、平均的な保険料がいい」は60.5%である。  
この割合は、要介護度が高くなるほど低くなっている。また、要支援1・2と要介護3以上では「サービスは充実してなくても保険料が安い方がいい」に比べて「保険料は高くてもサービスが充実している方がいい」が高くなっている。



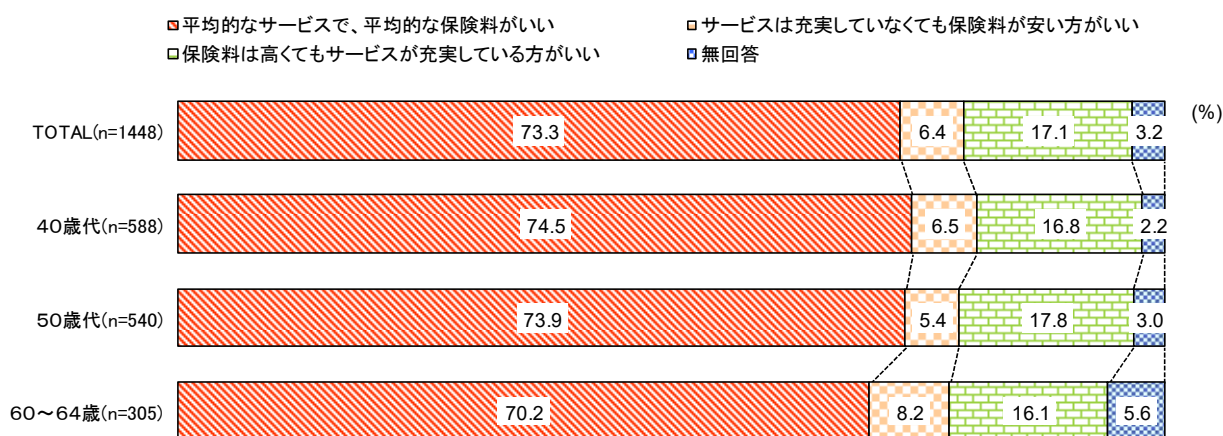
【03 要介護認定者】 介護保険のサービス水準と保険料についての考え（問29）

介護保険のサービス水準と保険料についての考えについては、要介護者では「平均的なサービスで、平均的な保険料がいい」が63.4%と最も高く、「保険料は高くてもサービスが充実している方がいい」は7.0%、「サービスは充実していても保険料が安い方がいい」は7.9%となっている。

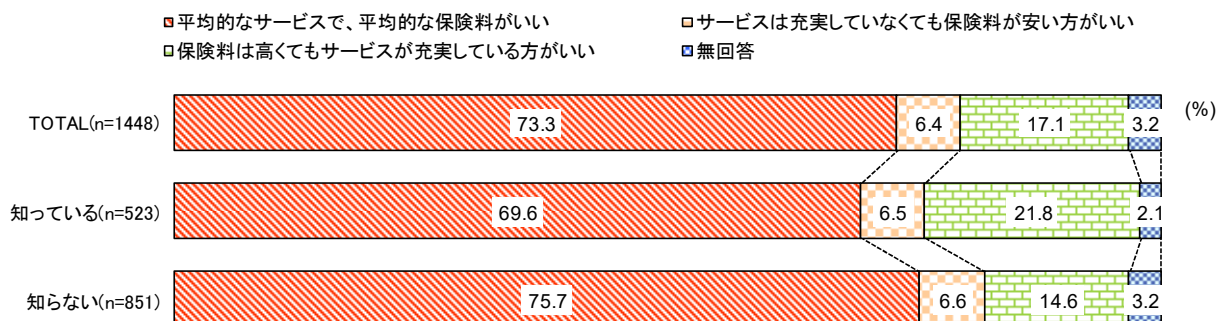


【04 一般若年者】 介護保険のサービス水準と保険料についての考え（問34）

介護保険のサービス水準と保険料についての考えについては、「平均的なサービスで、平均的な保険料がいい」が73.3%となっている。「平均的なサービスで、平均的な保険料がいい」は年齢が上がるにつれ、低くなっている。



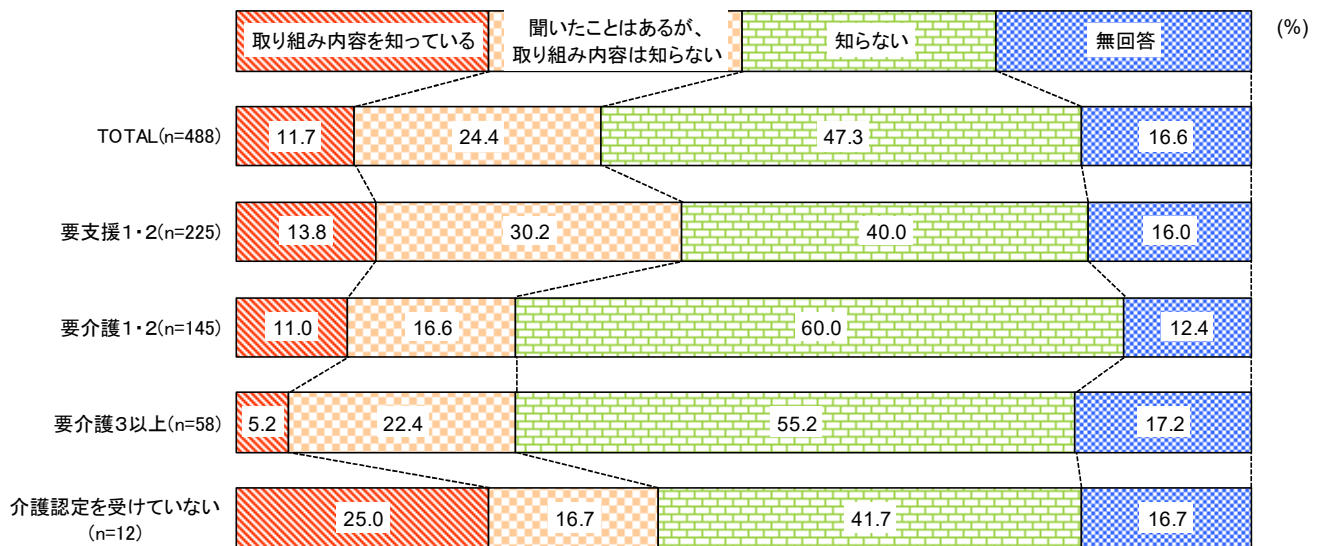
自身が納めている介護保険料の金額を知っている人と知らない人別にみると、「平均的なサービスで、平均的な保険料がいい」は知らない人の方が高く、「保険料は高くてもサービスが充実している方がいい」は知っている人の方が知らない人より高い。



## 20. 区の施策の認知

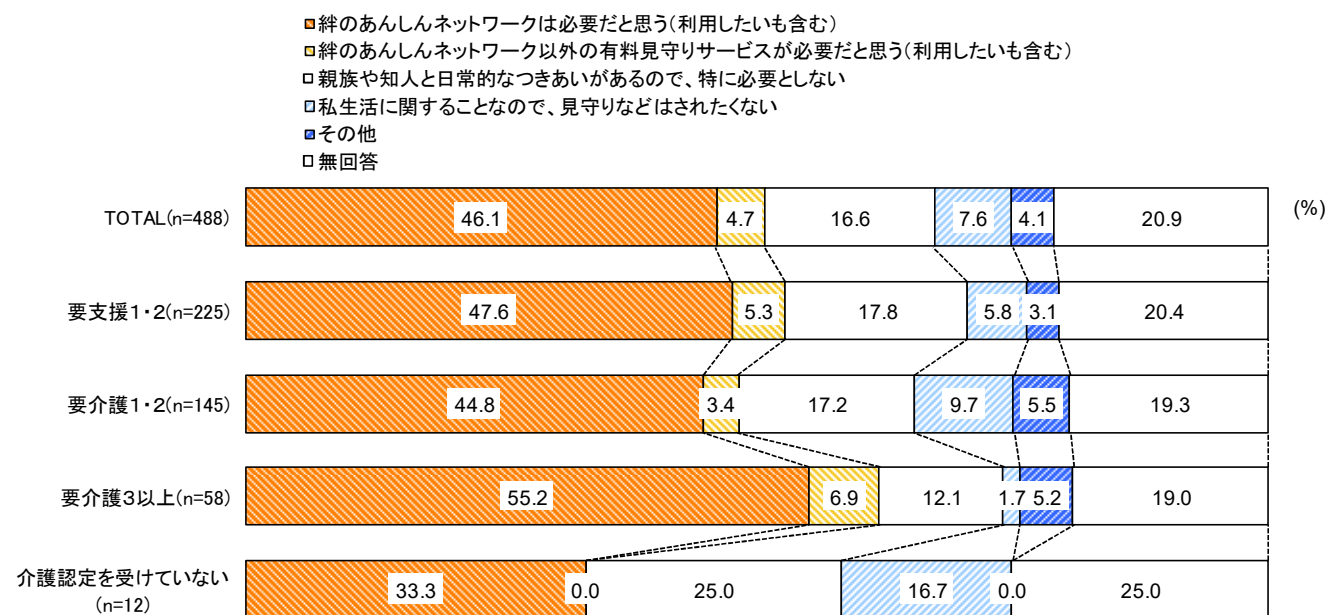
### 【02 単身高齢者】 「孤立ゼロプロジェクト」認知状況（問42）

孤立ゼロプロジェクトの認知状況については、「取り組み内容を知っている」(11.7%)、「聞いたことはあるが、取り組み内容は知らない」(24.4%)を合わせると、プロジェクトの名称を知っている割合は36.1%である。一方、「知らない」は47.3%と約半数である。



### 【02 単身高齢者】 「孤立ゼロプロジェクト」による見守りや声掛けの必要性（問43）

「絆のあんしんネットワークは必要だと思う（利用したいも含む）」が46.1%と最も高く、「絆のあんしんネットワーク以外の有料見守りサービスが必要だと思う（利用したいも含む）」(4.7%)を合わせると、何らかの見守りの仕組みを必要と考える割合は50.8%と半数みられる。



## 21. 区への要望

### 【01 一般高齢者】足立区に望む高齢者施策（複数回答）（問39）

「ひとり暮らし高齢者に対する援助」が38.9%と最も高く、次いで「在宅生活を続けるための支援」（36.6%）、「家族等の介護者に対する援助」（33.6%）となっている。

「ひとり暮らし高齢者に対する援助」は、北東地区（42.8%）で高く、南西地区（34.0%）で他の地区より低い。

	TOTAL	北西地区	北東地区	南西地区	南東地区	千住地区
n=	3365	687	619	608	680	677
ひとり暮らし高齢者に対する援助	38.9	39.4	42.8	34.0	39.4	39.9
在宅生活を続けるための支援	36.6	35.1	37.2	37.7	36.6	38.8
家族等の介護者に対する援助	33.6	34.6	33.6	36.0	34.7	31.0
介護保険サービスの充実	29.0	27.9	30.7	27.1	30.4	30.0
高齢者向け住宅の整備	24.8	24.7	28.1	22.4	27.6	22.6
健康づくり施策の充実	24.5	25.3	24.2	25.5	25.4	22.5
高齢者が気軽に集まることのできる場の提供	24.1	26.3	25.4	22.5	25.0	21.7
認知症予防施策の充実	19.9	19.5	21.8	18.4	21.2	19.2
福祉や生活にかかわる相談体制の整備	19.8	20.8	20.0	18.6	19.3	19.9
生涯学習・スポーツなどの生きがい施策の充実	19.2	19.5	18.3	19.4	18.4	20.5
介護保険施設等の新設	18.1	19.8	17.4	16.4	19.4	17.7
介護予防施策の充実	17.9	18.2	18.9	18.3	18.2	17.3
仕事の紹介等の施策の充実	14.7	15.0	13.6	15.3	14.7	14.3
介護保険外サービスの充実	12.3	13.4	10.7	10.7	13.1	14.3
ボランティア・地域活動等の社会活動の支援	10.7	11.2	9.9	10.5	11.2	10.3
高齢者虐待防止対策の充実	7.5	7.6	8.4	7.9	6.0	7.8
その他	2.3	2.8	1.3	1.6	2.6	2.2
無回答	19.4	20.5	15.8	19.7	18.2	21.3



【04 一般若年者】足立区が優先すべき施策（複数回答）（問36）

「介護する家族に対する支援」が 46.1%と最も高く、次いで「常時介護が必要な方のための施設の整備」（38.4%）、「自宅での介護を支援するサービスの充実」（36.9%）の順となっている。

「介護予防や認知症などの介護を予防するための事業」については、千住地区で 29.0%と他地区よりも高く、南東地区では 17.9%と他地区に比べて低い。

	TOTAL	北西地区	北東地区	南西地区	南東地区	千住地区
n=	1448	301	264	267	302	297
介護する家族に対する支援	46.1	48.8	46.6	47.6	43.0	46.1
常時介護が必要な方のための施設の設備	38.4	35.9	39.4	39.7	39.4	37.7
自宅での介護を支援するサービスの充実	36.9	37.2	37.5	36.0	37.1	36.0
高齢者のための住宅整備、住宅改造の資金援助等、住宅に関する事業	23.6	22.3	26.9	22.5	25.5	20.5
介護予防や認知症予防などの介護を予防するための事業	23.5	24.3	22.3	24.3	17.9	29.0
高齢者の就労や社会活動参加の支援	20.0	17.9	22.0	19.5	21.5	19.9
健康診査などの保健医療サービスの充実	19.3	19.6	18.2	21.7	21.2	16.2
介護に関する相談等、相談体制の充実	17.5	15.0	20.1	16.9	18.9	17.2
病院から家庭へ復帰するためのリハビリを行う施設の整備	14.0	15.0	14.4	13.9	13.9	12.5
元気な方のための健康増進や教養の向上のための事業	12.3	13.3	12.1	9.4	12.3	14.1
段差解消や歩道整備など安全なまちづくり	10.1	7.0	9.5	9.0	11.6	12.8
その他	2.8	3.0	3.0	2.2	2.3	3.4
無回答	2.5	5.0	1.1	1.9	2.0	2.0

## 22. 事業所調査の基本属性

### 【06 居宅介護支援事業所】経営主体（問1（3））

居宅介護支援事業所については、165の事業所より回答を得た。

0	1	2	3	4	5	6	7	8
TOTAL	営利法人	医療法人	社会福祉法人	NPO法人	その他法人	個人	その他	無回答
165 100.0	107 64.8	23 13.9	21 12.7	8 4.8	4 2.4	1 0.6	0 0.0	1 0.6

### 【07 在宅サービス事業所】事業種別（問1（2））・経営主体

介護保険在宅サービス事業所(居宅介護支援事業所を除く)については、465の事業所より回答を得た。

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
TOTAL	居宅介護支援	介護予防支援	訪問介護	介護予防訪問介護	訪問入浴介護	介護予防訪問入浴介護	訪問看護	介護予防訪問看護	訪問リハビリテーション	介護予防訪問リハビリテーション	通所介護	介護予防通所介護	通所リハビリテーション	介護予防通所リハビリテーション	短期入所生活介護
465 100.0	2 0.4	0 0.0	114 24.5	1 0.2	9 1.9	0 0.0	41 8.8	0 0.0	4 0.9	1 0.2	115 24.7	2 0.4	15 3.2	0 0.0	22 4.7
0	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
TOTAL	介護予防短期入所生活介護	短期入所療養介護	介護予防短期入所療養介護	福祉用具貸与	介護予防福祉用具貸与	特定福祉用具販売	特定介護予防福祉用具販売	住宅改修	特定施設入居者生活介護	介護予防特定施設入居者生活介護	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	夜間対応型訪問介護	認知症対応型通所介護	介護予防認知症対応型通所介護	小規模多機能型居宅介護
465 100.0	0 0.0	9 1.9	0 0.0	22 4.7	2 0.4	18 3.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.2	4 0.9	2 0.4	21 4.5	0 0.0	4 0.9
0	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	
TOTAL	介護予防小規模多機能型居宅介護	認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	介護予防認知症対応型共同生活介護(グループ)	看護小規模多機能型居宅介護	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護療養型医療施設	居宅療養管理指導	介護予防居宅療養管理指導	病院・診療所	地域包括支援センター	その他	なし	無回答	
465 100.0	1 0.2	23 4.9	3 0.6	1 0.2	2 0.4	1 0.2	1 0.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 1.1	0 0.0	19 4.1	

0	1	2	3	4	5	6	7	8
TOTAL	営利法人	医療法人	社会福祉法人	NPO法人	その他法人	個人	その他	無回答
465 100.0	290 62.4	68 14.6	77 16.6	19 4.1	4 0.9	1 0.2	1 0.2	5 1.1

【08 施設】事業種別（問1（2））・経営主体

介護保険施設については、30の施設より回答を得た。

0	1	2	3
TOTAL	特別養護老人ホーム	老人保健施設	介護療養型医療施設
30 100.0	21 70.0	7 23.3	2 6.7

0	1	2	3
TOTAL	医療法人	社会福祉法人	その他
30 100.0	9 30.0	21 70.0	0 0.0

【09 有料老人ホーム】事業種別（問1（3））・経営主体

有料老人ホームについては、23の施設より回答を得た。

0	1	2	3	4
TOTAL	介護付き(介護専門型)	介護付き(混合型)	住宅型	無回答
23 100.0	3 13.0	10 43.5	9 39.1	1 4.3

0	1	2	3	4	5	6
TOTAL	営利法人	医療法人	社会福祉法人	NPO法人	その他法人	その他
23 100.0	19 82.6	1 4.3	1 4.3	1 4.3	1 4.3	0 0.0

【10 サービス付高齢者住宅】経営主体（問1（3））

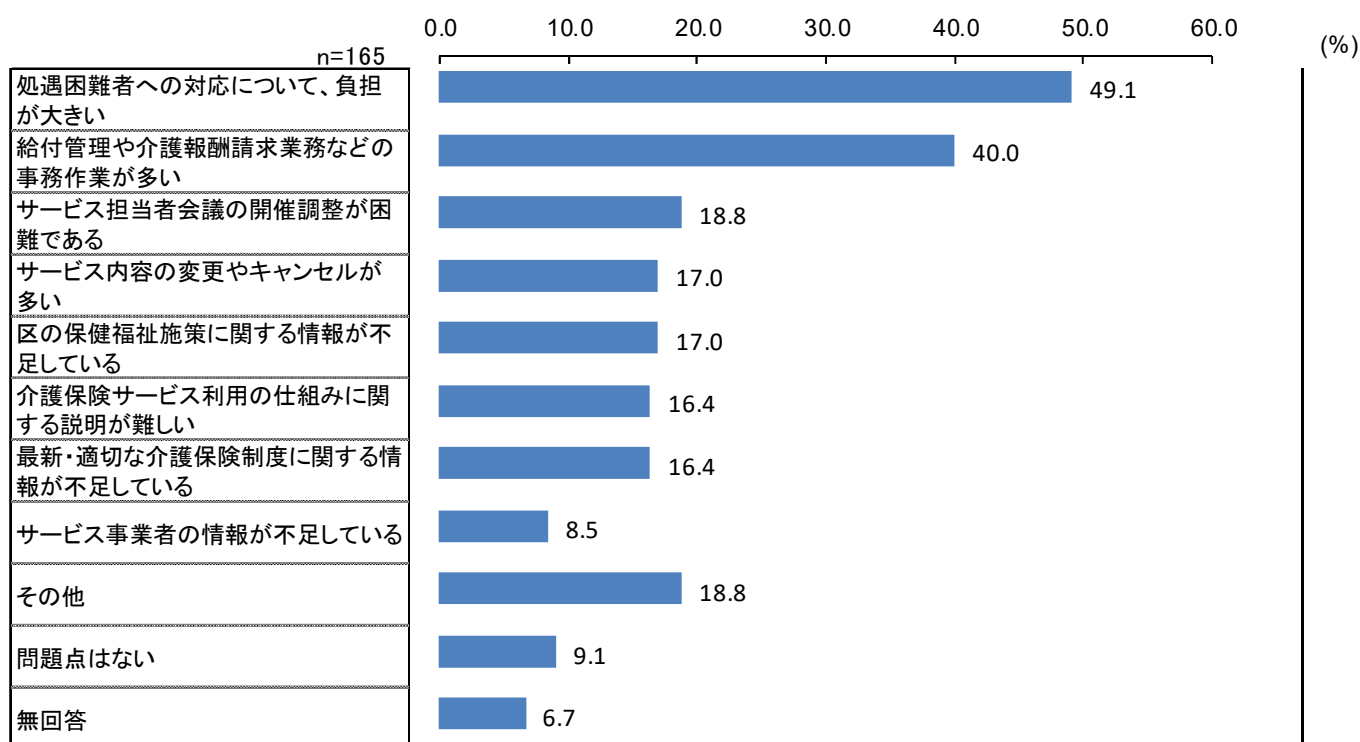
サービス付き高齢者向け住宅については、24の施設より回答を得た。

0	1	2	3	4	5	6
TOTAL	営利法人	医療法人	社会福祉法人	NPO法人	その他法人	その他
24 100.0	20 83.3	2 8.3	2 8.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0

## 23. 事業経営上の課題

### 【06 居宅介護支援事業所】 足立区で居宅介護支援事業を行ううえでの問題点（複数回答）（問24）

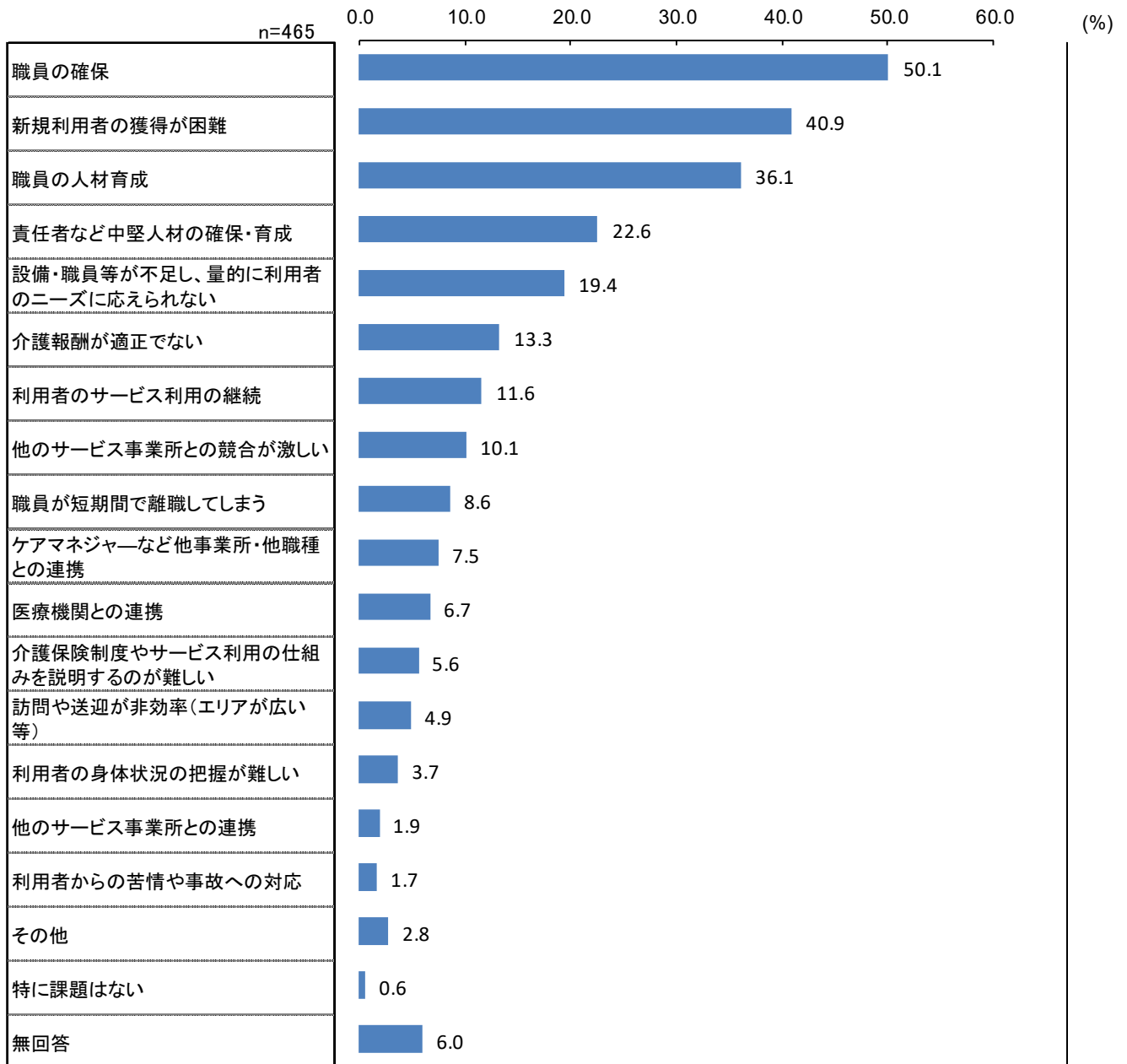
居宅介護支援事業所の問題点は、「処遇困難者への対応について、負担が大きい」が49.1%と最も高く、次いで「給付管理や介護報酬請求業務などの事務作業が多い」（40.0%）、「サービス担当者会議の開催調整が困難である」（18.8%）となっている。





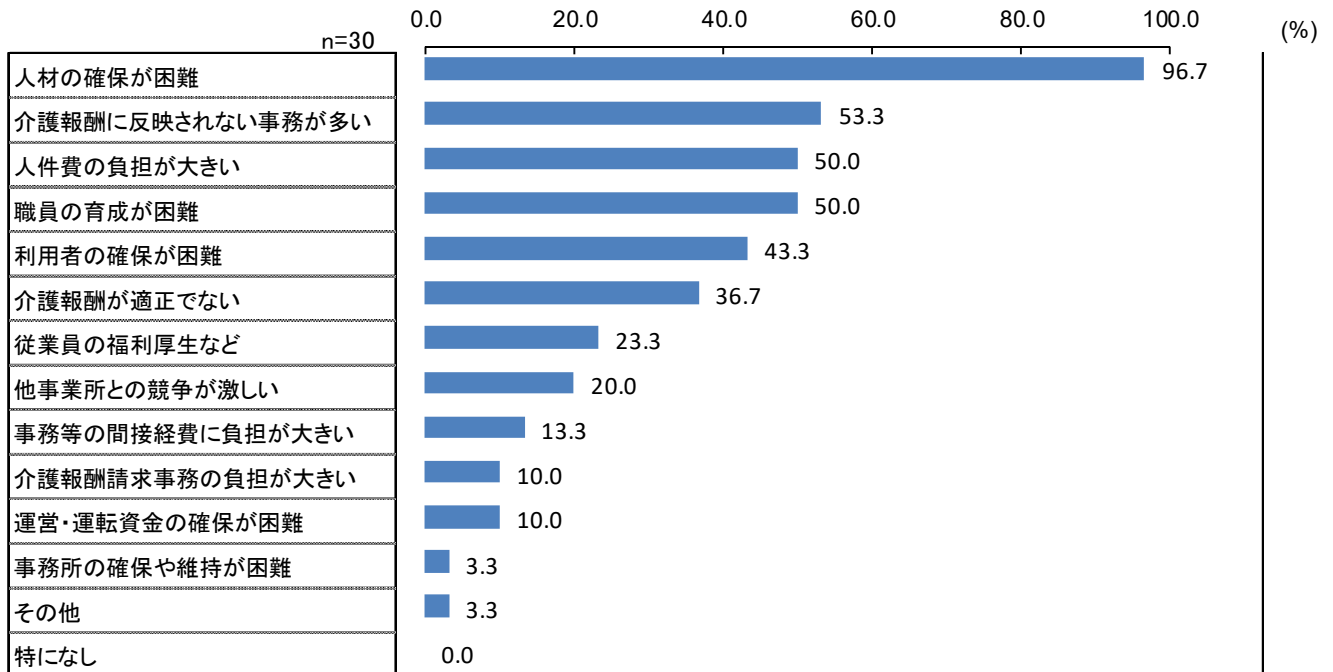
【07 在宅サービス事業所】 居宅介護支援以外の居宅サービスの事業を運営する上での課題（複数回答）  
（問18）

在宅サービス事業所で事業を運営する上での課題は、「職員の確保」が50.1%と最も高く、次いで「新規利用者の獲得が困難」（40.9%）、「職員の人材育成」（36.1%）となっている。



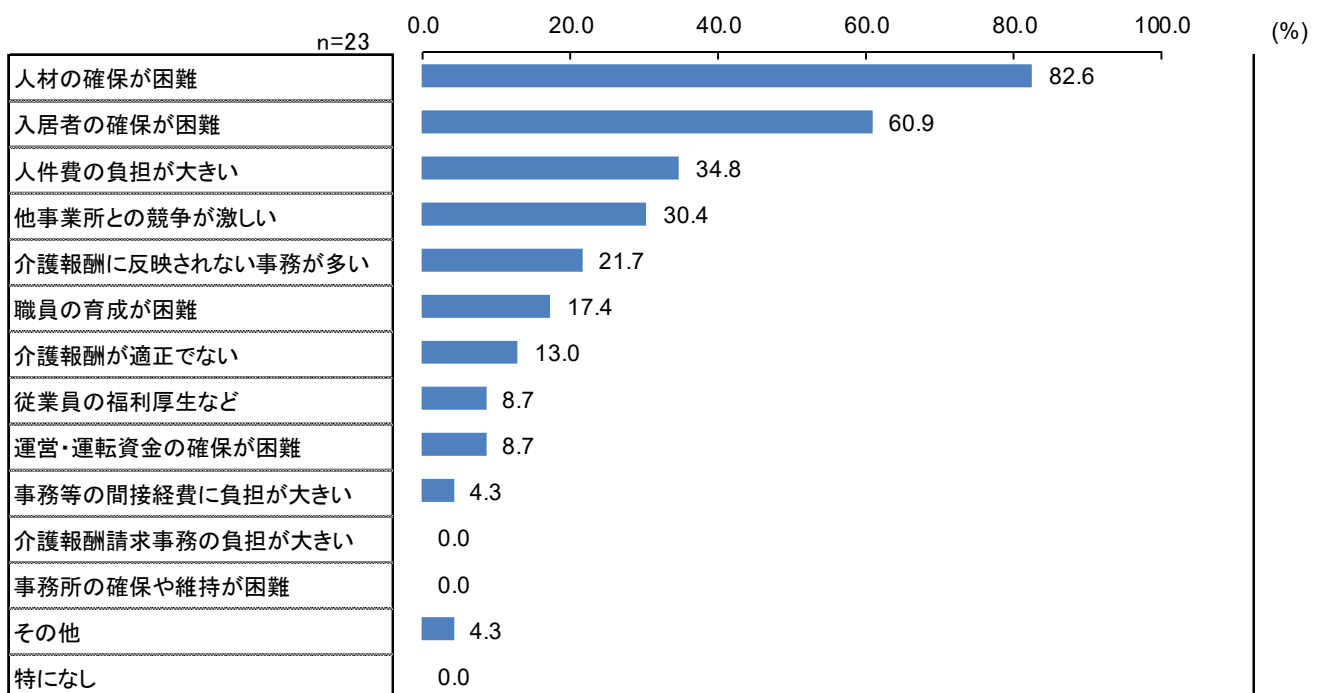
【08 介護保険施設】 事業所を運営するうえでの問題点や課題（複数回答）（問5）

介護保険施設を運営するうえでの問題点や課題は、「人材の確保が困難」が96.7%と最も高く、次いで「介護報酬に反映されない事務が多い」（53.3%）、「人件費の負担が大きい」、「職員の育成が困難」（ともに50.0%）となっている。



【09 有料老人ホーム】 事業所を運営するうえでの問題や課題（複数回答）（問14）

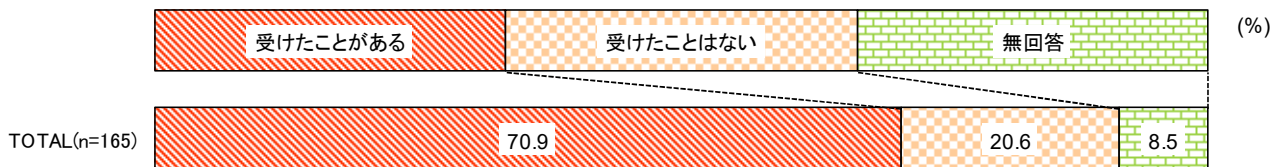
有料老人ホームを運営するうえでの問題や課題としては、「人材の確保が困難」が82.6%と最も高く、次いで「入居者の確保が困難」（60.9%）、「人件費の負担が大きい」（34.8%）となっている。



## 24. 看取り

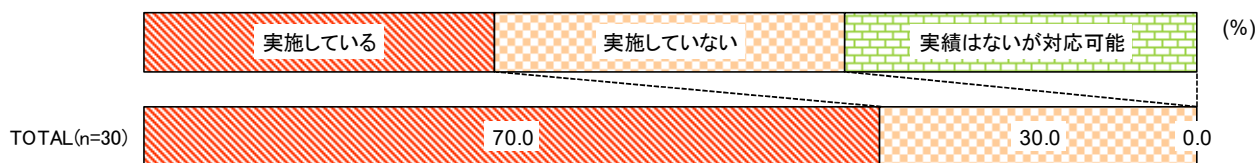
### 【06 居宅介護支援事業所】 利用者や家族から看取りの相談の有無（問19）

居宅介護支援事業所では、利用者や家族から看取りの相談を「受けたことがある」は70.9%となっている。

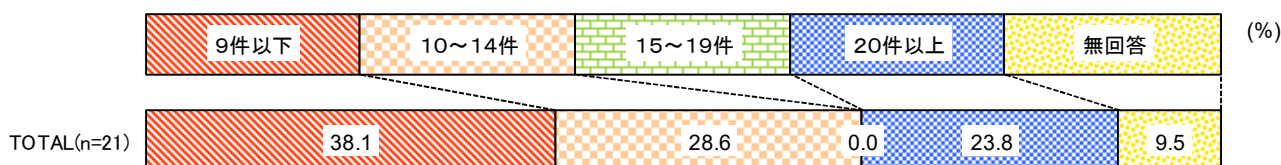


### 【08 介護保険施設】 看取りの実施有無（問3）この1年間の看取り件数【ベース：看取り実施】（\*問3-1）

介護保険施設では、看取りを「実施している」が70.0%（30施設中21施設）となっている。

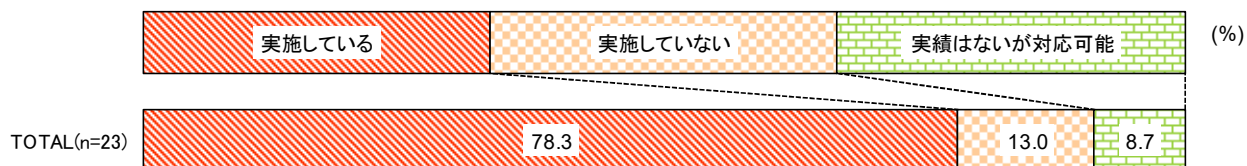


看取りを実施している介護保険施設の看取り件数は、「9件以下」が38.1%と最も高く、次いで「10～14件」（28.6%）、「20件以上」（23.8%）となっている。

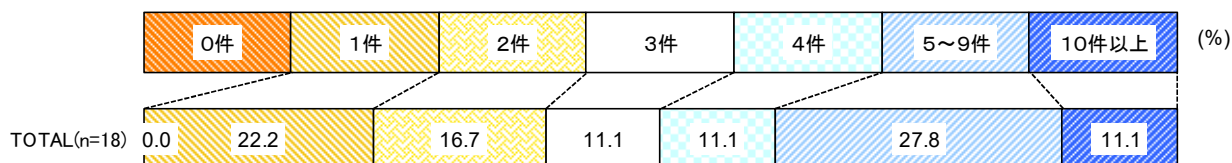


【09 有料老人ホーム】 看取りの実施有無（問4）この1年間の看取り件数【ベース：看取り実施】（\*問4-1）

有料老人ホームで看取りを「実施している」は78.3%（23施設中18施設）となっている。

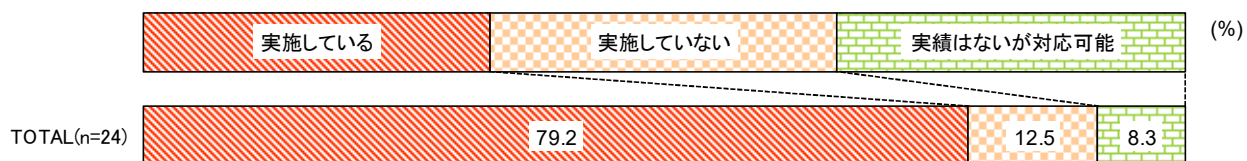


有料老人ホームでの看取り件数は「5～9件」が27.8%と最も高く、次いで「1件」（22.2%）、「2件」（16.7%）となっている。

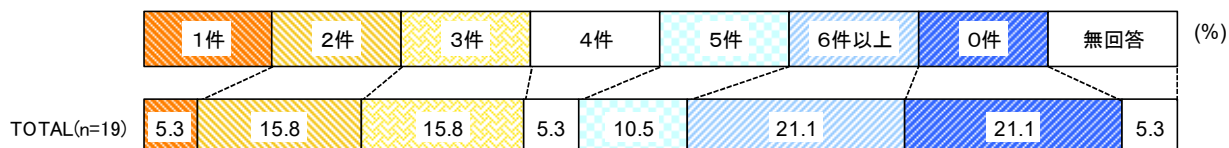


【10 サービス付高齢者住宅】 看取りの実施有無（問7）この1年間の看取り件数（問7-1）

サービス付高齢者向け住宅で看取りを「実施している」は79.2%（24施設中19施設）となっている。



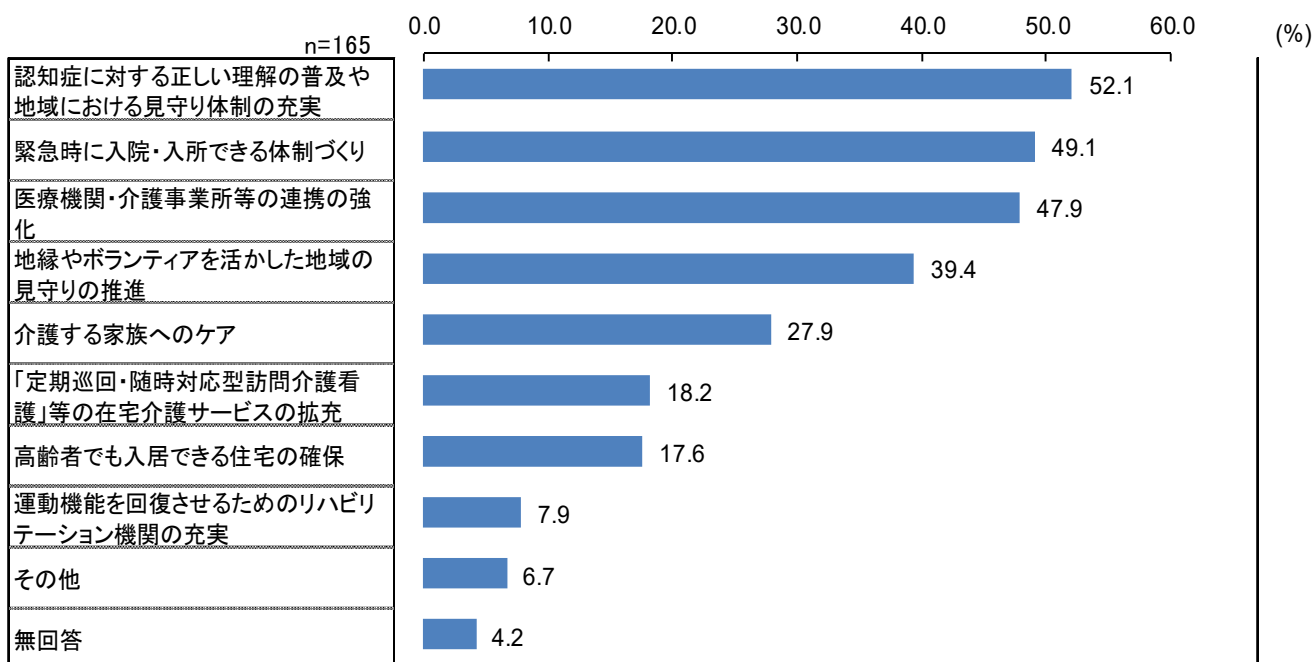
直近1年間の看取りの件数は、「6件以上」と「0件」がともに21.1%（19施設中4施設）となっている。また、「5件以内」が半数以上を占めている。



## 25. 地域包括ケアシステムの推進

【06 居宅介護支援事業所】 地域包括ケアシステムの推進に向けて、高齢者が自宅や地域で暮らし続けるために、今後さらに強化が必要な取り組み（複数回答）（問17）

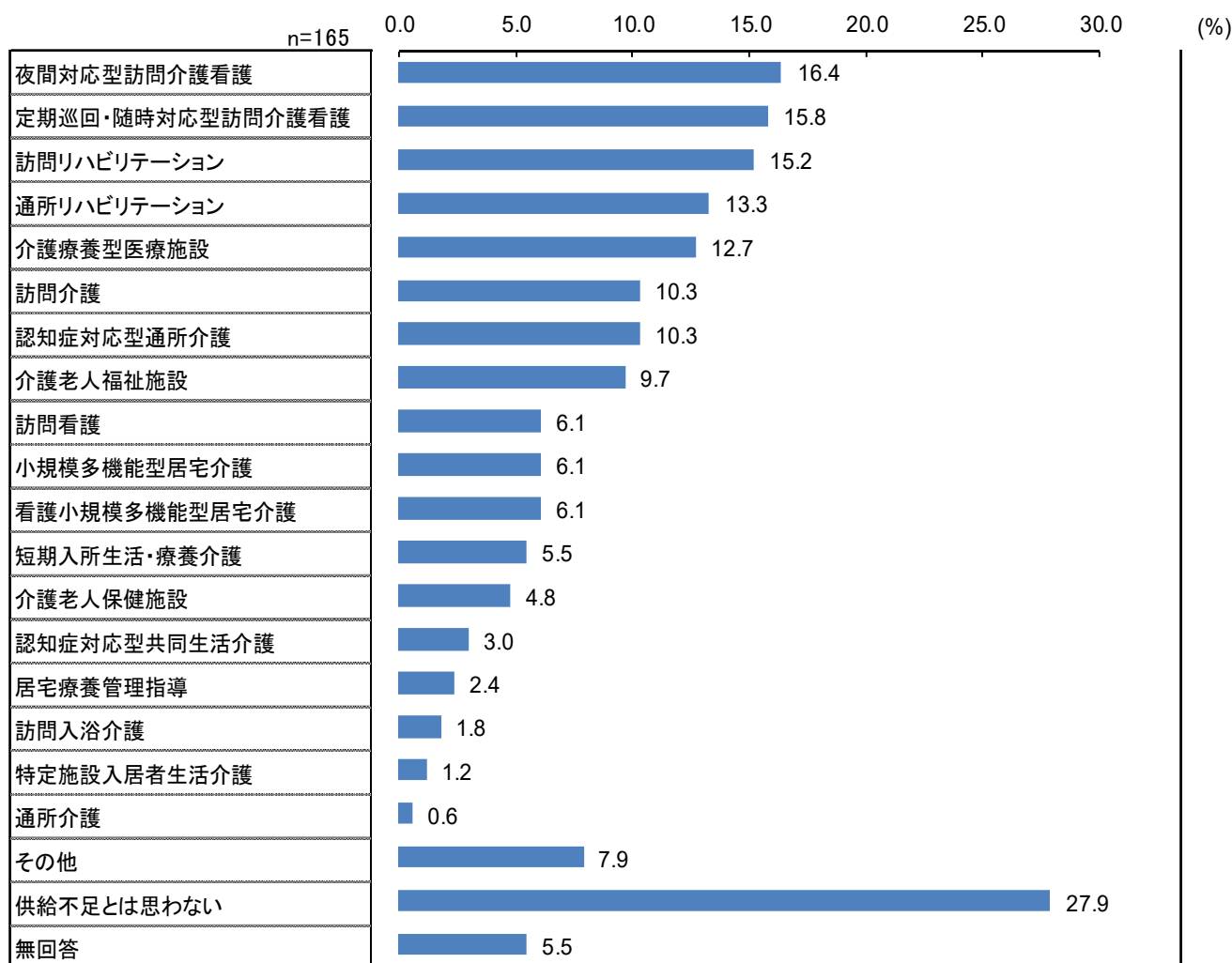
居宅介護支援事業所で、地域包括ケアシステムの推進に向けて、今後さらに強化が必要な取り組みは、「認知症に対する正しい理解の普及や地域における見守り体制の充実」が52.1%と最も高く、次いで「緊急時に入院・入所できる体制づくり」(49.1%)、「医療機関・介護事業所等の連携の強化」(47.9%)となっている。



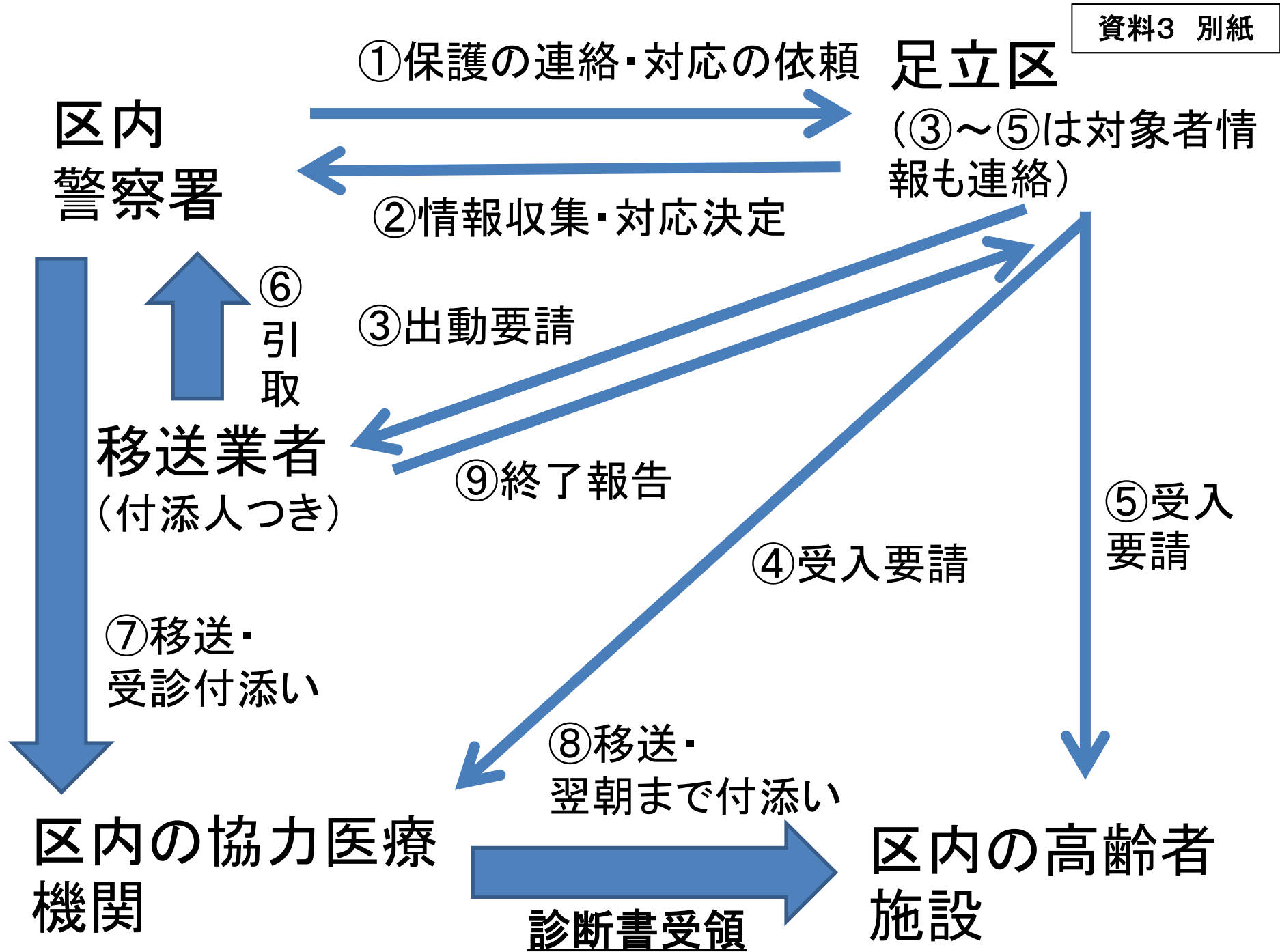
## 26. 不足している介護サービス

【06 居宅介護支援事業所】 ケアプランを立てる際に、区内で供給量が不足している介護サービス（複数回答）（問11）

居宅介護支援事業所で、不足している介護サービスは、「夜間対応型訪問介護看護」が16.4%と最も高く、次いで「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」（15.8%）、「訪問リハビリテーション」（15.2%）となっている。一方、「供給不足とは思わない」は27.9%となっている。



件名	「高齢者緊急レスキュー事業」の開始について
所管部課	福祉部 高齢福祉課
内容	<p>足立区内の警察署で休日や夜間に保護された認知症高齢者等を早期に保護するため、高齢者緊急レスキュー事業を実施する。本事業は、警視庁との連携事業である。</p> <p>1 実施方法 夜間等に警察署に保護された認知症高齢者等を、区が委託した移送事業者が引取り、医療機関を受診後に区内の高齢者施設において一時保護する。 ※事業の流れは別紙のとおり。一時保護後は、緊急ショートステイ事業等に引き継いでいく。</p> <p>2 開始時期 平成29年4月1日 ※個人情報の取り扱いについては、平成29年3月29日開催、第十期・第五回足立区情報公開・個人情報保護審議会で承認済み</p>





第1回「介護保険・障がい福祉専門部会」

平成29年5月17日

件名	第4期障がい福祉計画(27年度～29年度)の中間実績と障がい関連計画策定のスケジュールについて																																				
所管部課	福祉部 障がい福祉課 障がい福祉センター 衛生部 中央本町地域・保健総合支援課																																				
内容	<p>今般、第4期障がい福祉計画(27年度～29年度)の中間実績値がまとまったので報告する。</p> <p>また、平成30年度以降の障がい者施策の方向性を明らかにする「足立区障がい者計画」、「足立区第5期障がい福祉計画」、「足立区第1期障がい児福祉計画」の3計画の策定スケジュールについても併せて報告する。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1. 各計画の年度イメージ</p> <table border="1" data-bbox="395 1041 1310 1350"> <thead> <tr> <th>27</th> <th>28</th> <th>29</th> <th>30</th> <th>31</th> <th>32</th> <th>33</th> <th>34</th> <th>35</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">足立区障がい者計画 (あだちノーマライゼーションプランⅡ)</td> <td colspan="6" style="text-align: center;"><b>足立区障がい者計画</b> (あだちノーマライゼーションプランⅢ)</td> </tr> <tr> <td colspan="3">第4期障がい福祉計画</td> <td colspan="3">第5期障がい福祉計画</td> <td colspan="3">第6期障がい福祉計画</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="background-color: #cccccc;"></td> <td colspan="3">第1期障がい児福祉計画</td> <td colspan="3">第2期障がい児福祉計画</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 第4期障がい福祉計画中間実績値 別冊のとおり</p> <p>3. 障がい関連3計画策定スケジュール 別紙のとおり</p>	27	28	29	30	31	32	33	34	35	足立区障がい者計画 (あだちノーマライゼーションプランⅡ)			<b>足立区障がい者計画</b> (あだちノーマライゼーションプランⅢ)						第4期障がい福祉計画			第5期障がい福祉計画			第6期障がい福祉計画						第1期障がい児福祉計画			第2期障がい児福祉計画		
27	28	29	30	31	32	33	34	35																													
足立区障がい者計画 (あだちノーマライゼーションプランⅡ)			<b>足立区障がい者計画</b> (あだちノーマライゼーションプランⅢ)																																		
第4期障がい福祉計画			第5期障がい福祉計画			第6期障がい福祉計画																															
			第1期障がい児福祉計画			第2期障がい児福祉計画																															
問題点・今後の方針	<p>策定にあたっては、今後示される予定の国及び東京都の各計画の策定方針を踏まえて、地域自立支援協議会や地域保健福祉推進協議会からの意見を集約しながら策定する。</p> <p>なお、児童発達支援、特別支援教育、災害対策、まちづくり、交通等、庁内関係各課と連携しながら3計画を策定する。</p>																																				

足立区第 4 期障がい福祉計画  
(平成 27 年度～平成 29 年度)  
中間実績値報告

## 目次

### 第1章 障がい福祉サービス

- 1 居宅系サービス・・・・・・・・・・ 3
- 2 日中活動系サービス・・・・・・・・ 4
- 3 療 養 介 護・・・・・・・・・・ 10
- 4 放課後等デイサービス・・・・・・ 11
- 5 短 期 入 所・・・・・・・・・・ 12
- 6 共同生活援助・・・・・・・・・・ 13
- 7 施設入所支援・・・・・・・・・・ 14
- 8 計画相談支援・・・・・・・・・・ 15
- 9 地域移行支援事業・・・・・・・・・・ 16
- 10 地域定着支援事業・・・・・・・・・・ 17

### 第2章 地域生活支援事業

- 1 相談支援事業・・・・・・・・・・ 18
- 2 地域自立支援協議会・・・・・・・・ 19
- 3 成年後見制度利用支援事業・・ 19
- 4 意思疎通支援事業・・・・・・・・ 20
- 5 日常生活用具給付事業・・・・・・ 21
- 6 住 宅 改 修・・・・・・・・・・ 26
- 7 移動支援事業・・・・・・・・・・ 27
- 8 通所バス運行事業・・・・・・・・ 28
- 9 地域活動支援センター・・・・・・ 29
- 10 福祉ホーム事業・・・・・・・・・・ 30
- 11 巡回入浴事業・・・・・・・・・・ 31
- 12 日 中 保 護・・・・・・・・・・ 32
- 13 タイムケア（実績なし）・・・・ 33
- 14 更生訓練費（廃止）・・・・・・ 34
- 15 就職支度金（廃止）・・・・・・ 35
- 16 自動車運転免許取得費・  
自動車改造費助成事業・・・・ 36
- 17 職親委託（廃止）・・・・・・・・ 38
- 18 手話通訳者養成研修事業・・・・ 39

#### 「障害（障がい）」の表記について

この実績値報告では、「障害」という言葉が、単語あるいは熟語として用いられています。人を形容する場合は「障がい」とひらがなで表記し、法令に定められた名称など、特定の固有名詞を表す場合は「障害」と漢字で表記しています。

# 第1章 障がい福祉サービス

## 1 居宅系サービス

### <概要>

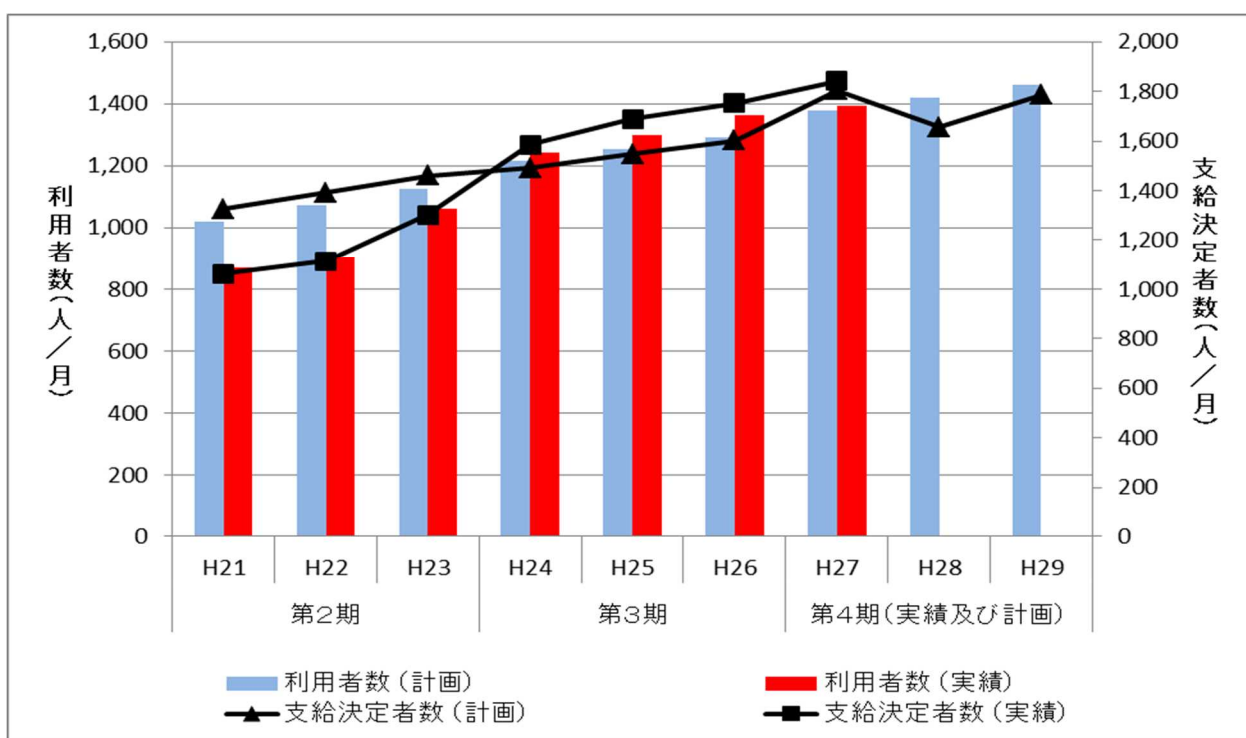
居宅介護（ホームヘルプサービス）、重度訪問介護、同行援護（視覚障がい者向けガイドヘルプサービス）、行動援護（行動障がい者向けガイドヘルプサービス）、重度障害者等包括支援の各事業（合計値）。

### <実績値等>

ほぼ計画どおりの数値で推移しています。

項目		第2期			第3期			第4期(実績及び計画)		
		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
支給決定者数 (人/月)	計画	1,325	1,391	1,461	1,491	1,547	1,602	1,804	1,655	1,786
	実績	1,062	1,114	1,303	1,584	1,688	1,751	1,842		
利用者数 (人/月)	計画	1,022	1,073	1,127	1,218	1,254	1,290	1,378	1,419	1,462
	実績	870	902	1,060	1,241	1,299	1,365	1,393		
利用時間 (時間/月)	計画	44,545	47,077	49,609	50,429	54,080	57,733	51,046	53,598	56,278
	実績	33,281	36,519	43,472	44,237	46,290	48,615	48,270		

【注】この表の数値は毎年度3月1ヵ月分の数値です。



## 2 日中活動系サービス

### (1) 生活介護事業

<概要>

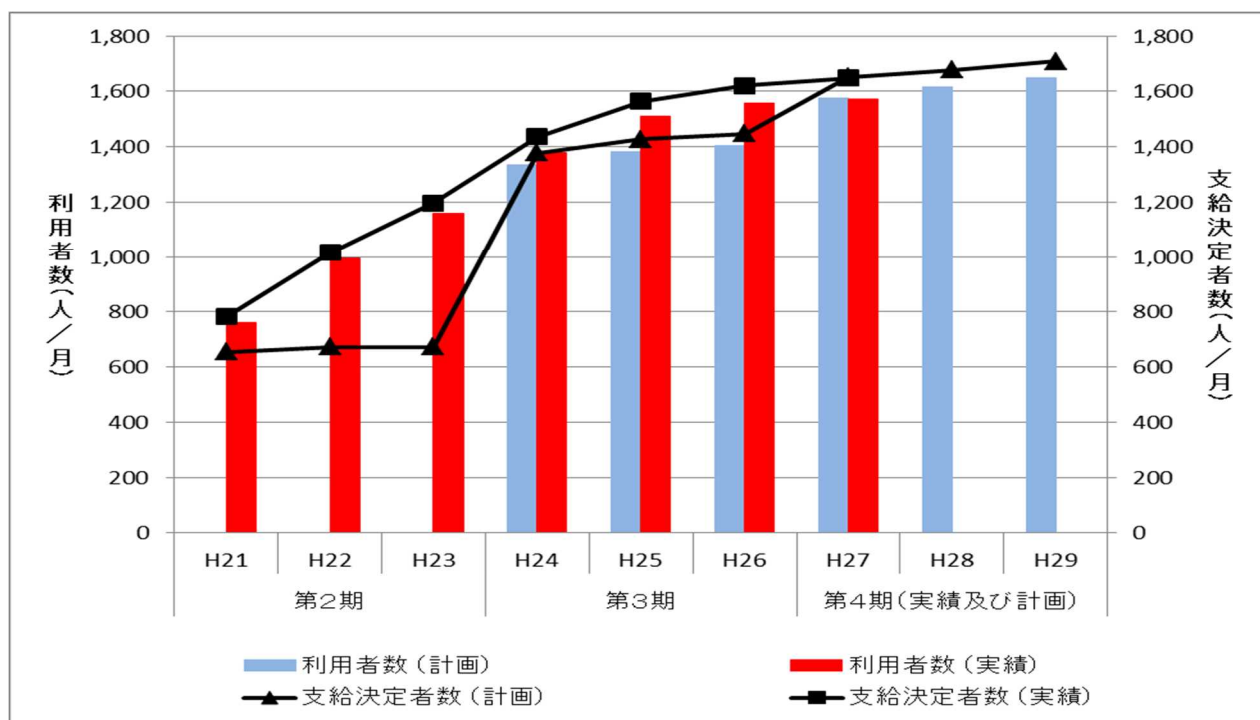
主に重度の心身障がい者が利用する施設へ通所する事業。

<実績値等>

特別支援学校卒業生に加え、在宅障がい者（施設退所等により在宅になった障がい者や中途障がい者）の利用も進んだため、計画値よりやや利用者が増えています。

項目		第2期			第3期			第4期(実績及び計画)		
		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
支給決定者数 (人/月)	計画	654	674	674	1,377	1,427	1,447	1,652	1,678	1,709
	実績	783	1,017	1,197	1,437	1,564	1,620	1,648		
利用者数 (人/月)	計画	計画設定無し			1,335	1,384	1,403	1,575	1,615	1,650
	実績	762	995	1,161	1,377	1,510	1,557	1,573		
利用日数 (日/月)	計画	計画設定無し			23,896	24,773	25,113	29,234	30,456	31,020
	実績	(実績未集計)			23,817	28,388	31,395	31,916		

【注】この表の数値は毎年度3月1ヵ月分の数値です。



## （2）自立訓練事業（機能訓練）

### ＜概要＞

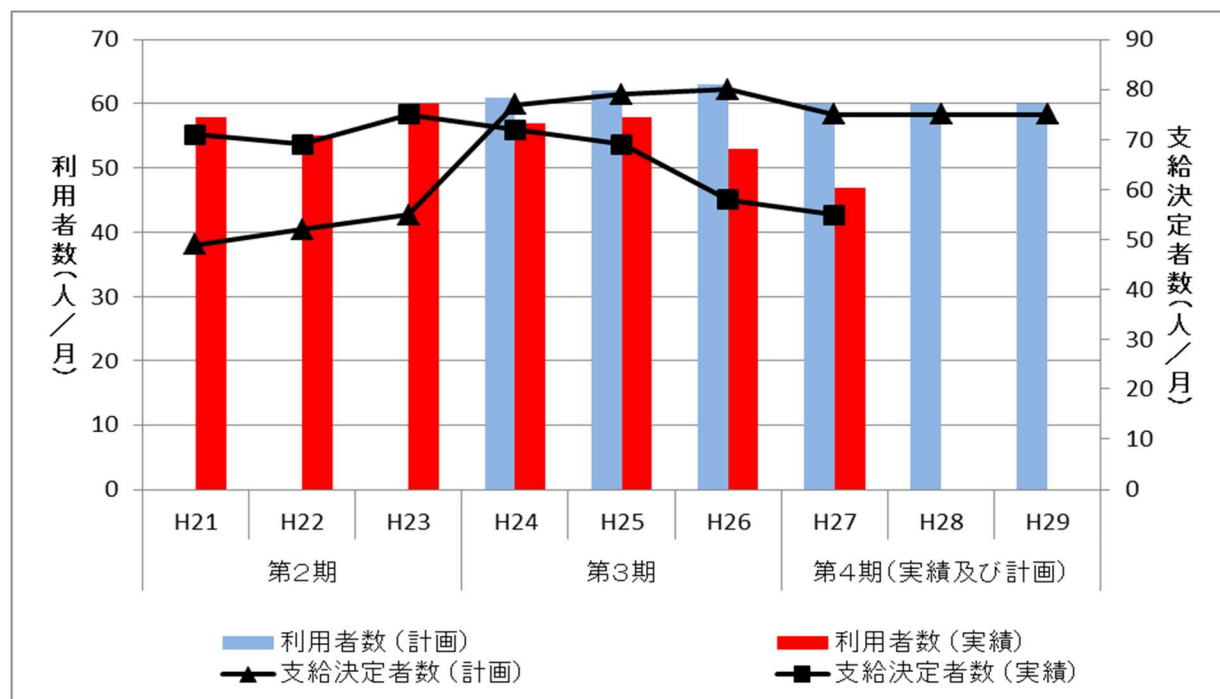
自立訓練事業（機能訓練）は、身体障がい者または難病患者等が、自立した日常生活または社会生活を送ることができるよう、一定期間、身体機能や生活能力の維持・向上のために必要な訓練を行う施設に通所する事業。

### ＜実績値等＞

利用者数は計画を下回りましたが、生活能力の維持・向上のために必要な訓練を行う区内では唯一の自立訓練（機能訓練）事業所であり、必要性は高い事業です。

項目		第2期			第3期			第4期(実績及び計画)		
		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
支給決定者数 (人/月)	計画	49	52	55	77	79	80	75	75	75
	実績	71	69	75	72	69	58	55		
利用者数 (人/月)	計画	計画設定無し			61	62	63	60	60	60
	実績	58	55	60	57	58	53	47		
利用日数 (日/月)	計画	計画設定無し			378	384	390	330	330	330
	実績	(実績未集計)			335	293	354	312		

【注】この表の数値は毎年度3月1ヵ月分の数値です。



### （3）自立訓練事業（生活訓練）

＜概要＞

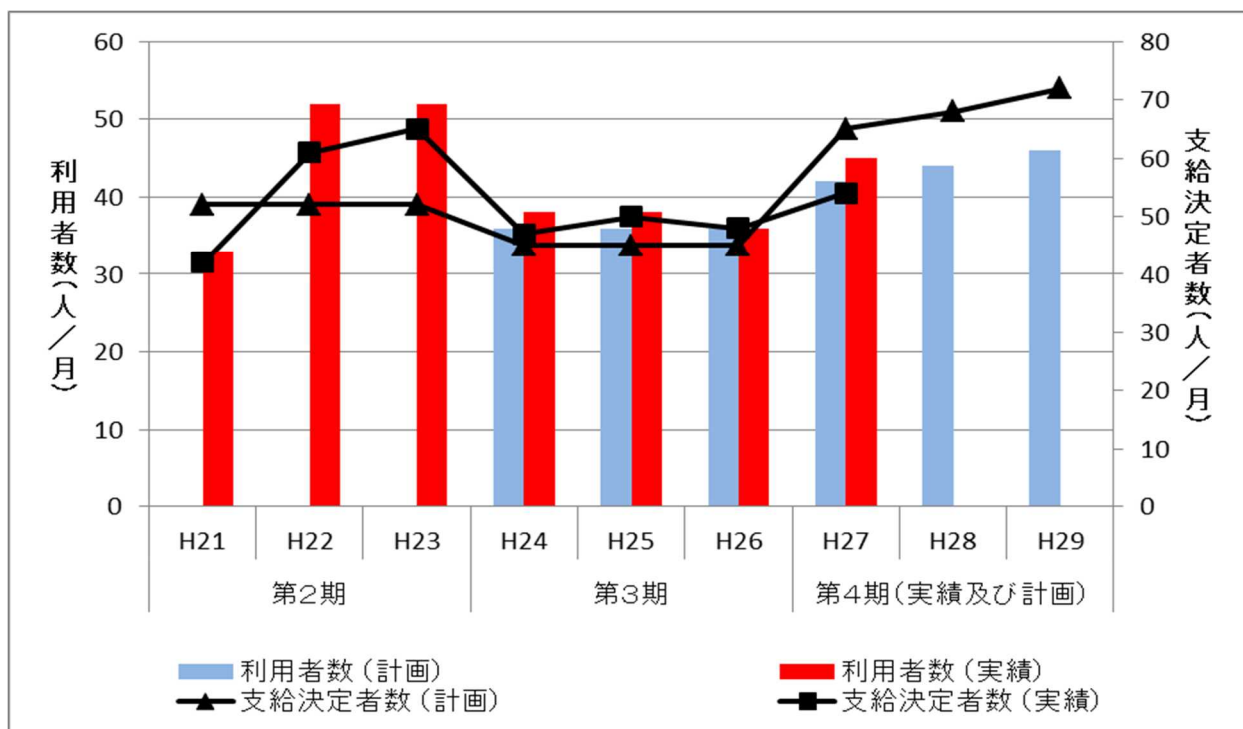
知的障がい者または精神障がい者が、自立した日常生活または社会生活を送ることができるよう、一定期間、生活能力の向上のために必要な訓練を行う施設に通所する事業。

＜実績値等＞

ほぼ計画どおりの利用者数となっています。

項目		第2期			第3期			第4期(実績及び計画)		
		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
支給決定者数 (人/月)	計画	52	52	52	45	45	45	65	68	72
	実績	42	61	65	47	50	48	54		
利用者数 (人/月)	計画	計画設定無し			36	36	36	42	44	46
	実績	33	52	52	38	38	36	45		
利用日数 (日/月)	計画	計画設定無し			565	565	565	685	717	750
	実績	(実績未集計)			580	598	587	672		

【注】この表の数値は毎年度3月1ヵ月分の数値です。





## （4）就労移行支援事業

### <概要>

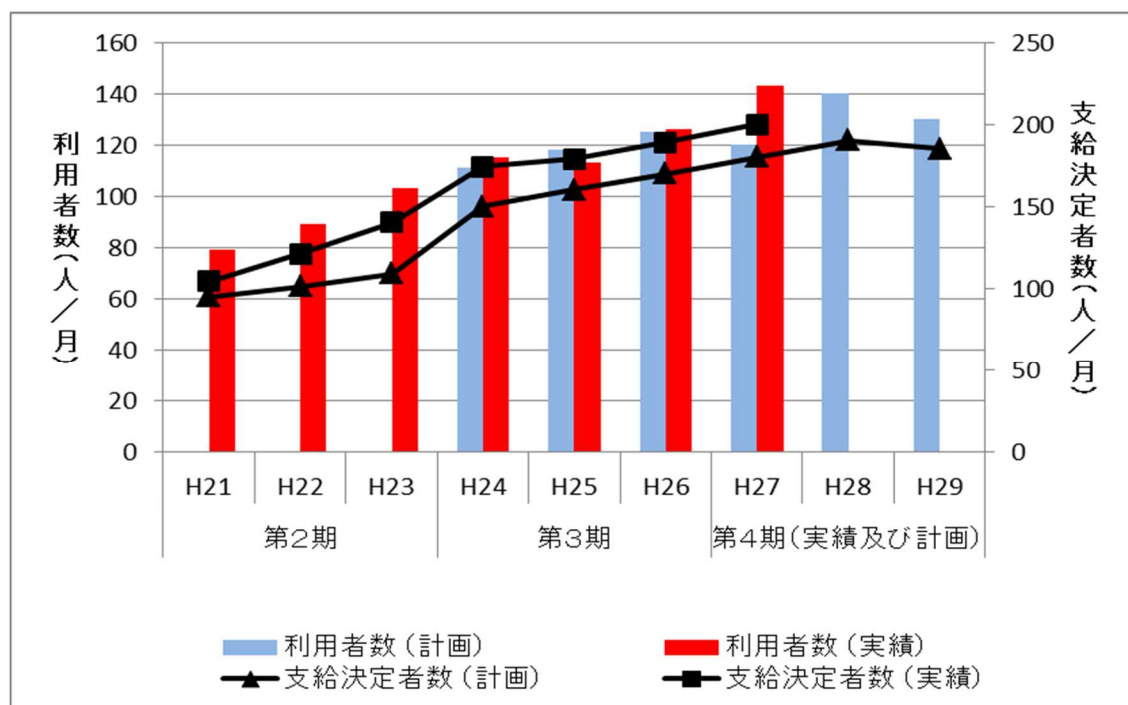
特別支援学校卒業生や在宅の障がい者が就労を目指し、一定期間就労訓練を行うための施設に通所する事業。

### <実績値等>

計画値を上回る実績を示していますが、今後就労支援に特化した特別支援学校（就業技術科・職能開発科）の増加に連動した需要の変化を考慮していきます。

項目	第2期			第3期			第4期(実績及び計画)			
	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	
支給決定者数 (人/月)	計画	95	101	109	150	160	170	180	190	185
	実績	104	121	140	174	179	189	200		
利用者数 (人/月)	計画	計画設定無し			111	118	125	120	140	130
	実績	79	89	103	115	113	126	143		
利用日数 (日/月)	計画	計画設定無し			1,853	1,970	2,087	1,680	1,960	1,820
	実績	(実績未集計)			1,759	1,477	1,977	2,219		

【注】この表の数値は毎年度3月1ヵ月分の数値です。



## （5）就労継続支援A型事業

### <概要>

企業等に就労することが困難な障がい者に対して、雇用契約を締結した上で、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練・支援を行う施設に通所する事業。

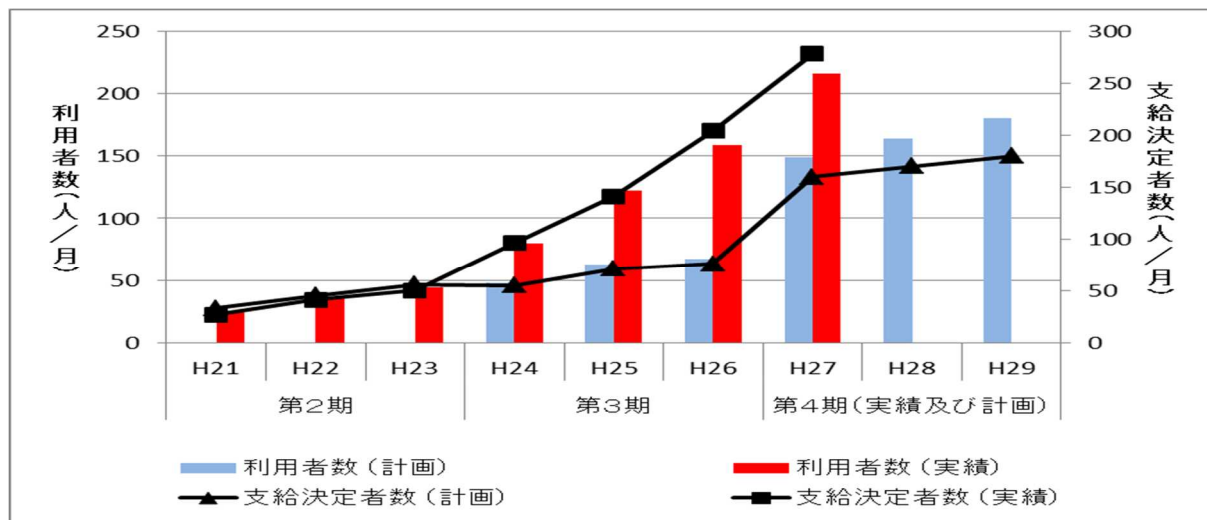
### <実績値等>

計画値を大きく上回る実績ですが、平成29年4月に厚生労働省が以下の4点の方針を打ち出したことから、今後状況が変わる可能性があります。

- ・ 生産活動に係る事業収入から必要経費を控除した額に相当する金額が、利用者に支払う賃金の総額以上となるようにしなければならない
- ・ 賃金を自立支援給付から支払うことを原則禁止
- ・ 利用者が長く働きたいと希望する場合には、その希望を踏まえた就労の機会を提供しなければならない
- ・ 障害福祉計画上の必要サービス量を確保できている場合、自治体は新たな指定をしないことを可能にする

項目		第2期			第3期			第4期(実績及び計画)		
		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
支給決定者数 (人/月)	計画	33	45	56	55	71	76	160	170	180
	実績	27	41	50	96	141	204	278		
利用者数 (人/月)	計画	計画設定無し			48	63	67	149	164	180
	実績	24	37	44	80	122	159	216		
利用日数 (日/月)	計画	計画設定無し			936	1,228	1,306	2,704	2,839	2,981
	実績	(実績未集計)			1,544	2,341	3,228	4,226		

【注】この表の数値は毎年度3月1ヵ月分の数値です。



## （6）就労継続支援B型事業

### ＜事業内容＞

一般企業への就労が困難な障がい者に対して、働く場を提供するとともに、就労の知識や能力の向上のために必要な訓練を行う施設に通所する事業。

なお、就労継続支援A型事業（8頁）と異なり、本事業は福祉的就労であり、雇用契約を結ばない。

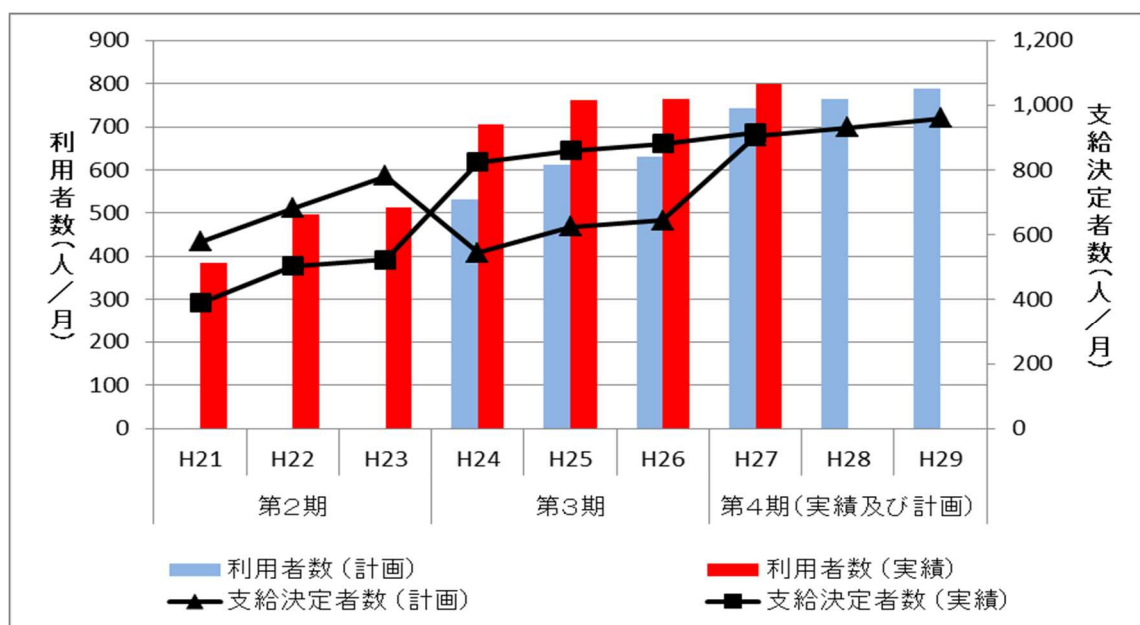
### ＜実績値等＞

区外施設利用者を含め、在宅障がい者や就労移行支援事業の利用を経た特別支援学校卒業生が、本サービスに移行しているため、計画をやや上回る利用者がいます。

なお、本事業から一般就労する利用者もいます。

項目		第2期			第3期			第4期(実績及び計画)		
		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
支給決定者数 (人/月)	計画	579	681	782	544	624	644	904	931	959
	実績	389	504	524	824	860	881	914		
利用者数 (人/月)	計画	計画設定無し			533	611	631	742	764	787
	実績	385	496	513	705	762	764	798		
利用日数 (日/月)	計画	計画設定無し			7,835	8,920	9,212	11,777	12,130	12,494
	実績	(実績未集計)			10,479	11,257	12,253	12,976		

【注】この表の実績値は毎年度3月1ヵ月分の数値です。



### 3 療養介護

<事業内容>

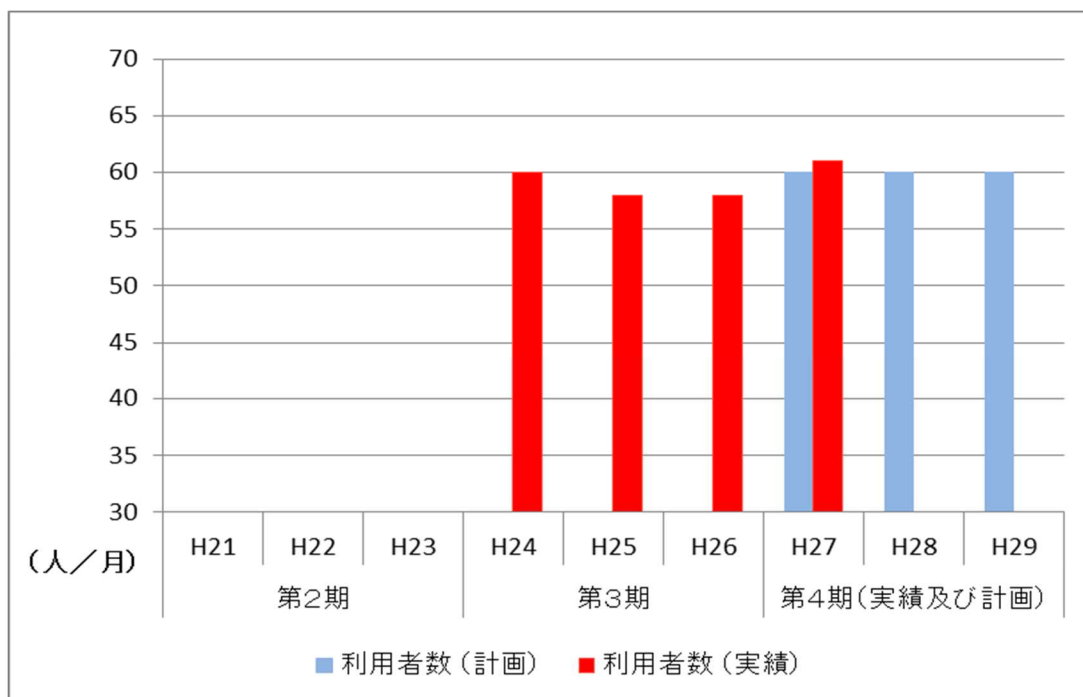
常時医療的介護を必要とする重症心身障がい児(者)に対して、医療機関に入所し、機能訓練、看護、介護を行う事業。

<実績値等>

ほぼ計画どおりの利用者数でした。

項目		第2期			第3期			第4期(実績及び計画)		
		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
支給決定者数 (人/月)	計画	5	5	5	57	57	58	60	60	60
	実績	3	4	5	60	60	61	63		
利用者数 (人/月)	計画	計画設定無し			計画設定無し			60	60	60
	実績	(実績未集計)			60	58	58	61		

【注】この表の数値は毎年度3月1ヵ月分の数値です。



## 4 放課後等デイサービス

### <概要>

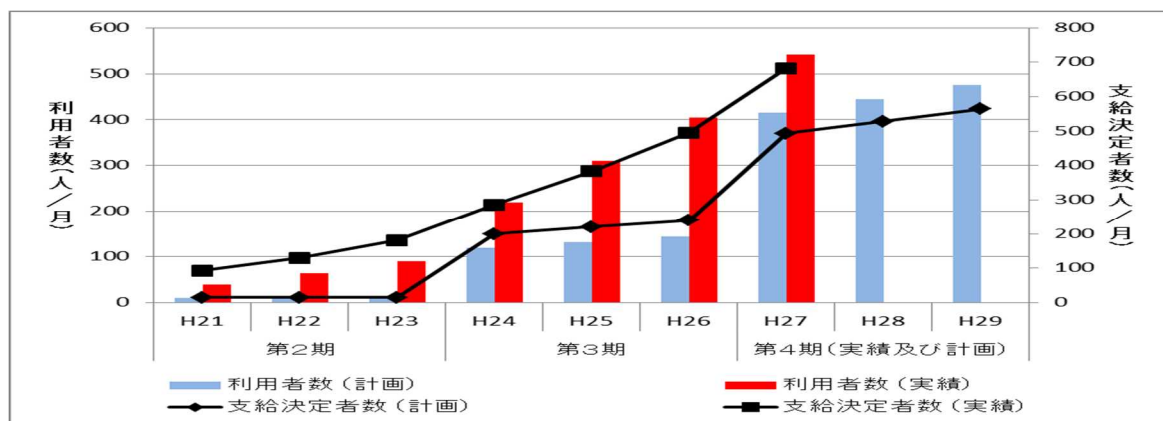
学校に就学している障がい児に対して、放課後や学校休業中に、発達や生活能力の向上のために必要な訓練などを行う施設に通所する事業。

### <実績値等>

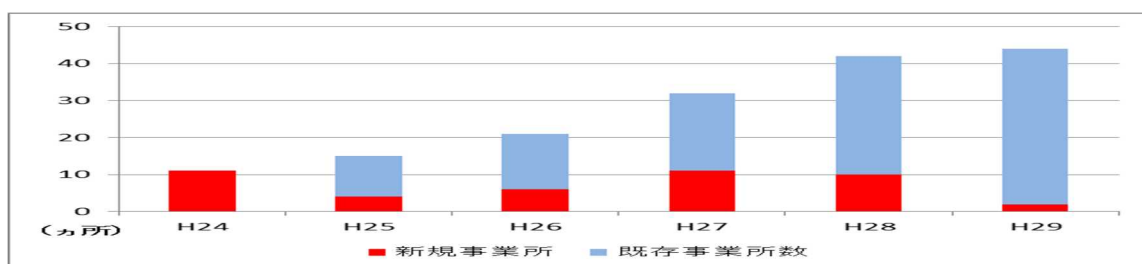
第4期計画では利用者の大幅な増加を予想しましたが、それを上回る利用者がいました。厚生労働省は、平成29年4月以降、1施設あたりの支援員の5割以上が有資格者（児童指導員、保育士、教員免許取得者等）であることと定めたため、今後は事業所数の伸びが鈍化する可能性があります。既設事業所の稼働率が低いため、待機者の発生の可能性は低いと考えられます。

項目		第2期			第3期			第4期(実績及び計画)		
		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
支給決定者数 (人/月)	計画	15	15	15	200	220	240	493	528	564
	実績	93	130	181	286	384	496	683		
利用者数 (人/月)	計画	10	10	10	120	132	144	415	444	475
	実績	39	63	90	219	310	404	542		
利用日数 (日/月)	計画	53	66	80	655	720	786	3,777	4,041	4,324
	実績	234	344	505	1,500	2,824	4,679	6,675		

【注】 この表の数値は毎年度3月1ヵ月分の数値です。



### 【参考】 区内放課後等デイサービス事業所数の推移



## 5 短期入所（ショートステイ）

### <概要>

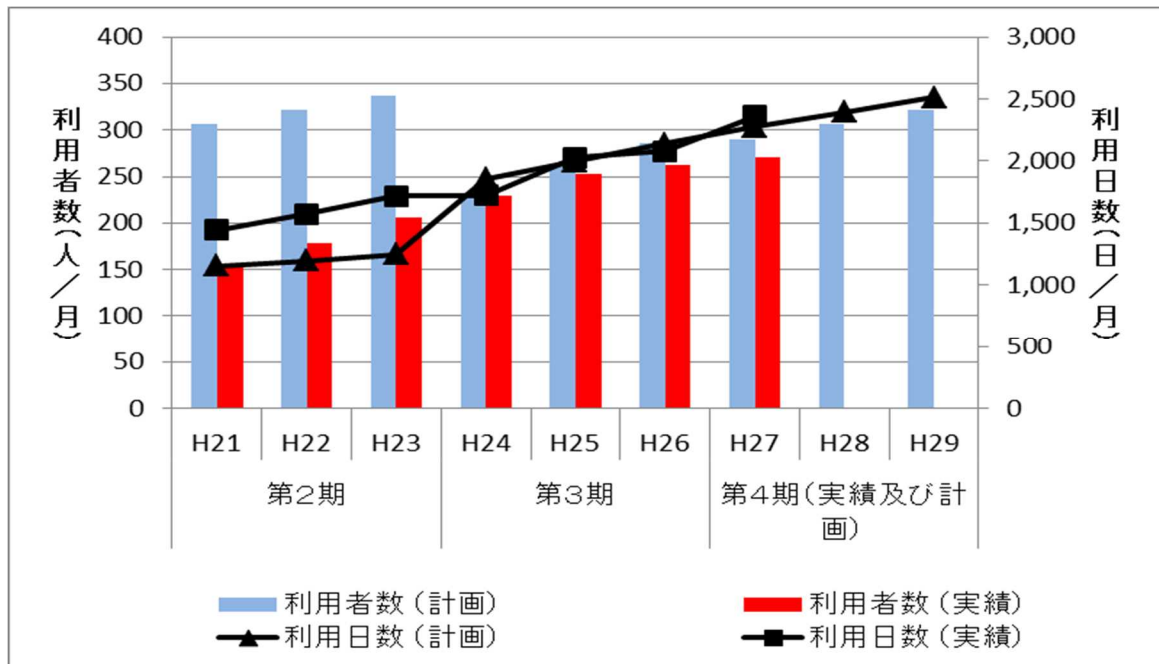
在宅の障がい者（児）が、一時的に家庭での介護を受けることが困難になった場合などに、短期間、夜間も含め、食事、排泄、入浴などの介護等を施設で受ける事業。

### <実績値等>

計画をやや下回るものの、毎年利用者は増加しています。

項目		第2期			第3期			第4期(実績及び計画)		
		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
利用者数 (人/月)	計画	307	322	337	232	260	286	290	306	321
	実績	155	179	206	230	253	263	271		
利用日数 (日/月)	計画	1,153	1,198	1,246	1,856	1,998	2,139	2,278	2,392	2,512
	実績	1,445	1,573	1,715	1,722	2,028	2,078	2,362		

【注】 この表の数値は毎年度3月1ヵ月分の数値です。



## 6 共同生活援助（グループホーム）

### <概要>

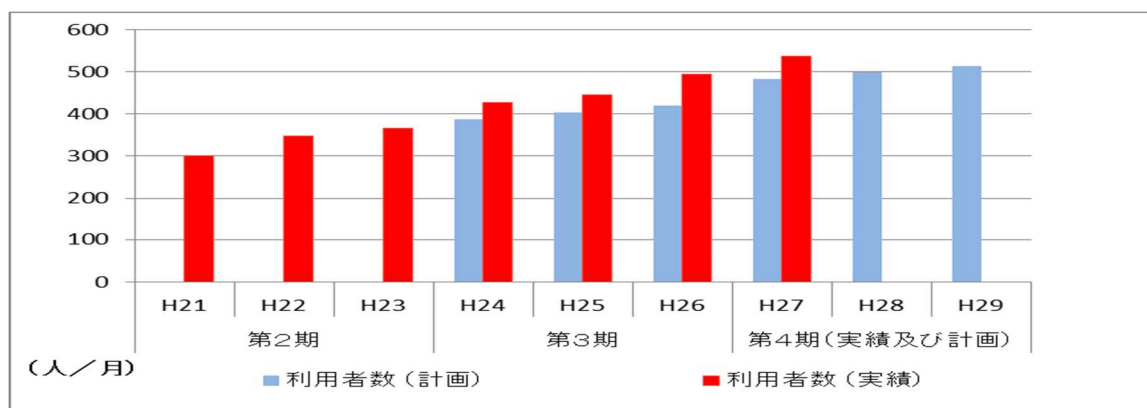
障がい者が専門職員等の援助を受け、地域で単身での居住生活を営む事業。

### <実績値等>

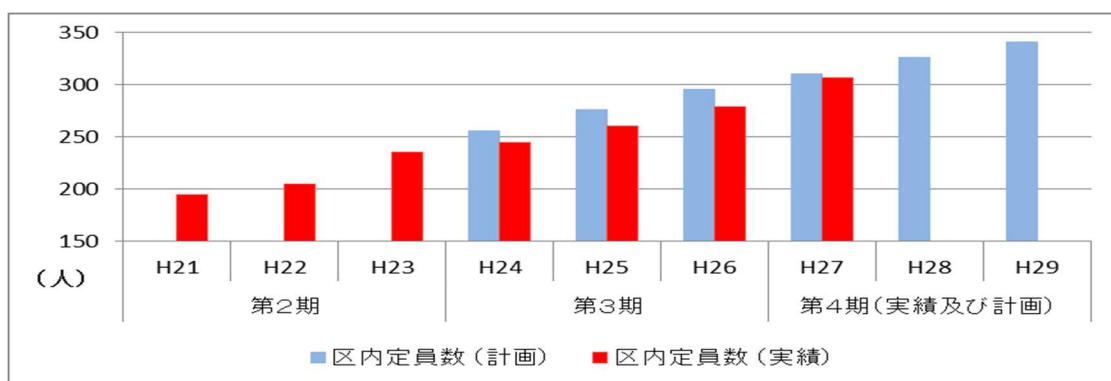
区外の営利法人による足立区内での事業所開設が進み、計画以上の利用者の増加が見られました。

項目		第2期			第3期			第4期(実績及び計画)		
		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
支給決定者数 (人/月)	計画	334	362	389	425	443	462	540	562	584
	実績	330	385	404	490	499	527	580		
利用者数 (人/月)	計画	計画設定無し			386	403	420	483	498	513
	実績	301	347	367	427	446	494	538		
区内定員数 (人)	計画	計画設定無し			256	276	296	311	326	341
	実績	195	205	236	245	261	279	307		

【注】この表の支給決定者数と利用者数は毎年度3月1ヵ月分の数値、区内定員数は毎年度3月1日時点の数値です。月途中の入退所があるため、利用者数は定員数を上回っています。



### 【参考】区内グループホーム定員数の推移





## 7 施設入所支援

### <概要>

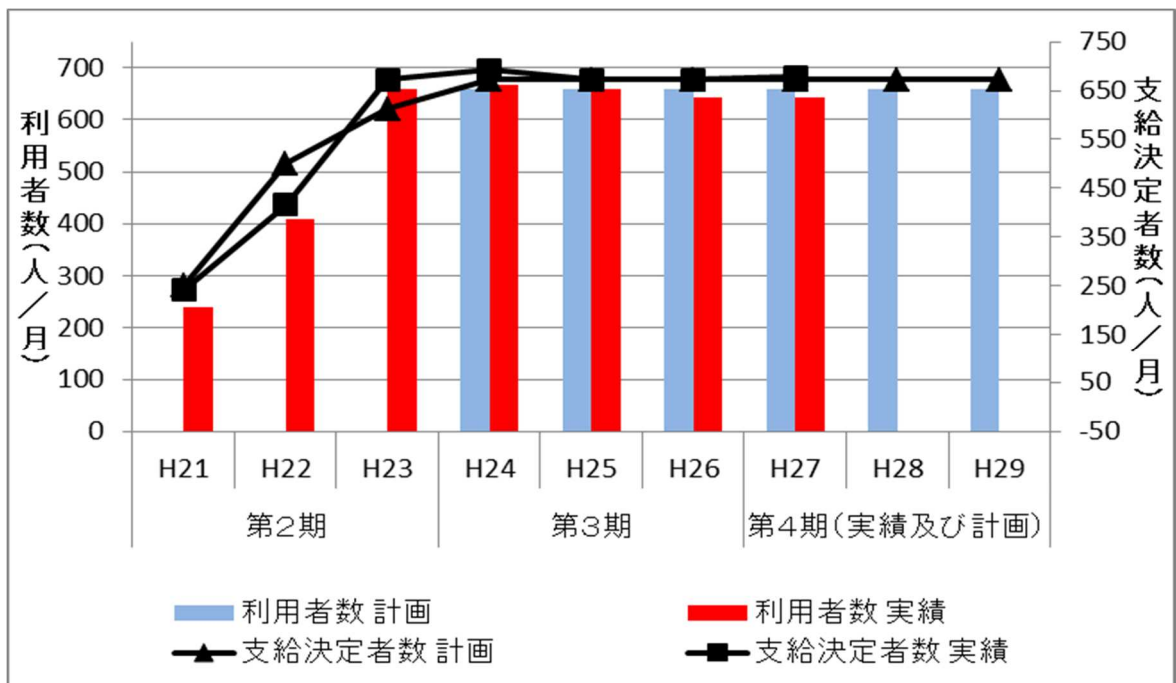
何らかの理由で居宅での生活が困難な障がい者に対し、主に区外の入所型施設において食事、排泄、入浴、相談等の支援を行う事業。

### <実績値等>

厚生労働省は利用者数の低減を、東京都は利用者数の現状維持を図るとの方針を打ち出しており、足立区は現状維持の計画としましたが、利用者数は若干減少しました。

項目	第2期			第3期			第4期(実績及び計画)			
	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	
支給決定者数 (人/月)	計画	250	500	612	673	673	673	673	673	673
	実績	242	416	673	692	672	673	678		
利用者数 (人/月)	計画	計画設定無し			660	660	660	660	660	660
	実績	239	409	660	666	660	644	644		

【注】 この表の数値は毎年度3月1ヵ月分の数値です。



## 8 計画相談支援（含・セルフプラン等）

### <概要>

障がい者（児）の自立した生活を支えるために、生活の中で解決すべき課題や目標、支援の方法を具体的な計画とする事業。

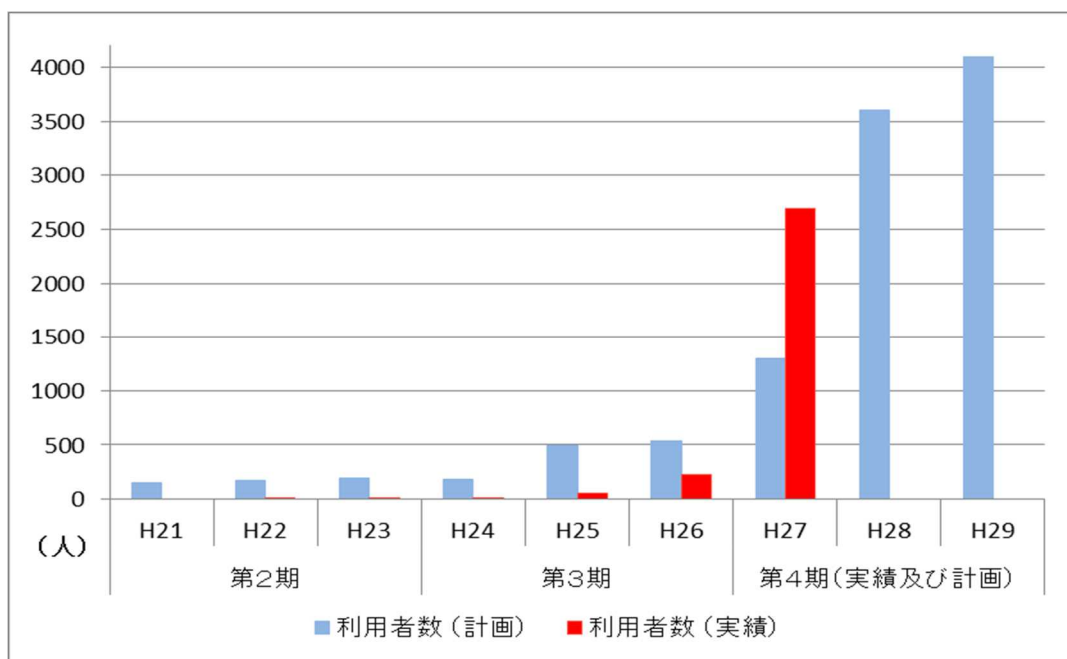
### <実績値等>

平成27年度は暫定的な措置として、区の職員が主導して作成した自治体代替プランも実績に加えたため、大きく実績値が伸びました。

平成28年度以降は区の職員が関与するプランの作成は認められなくなったため、相談支援専門員が作成するプランと障がい者自身が作成するセルフプランの2種類のみになりましたが、平成28年度末でほぼ全員のプランの作成が終了したため、今後の利用者数の伸びは、障がい福祉サービスを新規に利用する方のみの、数パーセントとなるものと予想されます。

項目	第2期			第3期			第4期(実績及び計画)			
	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	
利用者数 (人)	計画	154	177	199	183	498	537	1,300	3,600	4,100
	実績	0	1	3	12	60	228	2693		

【注】この表の数値は毎年度3月末時点のプラン作成者数です。



## 9 地域移行支援事業

### <概要>

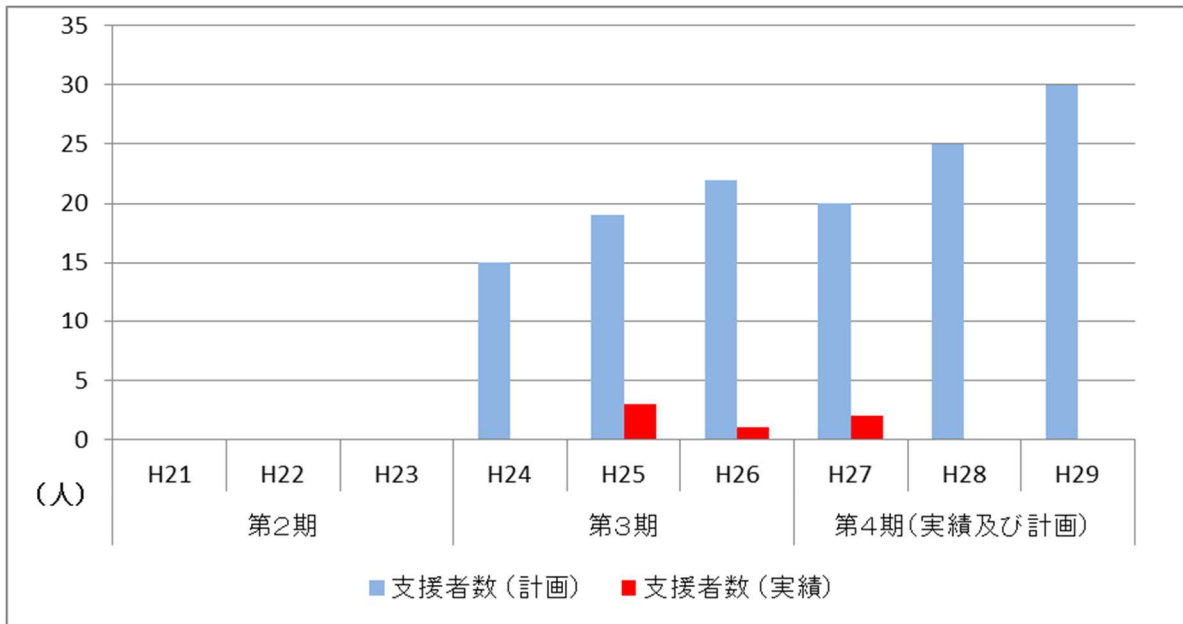
障害者支援施設に入所している身体・知的障がい者、精神科病院または病床に入院している精神障がい者の地域移行を進めるための相談支援事業。

### <実績値等>

24時間入所型の施設や精神病院からの地域移行が進まず、利用は低調となっています。

項目		第2期			第3期			第4期(実績及び計画)		
		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
支援者数 (人)	計画	設定設定無し (実績未集計)			15	19	22	20	25	30
	実績				0	3	1	2		

【注】この表の数値は毎年度3月1ヵ月分の数値です。



## 10 地域定着支援事業

### <概要>

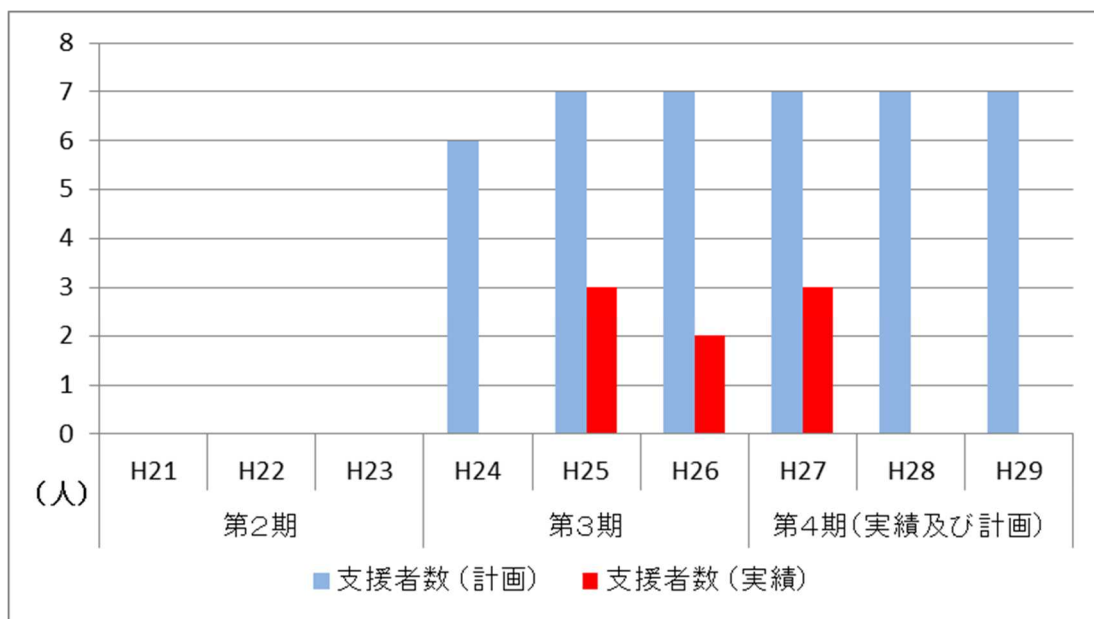
障害者支援施設に入所している身体・知的障がい者や、精神科病院または病床に入院している精神障がい者が一人暮らしに移行して、地域における定着した生活を支援する事業。

### <実績値等>

本事業の前提となる地域移行自体が進んでいないため、本事業も目標値を下回る利用となっている。

項目		第2期			第3期			第4期(実績及び計画)		
		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
支援者数 (人)	計画	計画設定無し (実績未集計)			6	7	7	7	7	7
	実績	計画設定無し (実績未集計)			0	3	2	3		

【注】 この表の数値は毎年度3月1ヵ月分の数値です。



## 第2章 地域生活支援事業

### 1 相談支援事業

<概要>

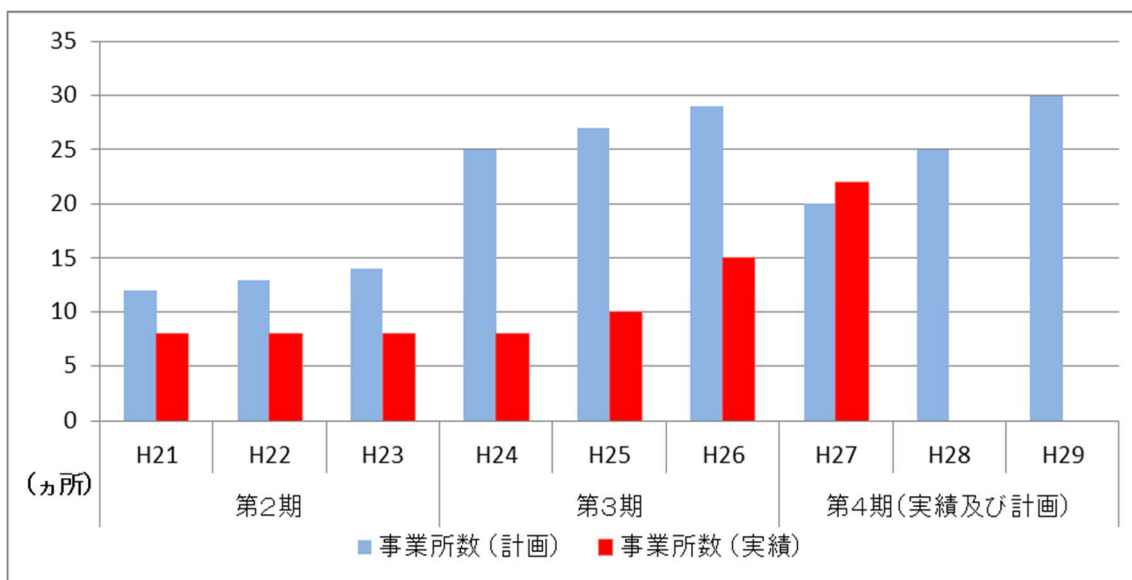
障がい者（児）の福祉に関する問題について、本人やその家族からの相談に応じ、必要な情報の提供を行う事業。

<実績値等>

相談支援専門員の育成とともに、事業所数も伸びています。

計画数値を上回る実績値ではありますが、全ての障がい者（児）の適切かつ効果的なサービス利用につなげるプランを相談支援専門員が作成するために必要な相談支援事業所数としては、現時点では20事業所ほど不足している状況です。

項目		第2期			第3期			第4期(実績及び計画)		
		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
事業所数 (カ所)	計画	12	13	14	25	27	29	20	25	30
	実績	8	8	8	8	10	15	22		



## 2 地域自立支援協議会

障がいのある方が、安心して暮らせる地域をつくるため、関係機関の情報の共有、協議会構成員の資質の向上、社会資源の充実、改善、発掘等を検討し、施策提案していくことを目的に、各自治体毎に設置する協議会。足立区は平成21年に設置しました。今後も、障がい福祉に関する地域の諸課題を検討し、同協議会を通じて区内関係機関・関係者のネットワークを強め、障がい者への支援を強化します(数値目標なし)。

## 3 成年後見制度利用支援事業

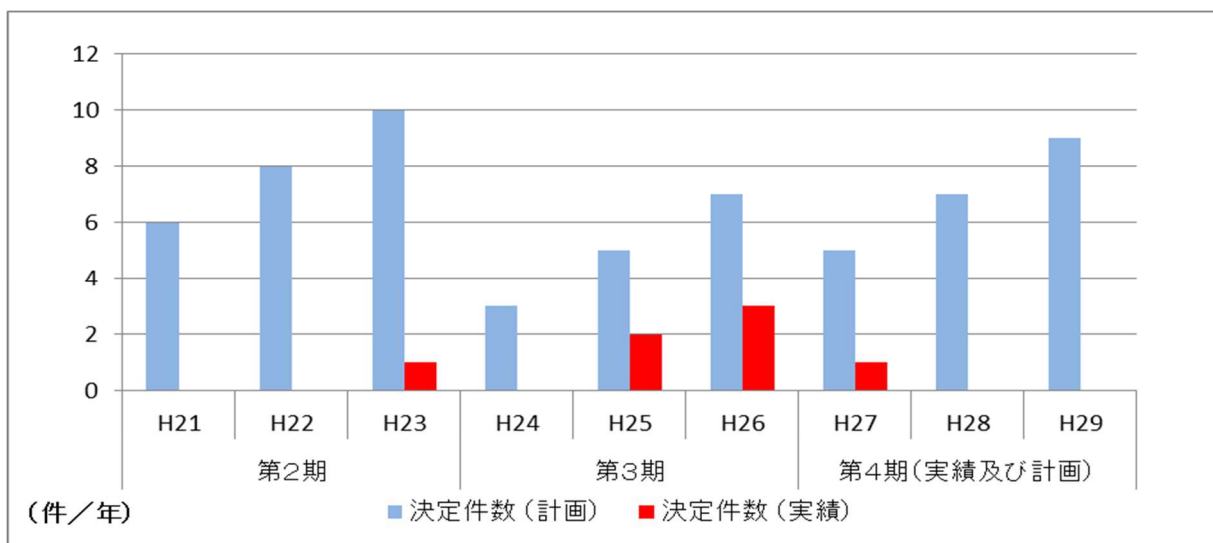
### <概要>

判断能力が不十分な知的障がい者と精神障がい者の意思決定を助け、生活や財産等を守るための制度で、家庭裁判所が選任した後見人等が本人の意思を尊重しながら手続き等を行い、財産等を管理する事業。

### <実績値等>

計画数値自体が小さいものの、毎年計画値を下回っており、様々な事情はありますが、一層の周知・啓発を図る必要があります。

項目		第2期			第3期			第4期(実績及び計画)		
		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
決定件数 (件/年)	計画	6	8	10	3	5	7	5	7	9
	実績	0	0	1	0	2	3	1		



## 4 意思疎通支援事業(手話通訳等の派遣)

### <概要>

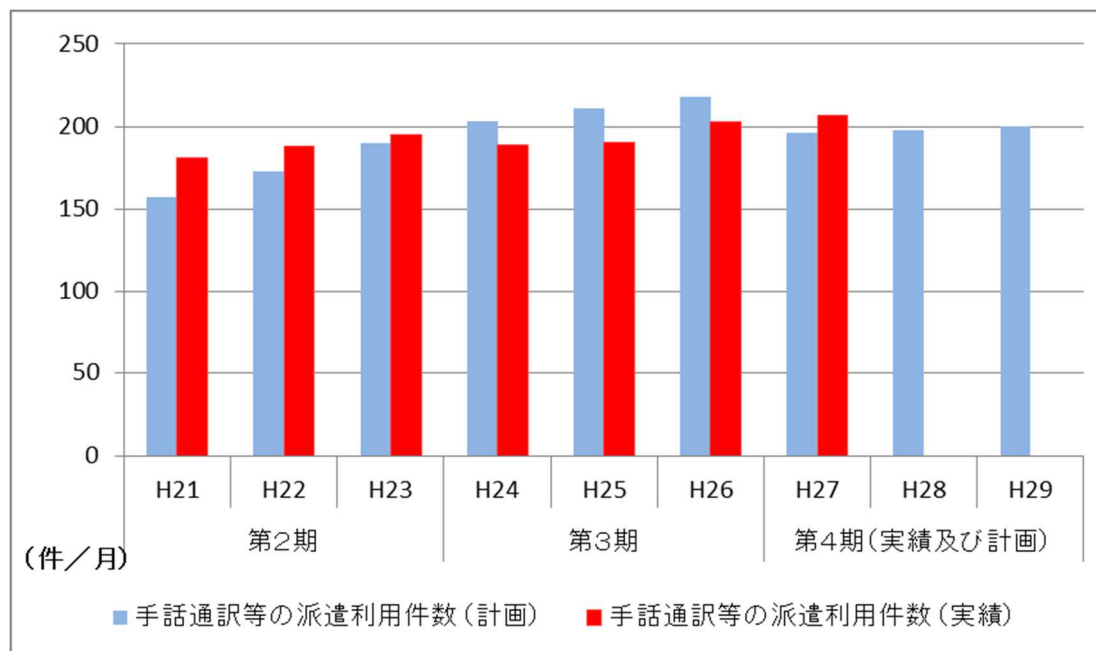
聴覚、言語機能、音声機能等の障がいのため、意思疎通を円滑に行うことが困難な障がい者に対して、手話通訳者や要約筆記者の派遣を行う事業。

### <実績値等>

ほぼ計画どおりの利用件数です。

項目		第2期			第3期			第4期(実績及び計画)		
		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
手話通訳等の派遣利用件数(件/月)	計画	157	173	190	203	211	218	196	198	200
	実績	181	188	195	189	190	203	207		
区役所に配置する手話通訳者数(人)	計画	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	実績	2	2	2	2	2	2	2	2	

【注】この表の実績値は都派遣センターの手話通訳、要約筆記広域派遣とボランティアセンターの手話通訳派遣の年間合計件数の月平均です。





## 5 日常生活用具給付事業

### (1) 介護・訓練支援用具（特殊寝台・特殊マット等）

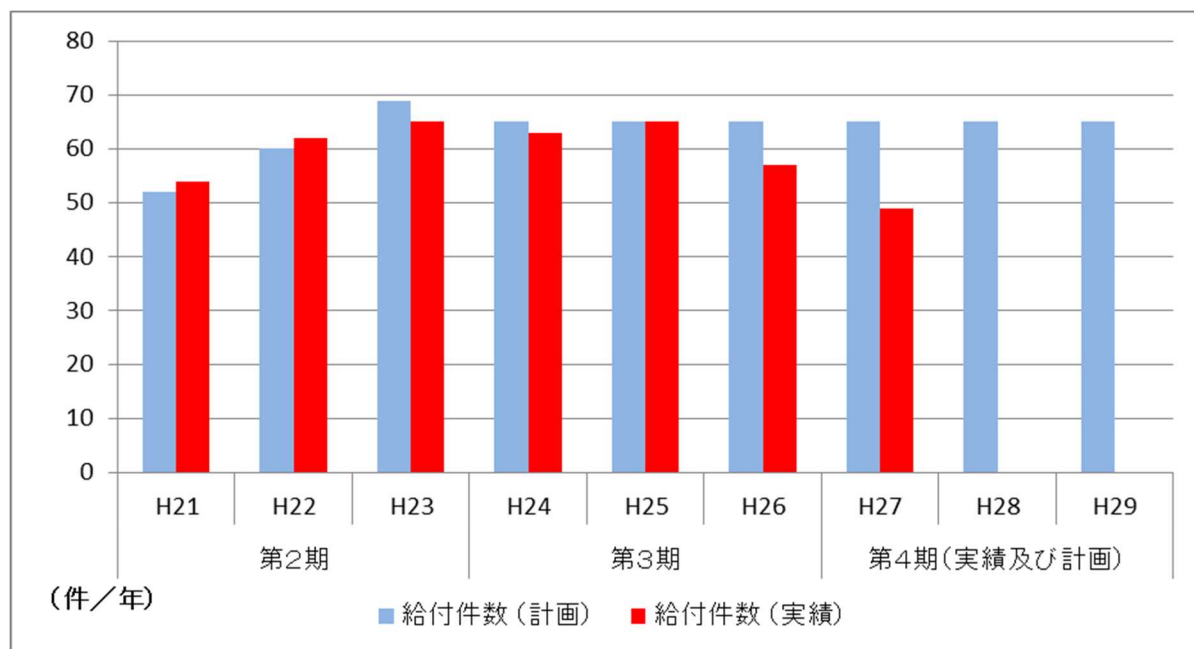
#### <概要>

特殊寝台（介護用ベッド）、特殊マット（介護用マットレス）、移動用リフトなど、介護・訓練に関わる品目を給付する事業。

#### <実績値等>

給付件数が減少している理由として、介護保険制度発足時に比べ、障がい者の高齢化が進み、介護保険制度に基づくサービス利用に移行していることが考えられます。

項目		第2期			第3期			第4期(実績及び計画)		
		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
給付件数 (件/年)	計画	52	60	69	65	65	65	65	65	65
	実績	54	62	65	63	65	57	49		



## （2）自立生活支援用具（入浴補助用具・屋内信号装置等）

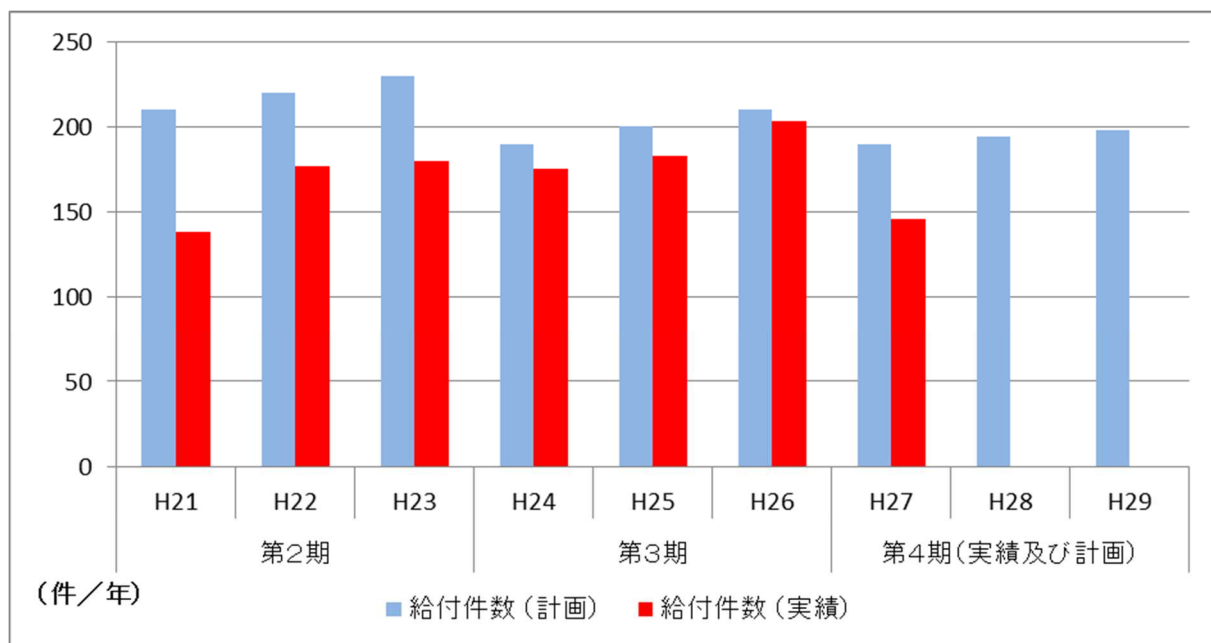
### <概要>

入浴補助用具（シャワーチェア・浴槽台・すのこ等）、歩行支援用具（スロープ・手すり）など、自立生活支援に関わる品目を給付する事業。

### <実績値等>

平成27年度の給付件数が減少しましたが、一時的なものかを平成28年度の給付件数が判明した時点で改めて考察します。

項目		第2期			第3期			第4期(実績及び計画)		
		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
給付件数 (件/年)	計画	210	220	230	190	200	210	190	194	198
	実績	138	177	180	175	183	203	146		



### （3）在宅療養等支援用具（電気式たん吸引器・盲人用体温計等）

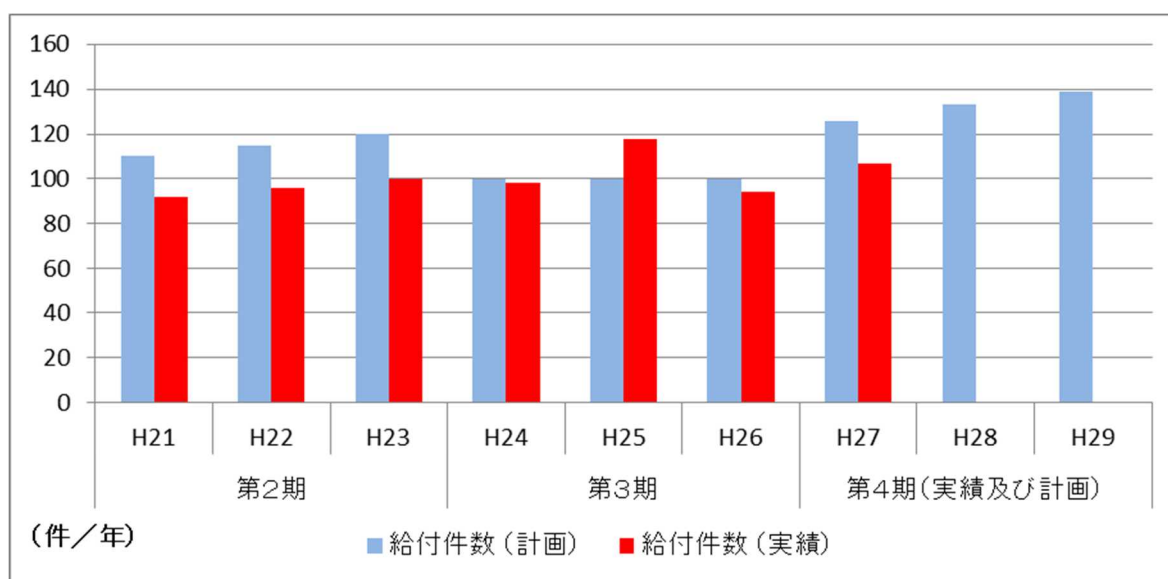
<概要>

電気式たん吸引器、ネブライザー（吸入器）など、在宅での医療的支援に関わる品目を給付する事業。

<実績値等>

医療の進歩による在宅重度身体障がい者の増加により、概ね微増の傾向にあります。

項目		第2期			第3期			第4期(実績及び計画)		
		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
給付件数 (件/年)	計画	110	115	120	100	100	100	126	133	139
	実績	92	96	100	98	118	94	107		



## （4）情報・意思疎通支援用具（ファックス・人工喉頭等）

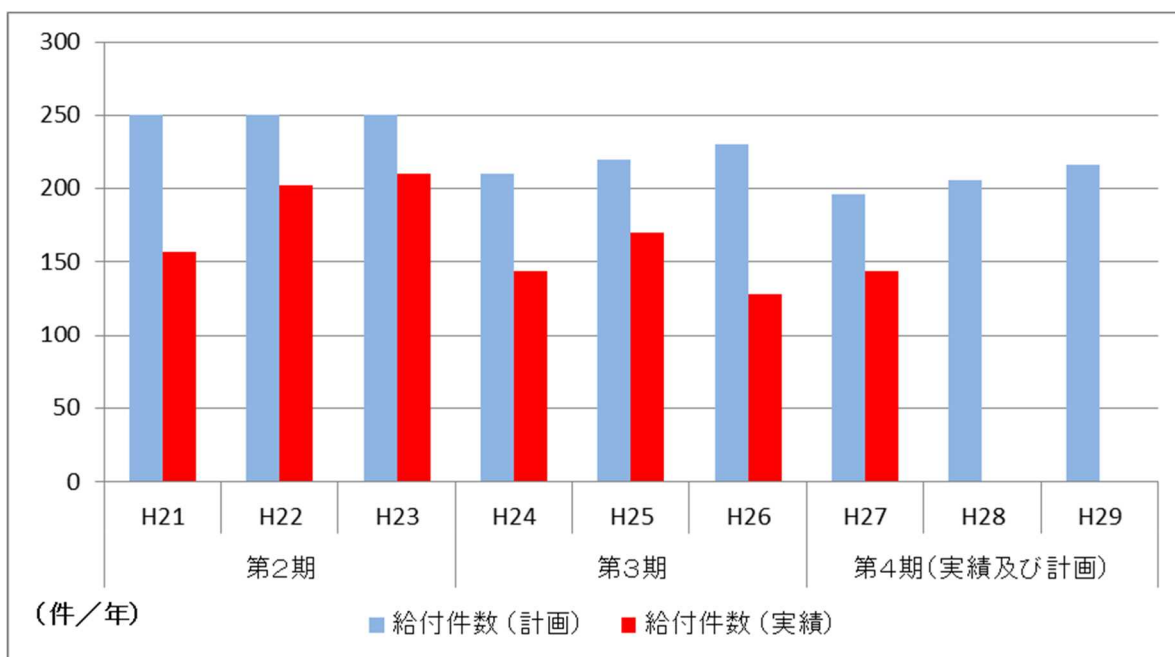
### <概要>

ファックス、ポータブルレコーダー、点字ディスプレイ、人工喉頭など、障がい者の情報収集・伝達等、意思疎通に関わる品目を給付する事業。

### <実績値等>

平成22・23年度を除き、年間140件から170件で推移しています。

項目		第2期			第3期			第4期(実績及び計画)		
		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
給付件数 (件/年)	計画	250	250	250	210	220	230	196	206	216
	実績	157	202	210	144	170	128	144		



## （5）排泄管理支援用具（ストーマ装具等）

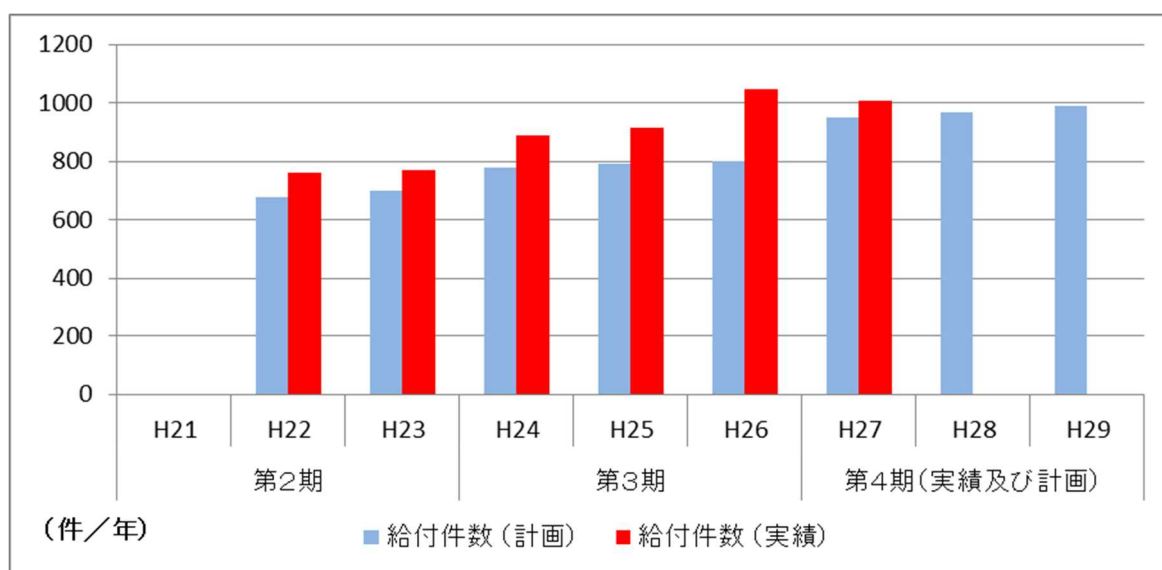
### <概要>

消化器系・尿路系ストーマ装具、紙おむつ等、排泄管理支援に関わる品目を給付する事業。

### <実績値等>

大腸ガン患者の増加に伴い、人工肛門等造設者も増加しており、排泄管理支援用具給付が増加傾向にあります。

項目		第2期			第3期			第4期(実績及び計画)		
		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
給付件数 (件/年)	計画	660	680	700	780	790	800	950	969	988
	実績	793	761	770	890	913	1,049	1,007		



## 6 住宅改修

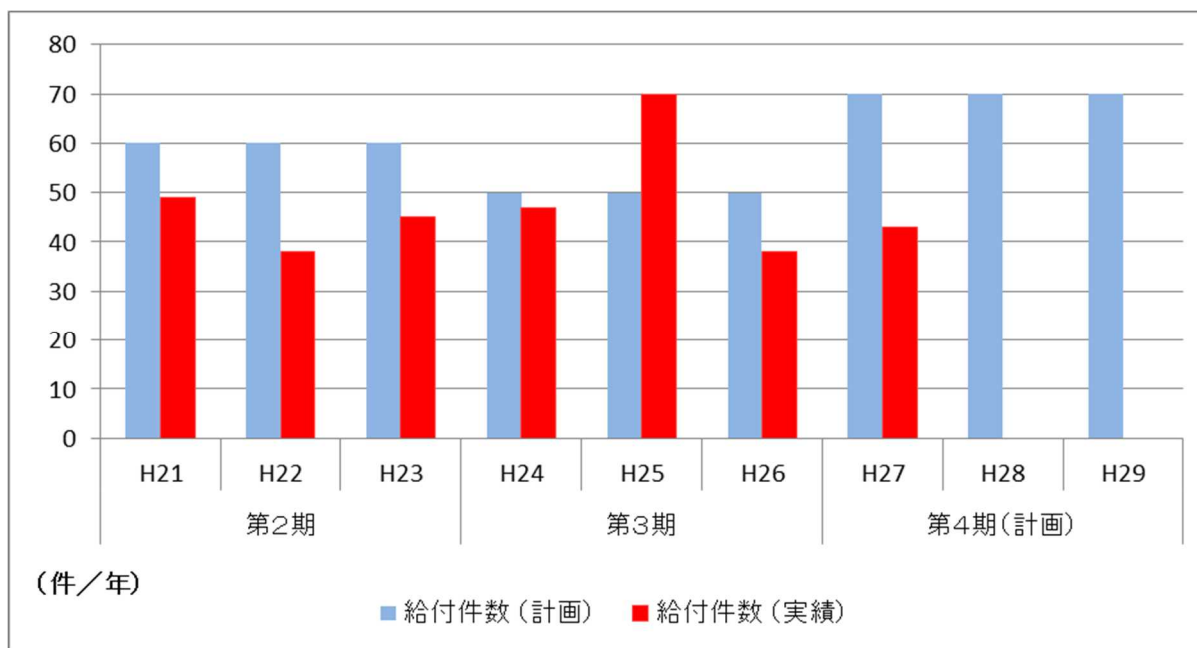
### <概要>

在宅の重度身体障がい者に対して、居住する家屋の段差の解消、手すりの設置等、住宅設備の改善に要する費用を助成することにより、日常生活の利便を図る事業。

### <実績値等>

毎年約 50 件程度の給付実績が続いています。

項目		第2期			第3期			第4期(実績及び計画)		
		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
給付件数 (件/年)	計画	60	60	60	50	50	50	70	70	70
	実績	49	38	45	47	70	38	43		



## 7 移動支援事業（ガイドヘルパーの派遣）

### <概要>

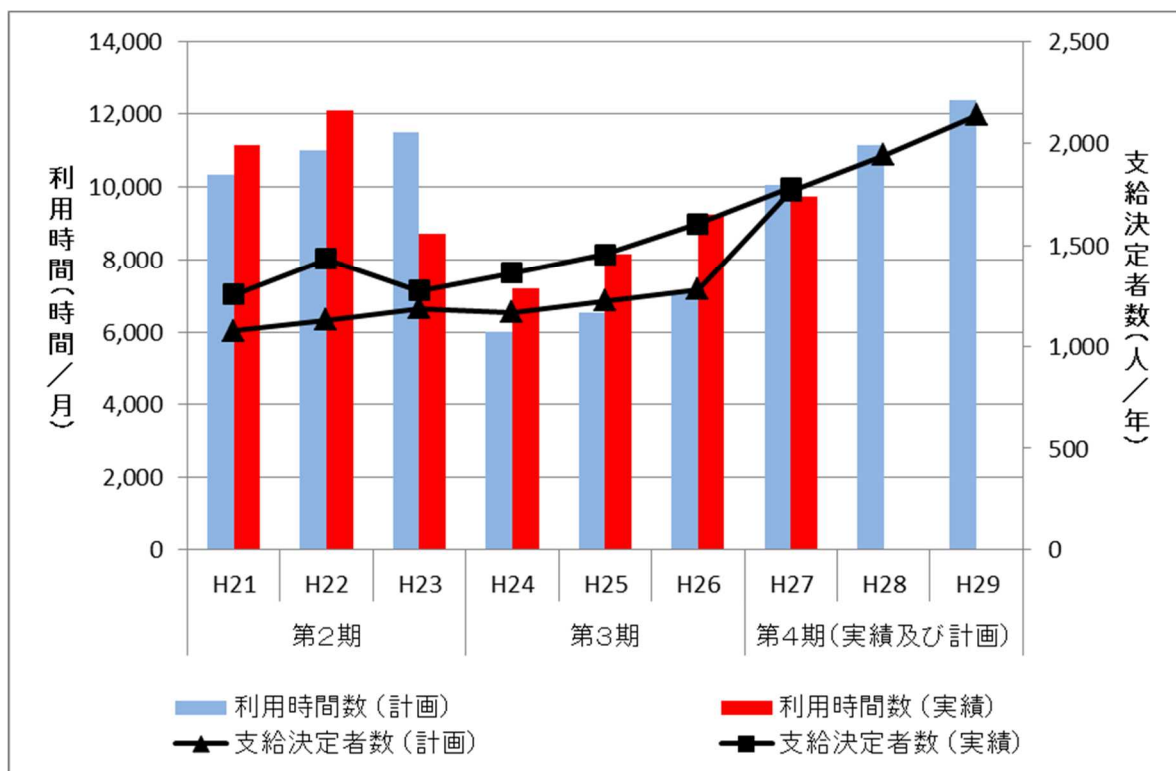
障がい者の外出を支援するガイドヘルパーを派遣する事業。

### <実績値等>

平成23年10月に視覚障がい者のためのガイドヘルプサービスが居宅系サービス（3頁）の「同行援護事業」に移行したため、大幅な利用時間数の減となったものの、その後は障がい者の社会参加機会の増大とともに一貫して増加しています。

項目	第2期			第3期			第4期(実績及び計画)			
	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	
支給決定者数 (人/年)	計画	1,077	1,130	1,187	1,169	1,225	1,281	1,767	1,943	2,138
	実績	1,255	1,434	1,274	1,364	1,456	1,606	1,783		
利用時間数 (時間/月)	計画	10,333	11,000	11,500	5,996	6,536	7,075	10,059	11,165	12,394
	実績	11,142	12,108	8,725	7,213	8,164	9,253	9,751		

【注】この表の支給決定者数は年間、利用時間数は毎年度3月1ヵ月月分の数値です。





## 8 通所バス運行事業

### <概要>

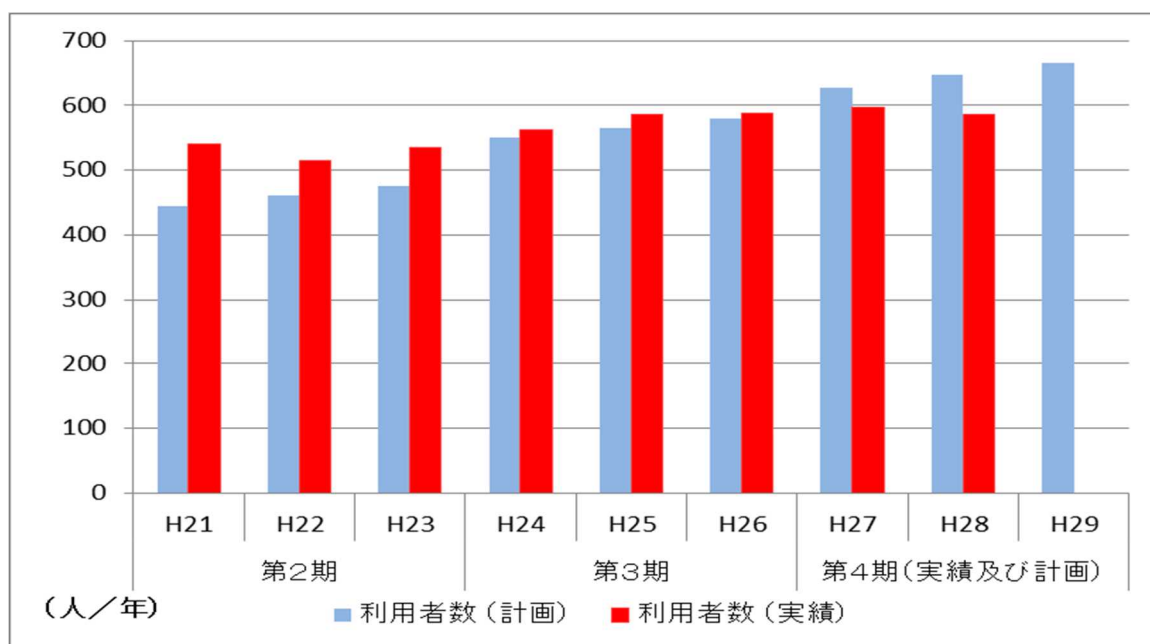
公共交通機関の利用が困難な重度心身障がい者を対象に、居住地から通所施設間の移動手段としてバスを運行する事業。

### <実績値等>

重度心身障がい者施設の整備・開設が進んでいるため、利用者は増加傾向にあります。

項目	第2期			第3期			第4期(実績及び計画)			
	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	
利用者数 (人/年)	計画	445	460	475	550	565	580	628	647	666
	実績	540	514	535	563	586	588	597	586	

【注】 この表の実績値は毎年度4月時点の通所バス利用申込者数です。



## 9 地域活動支援センター

### <概要>

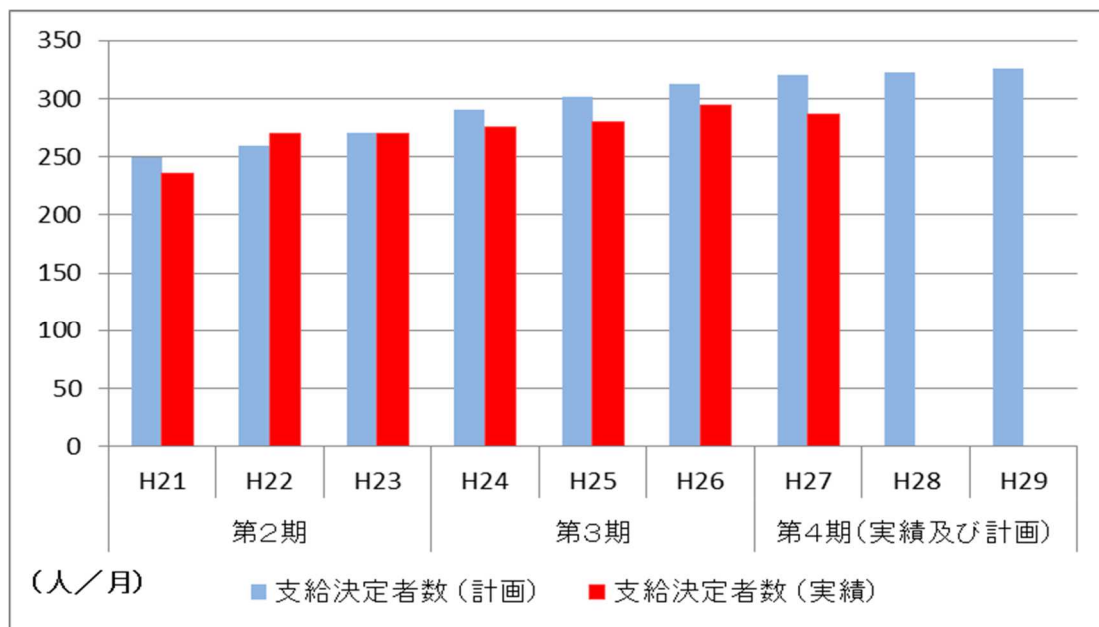
施設において創作的活動や生産活動の機会を提供し、地域との交流等を行う施設に通所する事業。

### <実績値等>

創作的活動を望む障がい者の増加や障がい特性に応じた施設（高次脳機能障害など）への通所を希望する方の増加により、微増傾向が続いている。

項目		第2期			第3期			第4期(実績及び計画)		
		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
支給決定者数 (人/月)	計画	250	260	270	290	301	313	320	323	326
	実績	236	270	270	276	280	294	287		
事業所数 (カ所)	計画	7	7	8	8	8	8	8	8	8
	実績	8	7	7	7	7	8	8		

【注】 この表の数値は毎年度3月1ヵ月分の数値です。



## 10 福祉ホーム事業

### <概要>

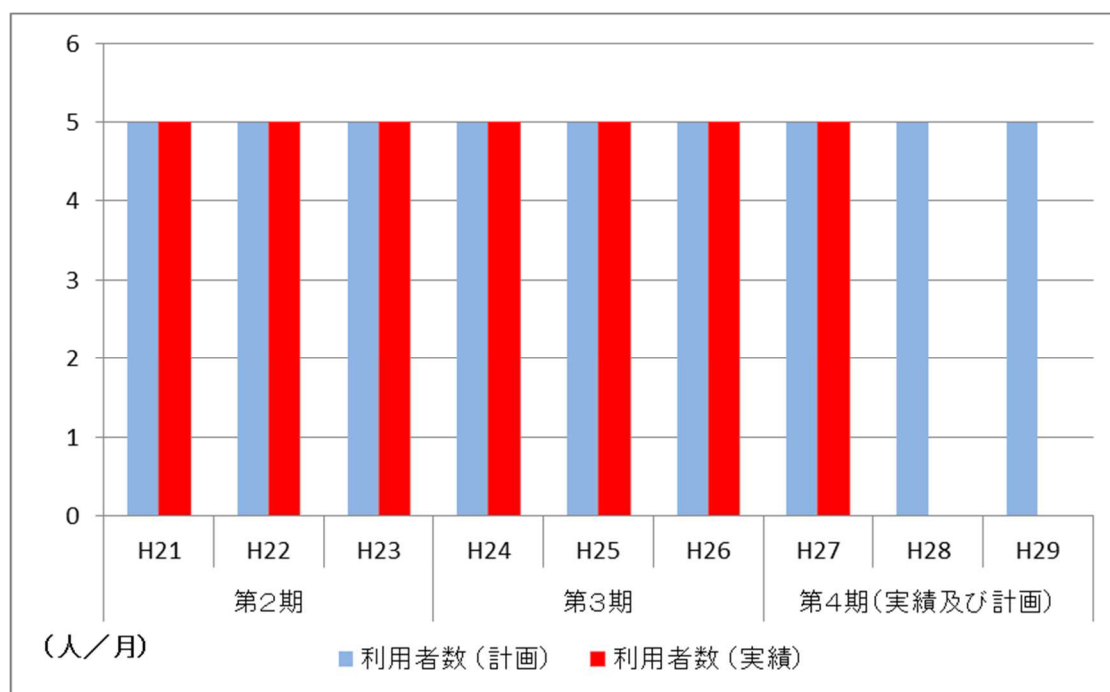
住宅に困窮する重度身体障がい者の地域生活を支えるための、共同住宅的通過型施設への入所事業。

### <実績値等>

平成28年4月に、区内唯一の福祉ホームであった「大谷田ホーム」が、グループホームへ移行したため、平成28年度実績からは「共同生活援助（13頁）」に反映されます。

項目		第2期			第3期			第4期(実績及び計画)		
		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
利用者数 (人/月)	計画	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	実績	5	5	5	5	5	5	5	5	事業移行
事業所数 (カ所)	計画	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	実績	1	1	1	1	1	1	1	1	事業移行

【注】この表の数値は毎年度3月1ヵ月分の数値です。



# 11 巡回入浴事業

## <概要>

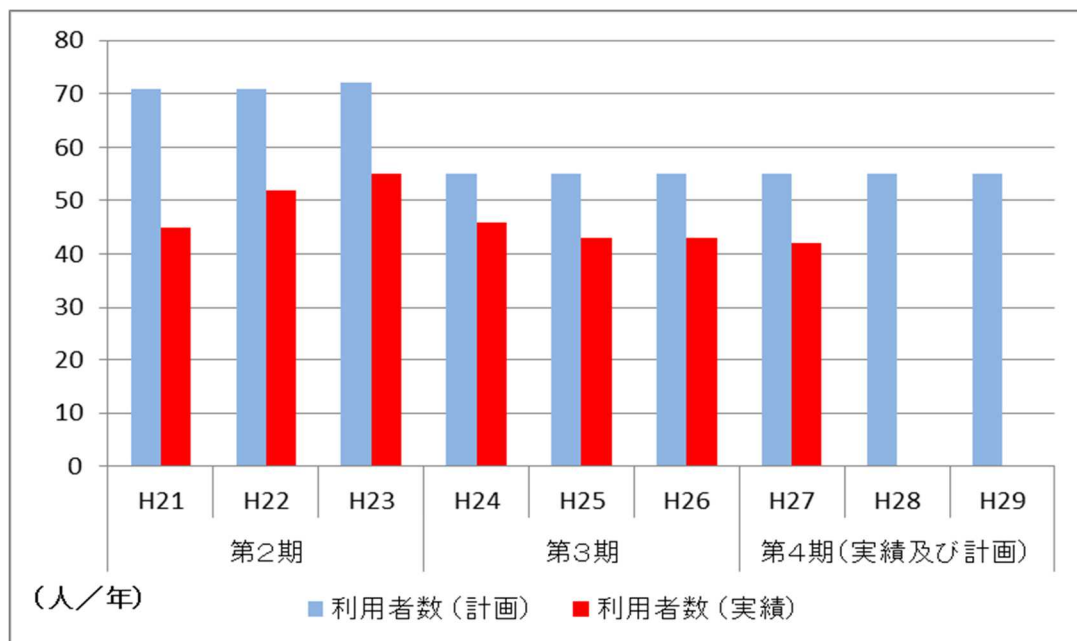
他の方法では入浴が困難な在宅の重度身体障がい者宅に浴槽を持ち込み、入浴サービスを提供する事業。

## <実績値等>

一定の継続利用者がおり、安定した需要があります。

項目		第2期			第3期			第4期(実績及び計画)		
		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
利用者数 (人/年)	計画	71	71	72	55	55	55	55	55	55
	実績	45	52	55	46	43	43	42		

【注】この表は毎年度末までの実利用者数です。



## 12 日中保護

### <概要>

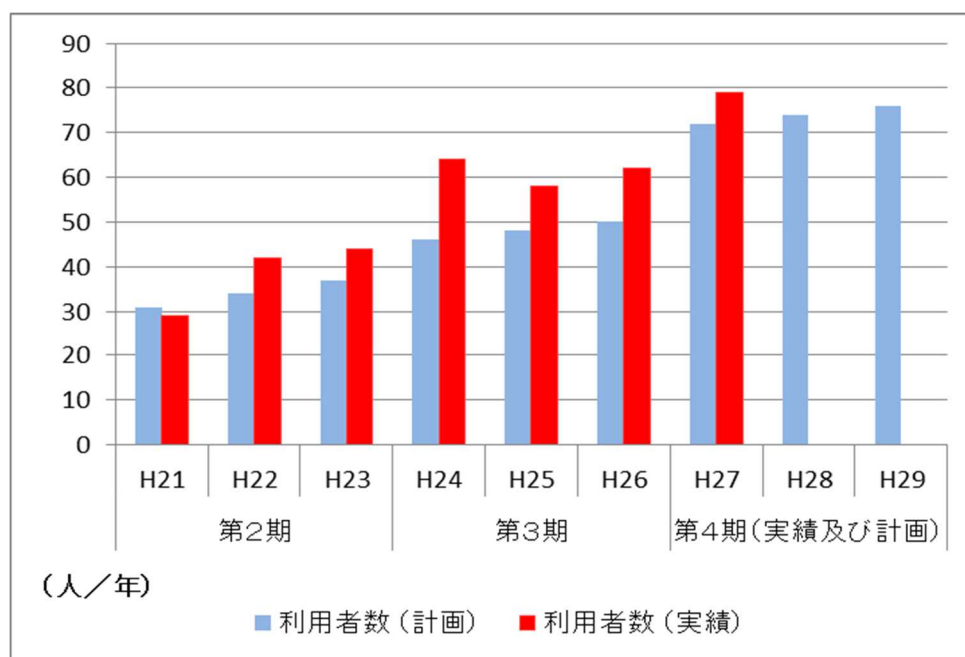
日中に監護者がいないため、一時的に見守り等の支援が必要な障がい者（児）を施設でお預かりし、家族を支援する日帰りショートステイ事業。

### <実績値等>

計画を上回る利用があります。

項目		第2期			第3期			第4期(実績及び計画)		
		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
利用者数 (人/年)	計画	31	34	37	46	48	50	72	74	76
	実績	29	42	44	64	58	62	79		

【注】この表の数値は毎年度の実利用者数です。



# 13 タイムケア

## <概要>

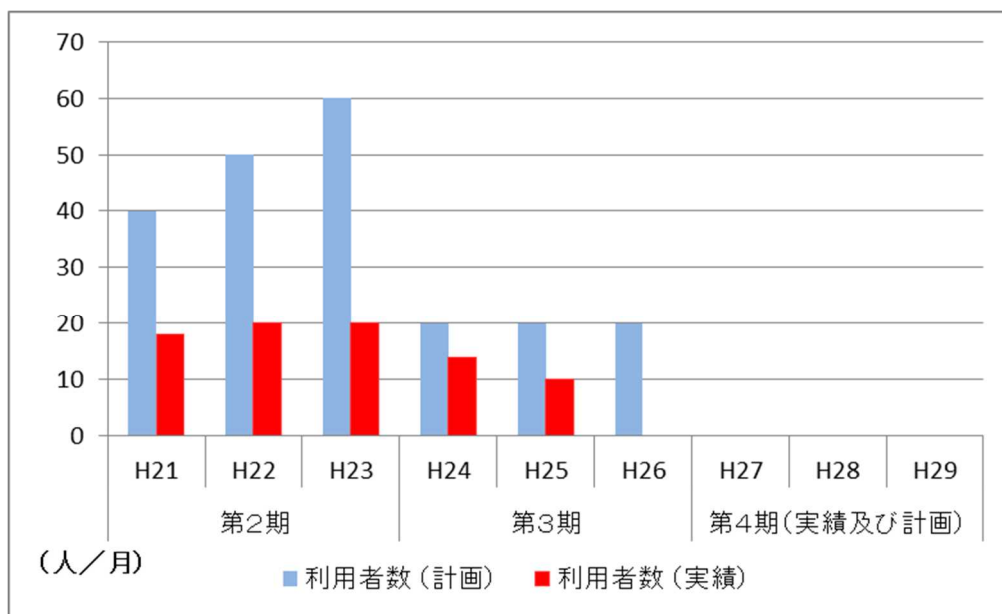
特別支援学校等に就学する小学生から高校生までの障がい児を対象に、放課後や夏休み等の長期休暇中に支援を行うための施設に通所する事業。

## <実績値等>

本事業を行っていた事業所が平成25年4月に放課後等デイサービスに事業移行することになり、移行期間1年を経て、平成26年度末で廃止となりました。

項目		第2期			第3期			第4期(実績及び計画)		
		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
利用者数 (人/月)	計画	40	50	60	20	20	20	0	0	0
	実績	18	20	20	14	10	廃止	-	-	-

【注】 この表の数値は毎年度3月1ヵ月分の数値です。



# 14 更生訓練費

<概要>

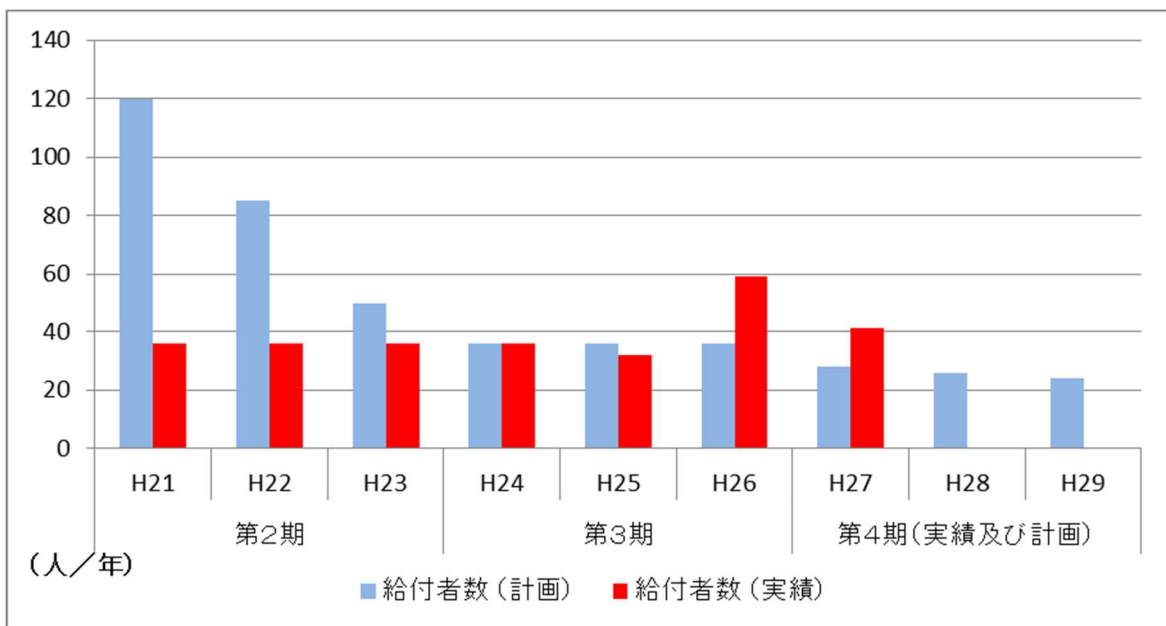
自立訓練事業または就労移行支援事業を利用し、一定の所得要件を満たす障がい者に、訓練を効果的に受けるために必要となる消耗品等の購入経費及び通所のための交通費などの一部を支給する事業。

<実績値等>

法制度が変わり、受給対象が一定の所得を超えない世帯から、生活保護世帯へ縮小され、受給者が平成18年度の125人（第1期障がい福祉計画）から大きく減少しました。平成21年度以降、ほぼ40人以下の利用に留まっており、受給者の増加が見込まれないことから、平成28年度末で廃止としました。

項目		第2期			第3期			第4期(実績及び計画)		
		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
給付者数 (人/年)	計画	120	85	50	36	36	36	28	26	24
	実績	36	36	36	36	32	59	41		廃止

【注】 この表の実績値は年度末時点の実績値です。





# 15 就職支度金

## <概要>

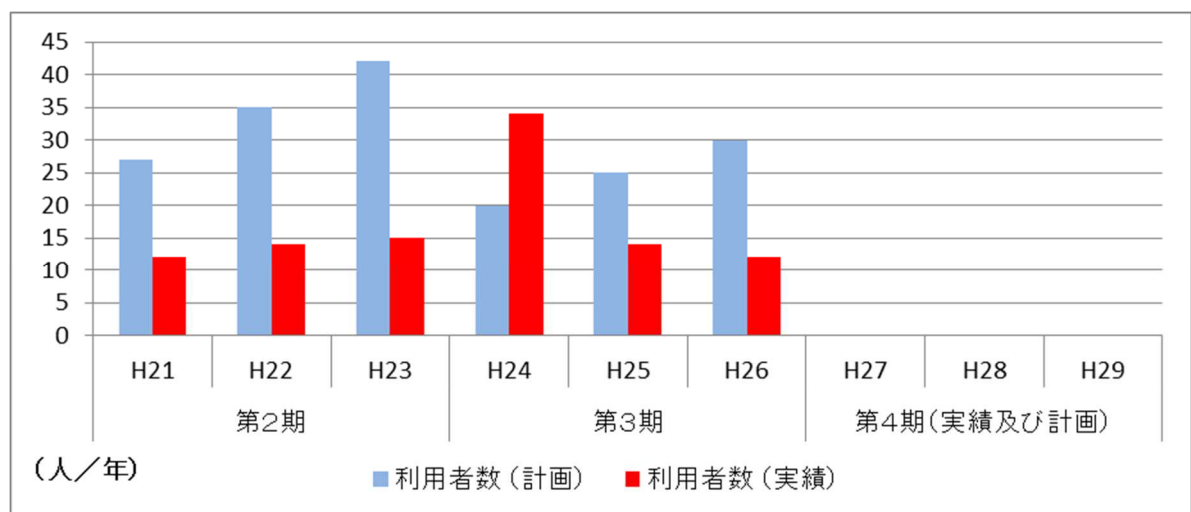
就労移行支援事業または就労継続支援事業による訓練を終了し、就職等により自立することになった際に、就職支度金を支給し、社会復帰の促進を図る事業。

## <実績値等>

就労形態の多様化により、背広の購入が不要となり、利用者が低迷したため、平成26年度末で廃止しました。

項目		第2期			第3期			第4期(実績及び計画)		
		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
実利用者数 (人/年)	計画	27	35	42	20	25	30			
	実績	12	14	15	34	14	12	廃止		

【注】この表の実績値は年度末時点の実績値です。



## 16 自動車運転免許取得費・自動車改造費助成事業

### (1) 自動車運転免許取得費助成事業

<概要>

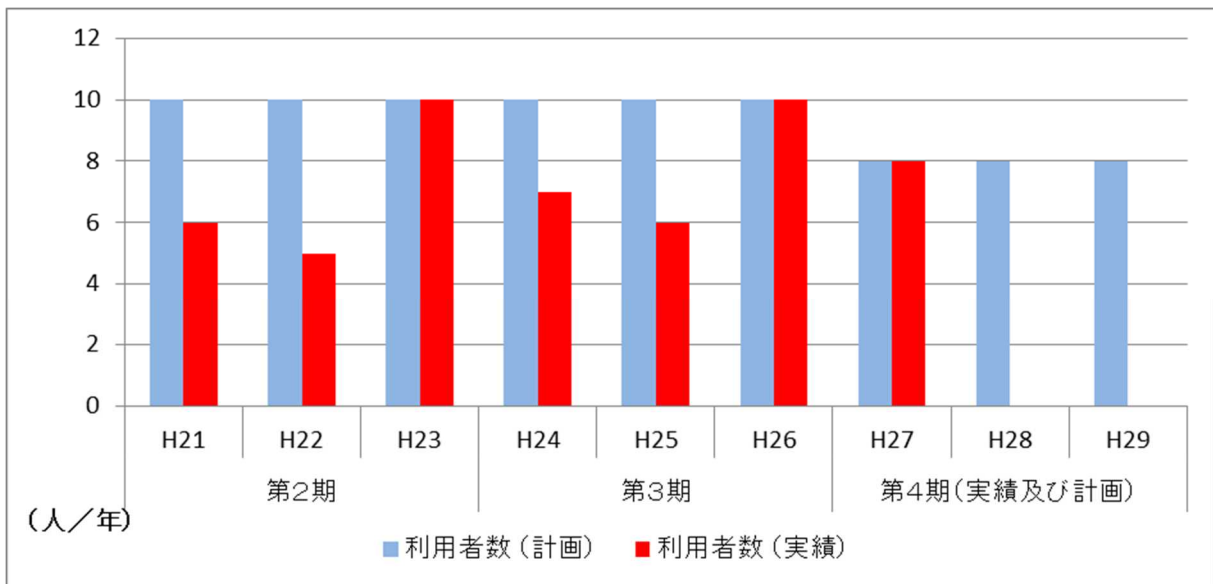
障がい者が自動車運転免許取得時に要する教習費用の一部を助成し、自立活動及び社会参加の促進を図る事業。

<実績値等>

増減はあるものの、毎年一定程度の利用者がいます。

項目		第2期			第3期			第4期(実績及び計画)		
		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
利用者数 (人/年)	計画	10	10	10	10	10	10	8	8	8
	実績	6	5	10	7	6	10	8		

【注】この表の数値は毎年度末までの実利用者数です。



## （2）自動車改造費助成事業

### <概要>

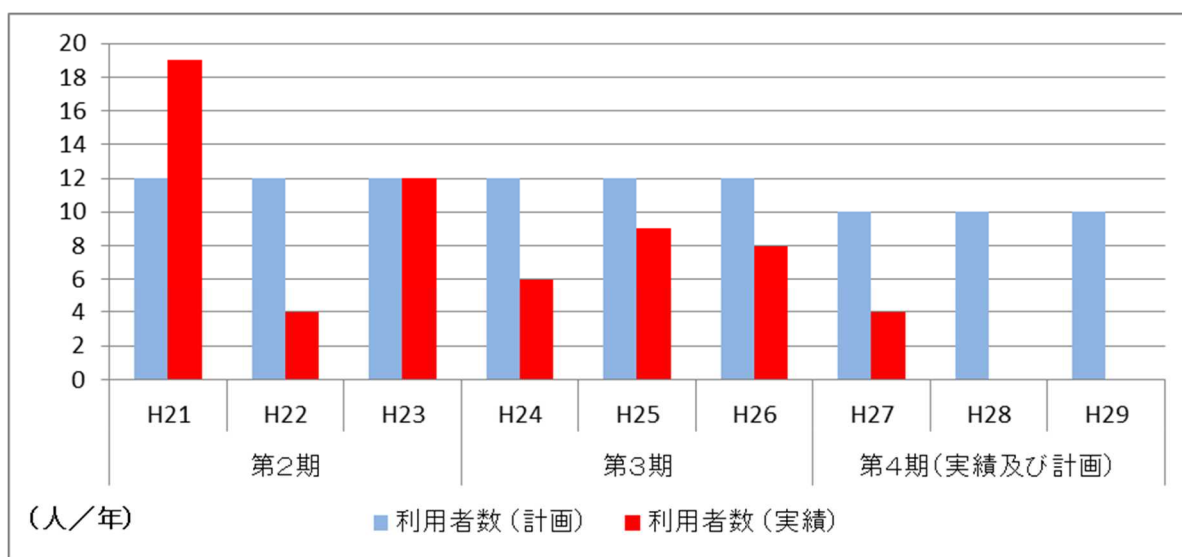
身体障がい者が運転する自動車の改造（ハンドルノブの装着、手動運転装置の設置等）の費用を助成する事業。

### <実績値等>

増減はあるものの、毎年一定の利用者がいます。

項目		第2期			第3期			第4期(実績及び計画)		
		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
利用者数 (人/年)	計画	12	12	12	12	12	12	10	10	10
	実績	19	4	12	6	9	8	4		

【注】この表の数値は毎年度末までの実利用者数です。



# 17 職親委託

<概要>

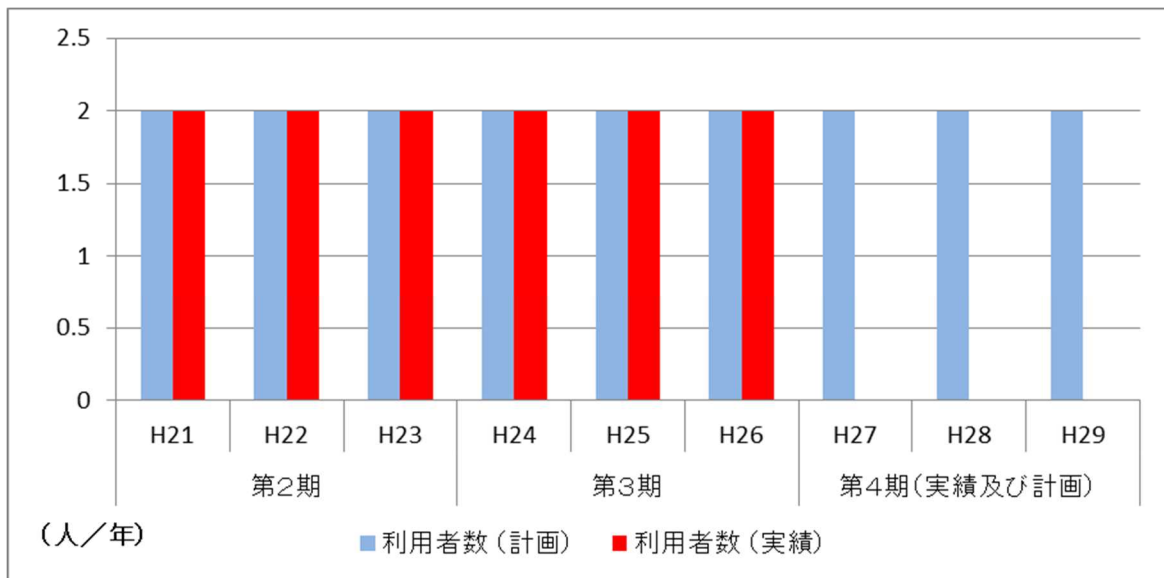
区が委託した職親宅に、知的障がい者が同居もしくは通い、生活指導や技能取得訓練を受ける事業。

<実績値等>

約10年、利用者2名の状態が続いていましたが、障がい者及び職親の加齢等により平成26年度末で全員委託解除となり、利用者がいなくなったため、平成26年度末で事業を廃止しました。

項目		第2期			第3期			第4期(実績及び計画)		
		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
利用者数 (人/年)	計画	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	実績	2	2	2	2	2	2	廃止		

【注】この表の実績値は年度末時点の実績値です。



# 18 手話通訳者養成研修事業

## <概要>

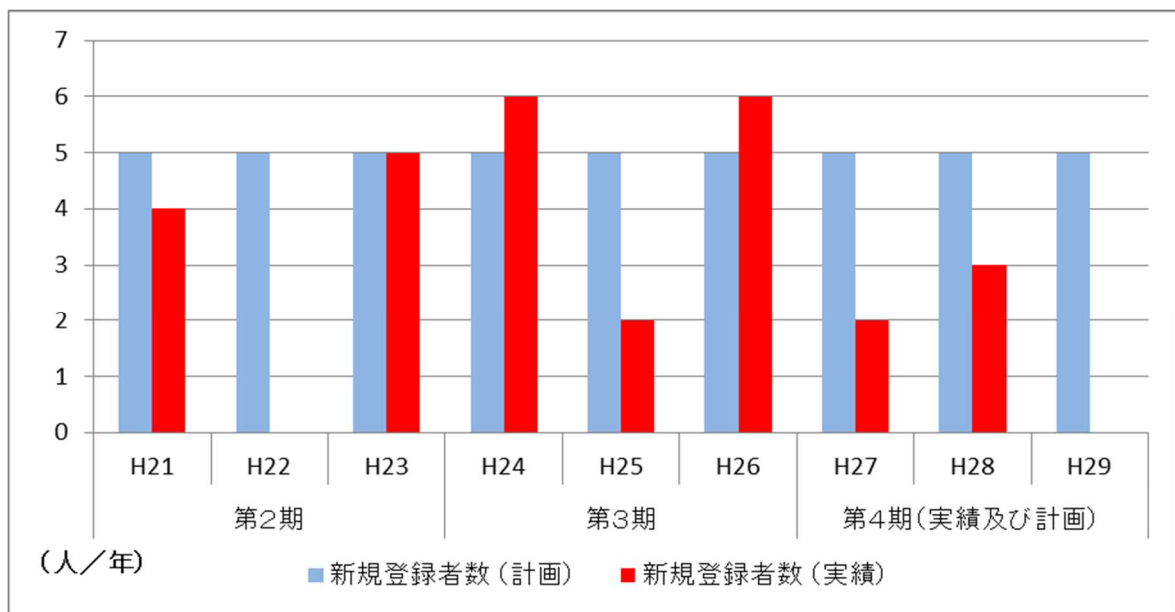
足立区がNPO法人に委託して手話技術の指導を行い、手話通訳者を養成する事業。

## <実績値等>

新たに手話通訳者として登録する人数で、年毎に増減があります。

項目		第2期			第3期			第4期(実績及び計画)		
		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
新規登録者数 (人/年)	計画	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	実績	4	0	5	6	2	6	2	3	

【注】この表の実績値は手話通訳者全国統一試験を合格し、足立区社会福祉協議会手話通訳者として登録した方の人数です。



## 2 主な策定スケジュール

年月	平成29年									平成30年				
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5
全体	現計画 進捗 状況 まとめ		各計画 章立て案 作成		素案 作成			中間 報告案 作成		中間 報告 修正案 作成	計画案 作成	原稿 完成	原稿 完成 印刷 製本	完成
障害者団体等		← ヒアリング実施 →												
区議会 (厚生委員会)			現計画 進捗報告						中間報告			計画案 報告		完成報告・ 配布
介護保険・障がい福祉専 門部会		現計画 進捗報告				素案 協議		中間案 協議	計画案 協議③					
地域保健福祉 推進協議会				現計画 進捗報告				中間 報告				計画案 承認		
地域自立支援協議会				作成 協議①				作成 協議②				計画案 報告		
国等方針 (都方針の公表は未定)	国指針 公表 予定													
パブリックコメント									12月中旬 ～1月初旬 実施予定					

件名	介護予防・日常生活支援総合事業の実施状況について																					
所管部課	福祉部 地域包括ケアシステム推進担当課																					
内容	<p>平成28年10月1日に開始した介護予防・日常生活支援総合事業の実施状況について以下のとおり報告する。</p> <p>1 1月あたりのサービス利用件数 (平成29年3月分国保連審査件数)</p> <p>原則、新規での利用開始や介護認定を更新する際に、総合事業へ切り替えを行う。</p> <p>(1) 総合事業への移行件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>総件数</th> <th>移行件数</th> <th>移行率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>訪問型サービス</td> <td>2,021件</td> <td>746件</td> <td>36.9%</td> </tr> <tr> <td>通所型サービス</td> <td>2,200件</td> <td>886件</td> <td>40.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 基本チェックリストによる事業対象者数 (平成29年4月1日時点) 34件</p> <p>2 指定した事業所数 (平成29年4月1日時点)</p> <p>平成30年3月末までみなし期間(経過措置期間)を設定している。平成30年4月以降も継続してサービスを提供するためには、指定申請を行う必要がある。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>区内</th> <th>区外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>訪問型サービス</td> <td>75ヶ所 (36.6%)</td> <td>6ヶ所</td> </tr> <tr> <td>通所型サービス</td> <td>41ヶ所 (23.8%)</td> <td>13ヶ所</td> </tr> </tbody> </table>		総件数	移行件数	移行率	訪問型サービス	2,021件	746件	36.9%	通所型サービス	2,200件	886件	40.3%		区内	区外	訪問型サービス	75ヶ所 (36.6%)	6ヶ所	通所型サービス	41ヶ所 (23.8%)	13ヶ所
	総件数	移行件数	移行率																			
訪問型サービス	2,021件	746件	36.9%																			
通所型サービス	2,200件	886件	40.3%																			
	区内	区外																				
訪問型サービス	75ヶ所 (36.6%)	6ヶ所																				
通所型サービス	41ヶ所 (23.8%)	13ヶ所																				



第1回「介護保険・障がい福祉専門部会」

平成29年5月17日

件名	足立区孤立ゼロプロジェクト推進活動の実施状況について					
所管部課名	絆づくり担当部 絆づくり担当課					
内容	1 孤立ゼロプロジェクト推進活動開始町会・自治会について (1) 調査開始町会・自治会数【平成29年3月末日現在】					
	全町会・自治会数		調査開始町会・自治会数		実施率/終了率	
	436団体(※1)		435団体(※2)		99.77%	
	調査終了町会・自治会数		408団体		93.58%	
	上記のうち2回目以上調査終了数		173団体		39.68%	
	※1 調査後に休会した5団体を含む ※2 調査後に解散した2団体を除く					
	2 高齢者実態調査実施状況について【平成29年3月末日現在】					
	区分	調査世帯数	孤立なし	孤立のおそれ	入院・不在等	不同意
	70歳以上 単身世帯	29,557世帯	21,324世帯	3,543世帯 13.48%	3,266世帯	1,424世帯 5.42%
	75歳以上 のみ世帯	8,159世帯 (16,271人)	6,530世帯 (13,060人)	1,078世帯 (2,156人) 13.53%	192世帯 (384人)	359世帯 (718人) 4.51%
合計	37,716世帯 (45,828人)	27,854世帯 (34,337人)	4,621世帯 (5,699人) 13.49%	3,458世帯 (3,650人)	1,783世帯 (2,142人) 5.20%	
3 調査世帯のその後の対応について【平成29年3月末日現在】 (1) 支援につながった方：2,493世帯(下記太枠内)						
	地域包括支援センター により状況確認中	孤立状態で ないと判断	絆のあんしん 協力員の訪問	地域包括支援 センターによる支援	介護保険 サービス等開始	
孤立のおそれ 4,621世帯	569世帯 (12.3%)	2,712世帯 (58.7%)	96世帯 (2.1%)	670世帯 (14.5%)	574世帯 (12.4%)	
入院・不在等 3,458世帯	729世帯 (21.1%)	2,091世帯 (60.5%)	13世帯 (0.4%)	337世帯 (9.7%)	288世帯 (8.3%)	
不同意 1,783世帯	329世帯 (18.5%)	939世帯 (52.7%)	8世帯 (0.4%)	343世帯 (19.2%)	164世帯 (9.2%)	
合計 9,862世帯	1,627世帯 (16.5%)	5,742世帯 (58.2%)	117世帯 (1.2%)	1,350世帯 (13.7%)	1,026世帯 (10.4%)	
※調査後の転出・死亡等1,212世帯含む						
4 調査結果の共有と自主的見守り活動の支援 調査を実施した町会・自治会に対しては、結果を報告し情報共有を図るとともに、「地域見守り活動支援実施要綱」に基づき、各町会・自治会の自主的な見守り活動を支援していく。						

孤立ゼロプロジェクト推進活動開始町会・自治会一覧【平成29年3月末日現在】

：新規開始町会・自治会

	区民事務所名	町会・自治会名	孤立のおそれのある世帯数			
			1回目	2回目	3回目	合計
1	千住	千住旭町自治会	22			22
2		千住旭町会	準備中			
3		千住東一丁目町会	8			8
4		千住東町町会	14			14
5		千住東二丁目自治会	1			1
6		千住曙町自治会	6			6
7		千住関屋町町会	5			5
8		柳原東町会	準備中			
9		柳原西町会	調査中			
10		柳原南町会	8			8
11		柳原北町会	17			17
12		日ノ出町自治会	19			19
13		日ノ出町団地自治会	15			15
14		千住東町住宅自治会	9			9
15		関屋ステーションハイツ自治会	2			2
16		北千住パークファミリア自治会	5			5
17		グリーンコーポ千寿自治会	8			8
18		シテヌーブ北千住30自治会	0			0
19		千住関屋町自治会	1			1
20		コスモシティ北千住自治会	2			2
21		コーシャハイム北千住自治会（休会中）	0	2		2
22		イニシア千住曙町自治会	0			0
23		千住橋戸町自治会	16			16
24		千住河原町自治会	17	2		19
25		千住仲町会	24			24
26		千住緑町町会	33			33
27		千住宮元町町会	5	1		6
28		千住中居町会	10			10
29		千住龍田町町会	27			27
30		千住桜木町町会	2	1		3
31		千住桜木二丁目町会	16			16
32		リバーサイド桜木自治会	5			5
33		都営桜木町アパート一号棟自治会	3	1		4
34		都営桜木町アパート二号棟自治会	23			23
35		千住桜木一丁目都営アパート自治会	20			20
36		千住一丁目町会	3			3
37		千住二丁目町会	6			6
38		千住三丁目町会	8			8
39		千住四丁目町会	23			23
40		千住五丁目町会	13			13
41		フラッツ北千住自治会	1			1
42		千住大川町東町会	3			3
43		千住大川町西町会	9			9
44		千住大川町南町会	準備中			
45		千住元町町会	14			14
46		千住柳町町会	13			13
47		千住寿町南町会	7			7
48		千住寿町北町会	6	5		11
49		都営千住元町団地一・二号棟自治会	8			8
50		都営千住元町団地三・四号棟自治会	7			7

孤立ゼロプロジェクト推進活動開始町会・自治会一覧【平成29年3月末日現在】

：新規開始町会・自治会

	区民事務所名	町会・自治会名	孤立のおそれのある世帯数			
			1回目	2回目	3回目	合計
51		北千住第二ダイヤモンドマンション自治会	準備中			
52	江北	高野町会	準備中			
53		下沼田町会	32			32
54		江北二丁目住宅自治会	4			4
55		上沼田町会	準備中			
56		都営上沼田アパート東和会	30			30
57		都営上沼田アパートむつみ会	2			2
58		堀之内町会	準備中			
59		西新井本町住宅自治会	6	4		10
60		都営扇二丁目アパート自治会	9	3		12
61		江北一丁目自治会	7	0		7
62		ソフィア西新井自治会	2			2
63		扇町会	0			0
64		扇サンハイツ町会	1	1		2
65		エンゼルハイム江北自治会	0			0
66		江北三丁目自治会	3	2		5
67		江北一丁目第三自治会	13	3		16
68		都営アパート扇10号棟自治会	7			7
69		都営江北四丁目アパート自治会	未実施			
70		江南	小台町会	準備中		
71	宮城町会		16			16
72	宮城第三団地自治会		28	2		30
73	尾久橋スカイハイツ自治会		2			2
74	ラ・セーヌ小台自治会		0			0
75	ライオンズマンション荒川遊園アクアステージ自治会		2			2
76	グランシティレイディアントタワー自治会		0			0
77	新田	新田町会	37	10		47
78		都営新田一丁目アパート自治会	26	8	1	35
79		新田二丁目第二自治会	0	0		0
80		グランスイートハートアイランド自治会	0	0		0
		(新田ハートアイランド地区)	16			16
81	興本	本木東町会	5	3	1	9
82		本木西町会	12	3	1	16
83		本木北町みのり町会	9	0	1	10
84		本木南町会	13	2	2	17
85		本木三丁目北町会	5	1	2	8
86		扇一丁目寺地明和会	6	0	3	9
87		扇一丁目親友町会	7	0	2	9
88		扇一丁目協和会	5	0	1	6
89		扇一丁目親栄町会	1	0	0	1
90		扇一丁目北町会	2	1	1	4
91		扇南町会	2	3	6	11
92		扇三丁目町会	10	4		14
93		興野町会	22	7	4	33
94		都営扇三丁目アパート自治会	5	1	1	7
95		扇一丁目第三団地自治会	8	4	0	12
96		扇一丁目親睦自治会	12	0	3	15
97		都営扇一丁目第二アパート自治会	3	0	1	4
98		堀中	本木一丁目町会	13	9	
99	本木一丁目中町会		7	3		10

孤立ゼロプロジェクト推進活動開始町会・自治会一覧【平成29年3月末日現在】

：新規開始町会・自治会

	区民事務所名	町会・自治会名	孤立のおそれのある世帯数			
			1回目	2回目	3回目	合計
100	梅田	本木一丁目南町会	11			11
101		関原二丁目南町会	5	5		10
102		関原三丁目東町会	22	3		25
103		中曽根町会	18	2		20
104		関原二丁目町会	12			12
105		関原三丁目町会	25			25
106		梅田東町自治会	25	3		28
107		梅田通町会	16	10		26
108		梅田神明町自治会	14	8		22
109		梅田本町自治会	22	4		26
110		梅田上町自治会	16	0		16
111		梅田稲荷町会	17			17
112		梅田正和町会	17			17
113		梅田亀田町会	7	1		8
114		梅田団地自治会	22	1		23
115		コープ野村梅島自治会	6	0		6
116		マーシャンハイツ梅島自治会	3	0		3
117		梅島グリーンマンション自治会	0	0		0
118		朝日プラザ梅田自治会	1	2		3
119		梅島ビューハイツ自治会	3	0	0	3
120		プラウドシティ梅島自治会	0	0		0
121	リライズガーデン西新井自治会	0	2		2	
122	中央本町	足立高砂町会	24	14		38
123		五反野西町会	23	13		36
124		足立東町会	9	5		14
125		足立日吉町会	7	7		14
126		足立四丁目町会	8	2		10
127		八千代自治会	33	4		37
128		中央本町若松町会	14	2		16
129		中央本町自治会	10			10
130		都営梅田三丁目アパート自治会	1	1		2
131		島根町会	99			99
132		梅島町会	50			50
133		梅島栄町会	2			2
134		中央本町弥生町会	5			5
135		中央本町弥生自治会	11			11
136		梅島二丁目東町会	6			6
137		中央本町一丁目町会	0			0
138		中央本町栄町会	5			5
139		島根第二都住自治会	5			5
140		島根四丁目住宅自治会	3			3
141		島根四丁目第三自治会	5			5
142		島根六月自治会	6			6
		梅島ハイタウン自治会（解散）	1			1
143		ザ・ウィンベル中央公園自治会	1			1
144		綾瀬西町会	15			15
145		西綾瀬三丁目自治会	12			12
146		西綾瀬町会	29	18		47
147		西綾瀬四丁目自治会	0			0
148		西綾瀬三丁目第二自治会	6			6

孤立ゼロプロジェクト推進活動開始町会・自治会一覧【平成29年3月末日現在】

：新規開始町会・自治会

	区民事務所名	町会・自治会名	孤立のおそれのある世帯数			
			1回目	2回目	3回目	合計
149		弘道一丁目町会	19			19
150		弘道一丁目第二自治会	3			3
151		弘道一丁目第4自治会	3			3
152	中央本町	弘道二丁目町会	11			11
153		弘道二丁目中央自治会	17			17
154		青井二丁目町会	17			17
155		弘道二丁目梅の自治会	17			17
156		弘道第三団地自治会	2			2
157		弘道一丁目自治会	0			0
158		弘道二丁目五月自治会	0			0
159		五反野第2スカイハイツ自治会	1			1
160		弘道一丁目第5自治会	3			3
161		青井二丁目二ツ家町会	4			4
162		青井三丁目町会	9			9
163		青井兵和町会	0			0
164		青井第一自治会	8			8
165		青井一丁目町会	8	4		12
166		青井四丁目二ツ家本町会	2			2
167		青井四丁目住宅自治会	0			0
168		青井四丁目第六住宅自治会	1			1
169		青井四丁目第三自治会	3			3
170		青井五丁目西町会	準備中			
171		西加平町会	準備中			
172		青井六丁目町会	14			14
173		中央本町三丁目町会	11			11
174		中央本町四丁目町会	準備中			
175		中央本町五丁目町会	7			7
176		中央本町五丁目住宅親交会	6			6
177		中央本町四丁目団地自治会	14			14
178		青井五丁目供給公社自治会	2			2
179		五反野スカイハイツ自治会	4			4
180		青井五丁目睦自治会	1			1
181		青井六丁目アパート自治会	2			2
182	青井三丁目中央自治会	14			14	
183	日商岩井綾瀬マンション自治会	7			7	
184	青井三丁目東自治会	2			2	
185	都営青井二丁目住宅自治会	0			0	
186	青井四丁目緑会	2			2	
187	ダイアパレス綾瀬自治会	1			1	
188	青井四丁目第四自治会	0			0	
189	青井四丁目第五自治会	2			2	
190	グリーンパーク第5綾瀬自治会	1			1	
191	ビューネ北綾瀬自治会	準備中				
192	五反野第3スカイハイツ自治会	4			4	
193	五反野住宅自治会	2			2	
194	東綾瀬	綾瀬自治会	24			24
195		東和一丁目自治会	12			12
196		綾瀬東町会	22	8		30
197		普賢寺自治会	26	5		31
198		蒲原自治会	17	6		23

孤立ゼロプロジェクト推進活動開始町会・自治会一覧【平成29年3月末日現在】

：新規開始町会・自治会

	区民事務所名	町会・自治会名	孤立のおそれのある世帯数			
			1回目	2回目	3回目	合計
199		上谷中町自治会	9			9
200		下谷中町自治会	12			12
201		普賢寺住宅自治会	9			9
202		東淵江自治会	18	4		22
203	東綾瀬	蒲谷自治会	22			22
204		綾瀬七丁目団地自治会	10	1		11
205		パークタウン東綾瀬自治会	10	6		16
206		東綾瀬自治会	28			28
207		綾瀬五・六丁目自治会	5	11		16
208		綾瀬三丁目自治会	5			5
209		トーキョーガーデンズスイート自治会	1			1
210	中川	大谷田東自治会	25			25
211		隅田自治会	24	2		26
212		長門南部町会	12			12
213		長門東部自治会	10			10
214		長門北部自治会	1			1
215		長門西町会	9	5		14
216		大谷田二丁目自治会	12	0		12
217		東和二丁目自治会	26	2		28
218		東和二丁目西自治会	10			10
219		東和四丁目自治会	7			7
220		東和四丁目南部自治会	7			7
221		東和四丁目第三団地自治会（休会中）	0			0
222		ファミリー亀有老番館自治会	0			0
223		ファミリー亀有式番館自治会	0			0
224		LM綾瀬谷中公園自治会	1			1
225		ザ・レジデンス東京イースト中川自治会	1			1
226		東和四丁目第二アパート自治会	0			0
227		佐野	大谷田上自治会	16		
228	大谷田西部自治会		41	6		47
229	佐野一丁目町会					準備中
230	大谷田一丁目団地自治会		16			16
231	六木一丁目町会		5			5
232	六木二丁目町会		2			2
233	六木団地自治会		43	12		55
234	谷中北町会		16			16
235	佐野二丁目北町会					準備中
236	佐野二丁目南町会		8			8
237	ボナハイツ中川自治会					準備中
238	大谷田五丁目町会		22			22
239	中川ビューハイツ自治会		0			0
240	ライオンズプラザ北綾瀬自治会		0	1		1
241	都営大谷田自治会		1	0		1
242	神明上町会		2			2
243	神明東町会		7			7
244	神明仲町会		14			14
245	加平町会		26	6		32
246	北加平町会		13			13
247	六木三丁目町会	7			7	
248	六木四丁目町会	4	0		4	

孤立ゼロプロジェクト推進活動開始町会・自治会一覧【平成29年3月末日現在】

：新規開始町会・自治会

	区民事務所名	町会・自治会名	孤立のおそれのある世帯数			
			1回目	2回目	3回目	合計
249		辰沼町会	8			8
250		辰沼第二自治会	8	0		8
251		辰沼団地自治会	20	4		24
252		シャルム綾瀬自治会	2	1		3
253		六木三丁目自治会	4	1		5
254	佐野	神明南町会	14	7		21
255		ライオンズガーデン辰沼自治会	0			0
256		神明2丁目自治会	1			1
257	保塚	南花畑下沼町会	6	1		7
258		榎戸町会	4	2		6
259		堺田町会	2	0		2
260		花保町会	17			17
261		内匠本町町会	1	0		1
262		花畑第三団地自治会	41			41
263		花保親交町会	6	1		7
264		東保木間一丁目都住自治会	6	1		7
265		平野町会	9			9
266		平野竹親町会	6	0		6
267		六町町会	4	1		5
268		六町三丁目町会	4	5		9
269		保塚町町会	9	3		12
270		一ツ家一丁目町会	14	0		14
271		一ツ家二丁目町会	5	3		8
272		一ツ家三丁目町会	14	2		16
273		一ツ家四丁目町会	2	0		2
274		六町二丁目町会	3	3		6
275		平野一丁目団地自治会	5	0		5
276		都住平野三丁目団地自治会	5	3		8
277		東栗原団地自治会	39	16		55
278		平野三丁目18番地自治会	3	1		4
279		花畑	鷺宿町会	8	0	
280	外ヶ原町会		6			6
281	仲組三丁目町会		7			7
282	堤根町会		8	6		14
283	前通り町会		6			6
284	花畑四丁目都住自治会		0			0
285	花畑団地自治会		39	12		51
286	保木間第五団地自治会		21	12		33
287	都営花畑アパート自治会		2	1		3
288	花畑第五都住自治会		1	0		1
289	花畑第六都住自治会		0	3		3
290	会組町会		1			1
291	桑袋団地自治会		27	15		42
292	花畑西町会（休会中）		1			1
293	保木間五丁目自治会		3	2		5
294	南花畑自治会		0	0		0
295	南花畑第二自治会		0			0
296	保木間11自治会		3			3
297	エステート花畑自治会		0			0
298	仲組四丁目町会		3	1		4

孤立ゼロプロジェクト推進活動開始町会・自治会一覧【平成29年3月末日現在】

：新規開始町会・自治会

	区民事務所名	町会・自治会名	孤立のおそれのある世帯数			
			1回目	2回目	3回目	合計
299		花畑八丁目団地自治会	0			0
300		ベルドゥムール竹の塚自治会	0			0
301	竹の塚	水神町会	調査中			
302		西保木間二丁目町会	7	2		9
303		原町会	8			8
304		名地共和会	2	2		4
305	竹の塚	名地町会	6			6
306		在家町会	15			15
307		前保木間親睦町会	10			10
308		三の輪町会	5			5
309		若宮自治会	18	9	2	29
310		南保木間町会	17	6		23
311		北増田橋町会	4	10		14
312		南増田橋町会	0	0		0
313		第二都住会	3	6	3	12
314		第五住宅会	1	0		1
315		竹の塚南町会	7			7
316		竹の塚中町会	5	3		8
317		竹の塚上町会	26	9		35
318		六月町会	19	15		34
319		水無月会	0	0		0
320		第八六月自治会	1			1
		竹七三自治会（解散）	1			1
321		東保木間町会	21	1	2	24
322		都営住宅六月むつき自治会	5	0		5
323		都営西保木間二丁目団地自治会	6	0		6
324		西保木間都住自治会	10	4		14
325		西保木間四丁目都住自治会	7	5		12
326		竹の塚スカイタウン町内会	5			5
327		西保木間大曲自治会（休会中）	2	0		2
328		都営西保木間一丁目自治会	1	1		2
329		六月中央自治会	3	2		5
330		東京都住宅供給公社西保木間住宅自治会	6			6
331		竹の塚六丁目アパート2号棟自治会	10	0		10
332		西保木間三丁目むつみ会	3	0		3
333		竹七東町会	2	0		2
334		西保木間自治会	3	0		3
335		新緑自治会	2			2
336		都営竹の塚団地第一自治会	4	0		4
337		都市再生機構竹の塚第一団地自治会	24	11		35
338		都市再生機構竹の塚第二団地自治会	13	5	3	21
339		都市再生機構竹の塚第三団地自治会	21	5		26
340		保木間第一アパート自治会	4	0		4
341	保木間第四アパート自治会	39	21		60	
342	保木間第四団地新館自治会	13			13	
343	竹の塚三丁目町会	8	2		10	
344	竹の塚七丁目団地自治会	36			36	
345	都営六月町団地自治会	5	1		6	
346	竹の塚マンション自治会	4	0		4	
347	都住保木間町アパート自治会	3	1	7	11	



孤立ゼロプロジェクト推進活動開始町会・自治会一覧【平成29年3月末日現在】

：新規開始町会・自治会

	区民事務所名	町会・自治会名	孤立のおそれのある世帯数				
			1回目	2回目	3回目	合計	
348		日商岩井竹の塚マンション自治会	0	2		2	
349		西保木間中央自治会	1	0		1	
350		保木間四丁目自治会	2	0		2	
351		マンハイム竹の塚自治会	1			1	
352		六月一丁目第2自治会	1	0		1	
353		六月自治会	8	0		8	
354		竹ノ塚12号棟親和会	0			0	
355	竹の塚	洋伸竹ノ塚マンション自治会	1	0		1	
356		竹の塚ガーデンハウス自治会	0	0		0	
357		竹の塚6丁目アパート自治会	1	0		1	
358		竹の塚ビューハイツ自治会	0	0	0	0	
359		カインドステージ竹ノ塚自治会	0			0	
360	西新井	西新井東町会	17			17	
361		西新井本町二丁目町会	7			7	
362		西新井本町三丁目自治会（休会中）	10			10	
363		興野北町会	36	4		40	
364		東京都住宅供給公社興野町住宅自治会	準備中				
365		西新井本町四丁目アパート自治会	0			0	
366		フレール西新井第一公団自治会	3			3	
367		フレール西新井第二自治会	6			6	
368		扇三丁目第二団地自治会	6			6	
369		栗原町会	36			36	
370		西新井栄町二丁目町会	9			9	
371		栗原南町会	3			3	
372		都営栗原1丁目アパート自治会	12			12	
373		西新井第四都住自治会	準備中				
374		あみだばし自治会	6			6	
375		西新井本町2丁目アパート自治会	3			3	
376		西新井六丁目アパート自治会	準備中				
377		西新井北町会	9			9	
378		栗原団地自治会	26	1		27	
379		西新井町会	5			5	
380		西新井1・2町会	5			5	
381		西新井本町一丁目町会	1			1	
382		西新井緑町会	13			13	
383		西新井仲町会	6			6	
384		西新井中央町会	27	14		41	
385		西新井15部町会	13			13	
386		西新井西町会	準備中				
387		フレール西新井第一団地自治会	0			0	
388		東京アクアージュ自治会	3			3	
389		秀和西新井レジデンス自治会	1			1	
390		ザ・ステージオ自治会	8			8	
391		レコシティグランデ自治会	0			0	
392			伊興町自治会	21	15		36
393			伊興北根町会	19			19
394	都市機構西新井第三団地自治会		20			20	
395	伊興西町会		29			29	
396	伊興中央町会		25			25	

孤立ゼロプロジェクト推進活動開始町会・自治会一覧【平成29年3月末日現在】

：新規開始町会・自治会

	区民事務所名	町会・自治会名	孤立のおそれのある世帯数				
			1回目	2回目	3回目	合計	
397	伊興	伊興北町会	7			7	
398		伊興町アパート自治会	5	1		6	
399		伊興仲町会	13			13	
400		西新井四丁目諏訪木町会	5			5	
401		西新井四丁目自治会	10			10	
402		東伊興町会	16	1		17	
403		狭間町会	2			2	
404		伊興南町会	準備中				
405	伊興	伊興東町会	16			16	
406		伊興五丁目アパート自治会	1	1		2	
407		伊興英知自治会	0			0	
408		伊興町前沼アパート自治会	1			1	
409		伊興四丁目住宅自治会	1			1	
410		伊興三丁目アパート自治会	準備中				
411		伊興二丁目自治会	0			0	
412		伊興町第2アパート自治会	準備中				
413		鹿浜	鹿浜押部町会	29			29
414			鹿浜東町会	16			16
415	鹿浜古内町会		10			10	
416	鹿浜糶屋町会		9			9	
417	鹿浜島町会		13			13	
418	皿沼町会		9	7		16	
419	加賀町会		14			14	
420	谷在家町会		10			10	
421	椿町会		8			8	
422	皿沼東町会		1			1	
423	都住谷在家団地自治会		11	13		24	
424	鹿浜団地自治会		8			8	
425	上沼田第三アパート自治会		37			37	
426	北鹿浜第二都住自治会		6			6	
427	日本住宅公団江北六丁目団地自治会		23	10		33	
428	都営鹿浜五丁目団地自治会		26	8		34	
429	都営鹿浜五丁目団地北部自治会		14	2		16	
430	都住加賀二丁目自治会		準備中				
431	舎人		舎人町会	51			51
432			入谷町会	21			21
433		古千谷本町町会	16			16	
434		都住舎人自治会	18	5		23	
435		都住足立入谷自治会	0	0		0	
436		入谷町第2アパート自治会	2	0		2	

3,990 584 47 4,621